

第 3 編

資 料

第1章 農業研究所沿革年譜・年度別職員数

沿革年譜

年次 (西暦)	沿革	農業事情など
明治32年 (1899)	岡山県議会 農事試験場設置を議決 農商務大臣に御津郡伊島村(現岡山市北区津島)への設置を申請	
明治33年 (1900)	2月 同上認可指令(明治32年農商務省令第20号:府県農事試験場規程) 吉備郡高松村に設置変更の申請	
明治34年 (1901)	4月1日 吉備郡高松村(現岡山市北区原古才)に岡山県立農事試験場を設立 (県告示第122号) 水稻、麦類、蔬菜、特用作物などの栽培法 ならびに病虫害の試験調査に着手	
明治35年 (1902)	試作の目的をもって種苗配付を開始、土壤、肥料及び農産物、その 他の依頼分析に依ずる(分析依頼手続 2月19日 県告示第56号) (種苗配付規程 3月25日 県告示第104号)	
明治37年 (1904)	1月1日 苫田郡二宮村(現津山市二宮)に分場を設け蚕業部を設置 蚕糸業に関する試験研究、蚕種の製造配付、蚕業練習生養成事業を 施行	日露戦争始まる
明治38年 (1905)		児島湾干拓第1区(現灘 崎町、玉野市)完工 昭和38年まで継続し水 田4,263ha造成
明治41年 (1908)	4月1日 岡山県立農事試験場蚕業部を独立させ、岡山県立農事講習所と改称 (1月14日 県告示第18号) 11月 水稻原種配付規程を制定(県告示第1085号)、明治43年2月廃止 (県農会に業務を移管)	
明治43年 (1910)	4月 御津郡伊島村(現岡山市津島地区)に果樹園を設置、果樹に関する 試験を行う。 米麦寒冷地試験を阿哲郡千屋村において開始、大正6年まで継続	
大正3年 (1914)		第1次大戦始まる
大正4年 (1915)	4月4日 岡山県立農事講習所を廃止し、岡山県立原蚕種製造所を設置 大正3年2月18日 農商務省令第3号、道府県原蚕種製造所規程 大正3年2月24日 県告示第82号 米麦寒冷地試験を真庭郡八束村で行い、大正7年まで継続	
大正7年 (1918)		8月 米騒動
大正8年 (1919)	4月 御津郡伊島村の果樹園を廃止し、上道郡財田村(現岡山市土田)に 園芸部を設置、果樹及び蔬菜の試験研究を行う	イネ大豊作 (明治・大正の豊作記録 322kg/10a)
大正9年 (1920)	4月 米麦原種交付規程を制定	
大正11年 (1922)	7月28日 農事試験場機構改革を行う 種芸部、園芸部(財田村)、農芸化学 部、病理昆虫部、庶務会計部を設置(県指令農第990号) 11月30日 岡山県立原蚕種製造所を岡山県蚕業試験場と改称 (農商務省令第22号 府県蚕業試験場規程)	

年次 (西暦)	沿革	農業事情など
大正12年 (1923)	1月22日 野そチブス菌配付規程を制定(県告示第39号) 3月3日 ベタリヤテントウムシ配付規程を制定(県告示第132号)	いもち病大発生
大正13年 (1924)	2月26日 米麦原種交付規程を制定(県告示第112号) 12月1日 本場を吉備郡高松町から岡山市北方218に移転、蔬菜試験は園芸部(財田村)から本場へ移管、旧本場跡地は米麦原種圃に転用	大干ばつ
大正15年 昭和元年 (1926)	4月1日 久米郡久米村(現津山市久米)に美作試験地を設置 農林省指定いもち病防除応用試験を実施、昭和20年3月中止 同試験地は昭和2年から麦作、昭和3年からナタネに関する試験を開始 7月1日 旧本場跡地(吉備郡高松町)に農林省委託小麦地方的委託試験地を設置	5月21日 今上天皇 摂政の当時 本場へ行啓
昭和6年 (1931)	7月28日 ナタネ種子配付規程を制定(県告示第656号)	農村恐慌 昭和6～8年最も深刻 米価格18円/150kg
昭和7年 (1932)	8月 吉備郡高松町の小麦地方的委託試験地を岡山市北方本場内に移設、小麦地方育種試験地と改称	
昭和9年 (1934)		上道郡角山村(現岡山市竹原)に三徳教育会創立、昭和14年4月矢野恒太氏県に寄付、昭和43年4月岡山県立農業大学校設置の際に廃止 6月2日 高松宮 同妃殿下 本場へ行啓 9月21日 岡山市大洪水(室戸第1台風)
昭和10年 (1935)	コンニャク及び雑穀(大豆)原種圃、除虫菊採種圃を設置(畑作改善を目的として)	
昭和11年 (1936)	9月 倉敷市西富井に農林省指定薄荷試験地を設置 12月 都窪郡早島町に藺草試験地新設	
昭和14年 (1939)	4月 原蚕種管理法に伴い倉敷市西富井に蚕業試験場倉敷支場を設置、昭和19年3月廃止 6月 津山市山北に美作分場を新設	大干ばつ
昭和15年 (1940)		セジロウンカ、トビイロウンカ大発生
昭和16年 (1941)	病虫害発生予察事業開始 邑久郡牛窓町に馬鈴薯試験地設置、後に馬鈴薯原種事業を実施	12月8日 第2次世界大戦始まる
昭和17年 (1942)	4月1日 美作試験地業務を美作分場に移管、同試験地は美作(米麦)原種圃に転用	
昭和19年 (1944)	倉敷市西富井に、農林省委託による甘藷育種試験地を設置	
昭和20年 (1945)		8月15日 第2次世界大戦終戦 12月 県指導農場設置 本場内に指導農場係を設置

年次 (西暦)	沿 革	農業事情など
昭和21年 (1946)		10月21日 第1次農地改革諸法令公布 11月1日 指導農場係を農業技術滲透室と改称
昭和22年 (1947)	5月5日 農林省委託による小麦育種試験地、甘藷育種試験地、農林省指定薄荷試験地は農林省に移管され、倉敷農事改良実験所と改称 7月1日 本場に調査部新設 12月 吉備郡高松町の米麦原種圃を岡山市北方の本場へ移管	
昭和23年 (1948)	農林省岡山統計事務所岡山作況試験地を本場内に、津山作況試験地を美作分場内に併置	3月 農業技術滲透室を廃止、県庁に移管 7月15日 農業改良助長法公布、8月1日施行(法律第165号)
昭和24年 (1949)	4月1日 本場に農産加工部新設 4月 小田郡真鍋島村(現、笠岡市)に大豆不稔問題解明のために試験地設置、後に花き(昭和26年)、観葉植物(昭和31年)の試験に移行真庭郡川上村に高冷地農業経営委託試験地設置 10月1日 病害虫発生予察観察所を設置(県下7か所)	3月14日 岡山県立農業講習所条例制定
昭和25年 (1950)		5月4日 植物防疫法公布(法律第151号)
昭和26年 (1951)	3月20日 岡山県立農業試験場条例を制定(県条例第20号)農事試験場を農業試験場と改称、津山分場、倉敷分場、果樹分場、蘭草種苗場を置く 4月4日 農業試験場創立50周年 " 農林省倉敷農事改良実験所薄荷試験地を県に再移管倉敷市西富井の元甘藷育種試験地の圃場において畑地灌がい試験に着手、昭和31年10月畑地灌がい試験地を設置	
昭和27年 (1952)	10月 阿哲郡大佐町において牧野に関する試験を開始、昭和31年大佐試験地を設置 津山分場に蘭草加工指導施設を設置	5月1日 主要農作物種子法公布(法律第131号) 7月16日 耕土培養法公布(法律第235号) 8月1日 中国・四国農業試験場が中国と四国の2農業試験場に分離
昭和28年 (1953)	9月29日 ルビーアカヤドリコバチ配付規程を制定(県告示第756号)	8月27日 農業機械化促進法(法律第252号)
昭和29年 (1954)	3月 笠岡市新賀に果樹母樹園を設置 5月15日 本場の機構を1課5部制とし、部に研究室を置く(県訓令第28号)総務課、作物部(作物、そ菜、飼料作物:新設)、化学部(農芸化学、低位生産地)、病虫部(病害、害虫)、経営部(経営:新設、農産加工)、農機具部(農機具)	
昭和30年 (1955)		米大豊作 422kg/10a (作況指数 124)
昭和32年 (1957)	4月1日 分場、試験地等の追加及び名称の一部改正(3月26日県条例第16号)岡山果樹分場、笠岡母樹園、島嶼試験地、倉敷はっか分場、早島蘭草分場、津山分場、茶業試験地(新設)、高冷地試験地、大佐分場	

年次 (西暦)	沿 革	農業事情など
昭和33年 (1958)		4月1日 県勢振興計画(総合開発計画)樹立(昭和33～40年)
昭和34年 (1959)		3月20日 てん菜生産15か年計画発表(農林省) 米三割増産運動(昭和34～36年)
昭和35年 (1960)		池田内閣 所得倍増計画
昭和36年 (1961)	6月1日 作物部にてん菜研究室を設置、昭和38年度末で廃止	3月30日 果樹農業振興特別措置法公布(法律第15号) 農業基本法公布 6月12日 (法律第127号)
昭和37年 (1962)	4月1日 岡山果樹分場に栽培研究室、生理研究室を設置	
昭和38年 (1963)		5月1日 地方農政局発足
昭和39年 (1964)	4月1日 作物部に特用作物研究室を設置	
昭和41年 (1966)	3月31日 大佐分場を廃止 畑地灌漑試験地を廃止 4月1日 本場及び岡山果樹分場の研究室を廃止 蚕業試験場が廃止され、農業試験場に蚕業部として統合	岡山県米づくり運動(昭和41～43年) セジロウンカ、トビイロウンカ大発生
昭和42年 (1967)		米大豊作461kg/10a(作況指数121:全国最高) 8月3日 公害対策基本法公布(法律第132号)
昭和43年 (1968)	4月1日 岡山果樹分場、倉敷はっか分場、早島藺草分場、笠岡母樹園、島嶼試験地及び牛窓ばれいしょ試験地を本場に統合、同時に園芸部を新設、農機具部を農業機械部と改称 6月20日 本場を岡山市北方から赤磐郡山陽町神田沖1174-1に移転	4月1日 赤磐郡赤坂町に農業大学校設置(昭42県条例第50号)同時に岡山県立農業講習所、岡山県立三徳農業研修所を廃止
昭和44年 (1969)		10月1日 農業振興地域の整備に関する法律、施行(法律第58号)
昭和45年 (1970)		米生産調整開始
昭和46年 (1971)		稲作転換対策(米生産調整対策)実施(昭和46～50年)
昭和48年 (1973)	4月1日 北部支場を発足させ、これに津山分場、蚕業部を統合し、野菜作物部と果樹養蚕部を設置	10月17日 OPEC(石油輸出国機構)原油の生産、供給の制限、価格引上げ決定(第1次オイルショック)

年次 (西暦)	沿 革	農業事情など
昭和49年 (1974)	7月1日 茶業試験地を北部支場に統合し、果樹養蚕部を果樹養蚕茶業部と改称 高冷地試験地を分離	1月 岡山県総合福祉計画策定 (昭和49～55年度) 7月1日 岡山県地方振興局設置 (県下9か所)
昭和50年 (1975)		4月 岡山県農林漁業試験研究推進構想策定 10月16日 中国自動車道吹田一落合間開通
昭和51年 (1976)		水田総合利用対策実施 (昭和51～52年)
昭和53年 (1978)		米大豊作486kg/10a 水田利用再編対策実施 (昭和53～55、56～58、59～61年)
昭和54年 (1979)	4月1日 機構改革により本場の園芸部を果樹部と野菜・花部に分離、経営部を経営調査部と改称、農業機械部を作物部に統合、北部支場の果樹養蚕茶業部を永年畑作物部と改称	省エネ法の制定(第2次オイルショック)
昭和55年 (1980)		11月 岡山県農政懇談会答申 「岡山県農林漁業の再編及び村づくりの基本方向と対策」
昭和56年 (1981)		4月 岡山県新総合福祉計画策定(昭和56～60年度)
昭和58年 (1983)		3月24日 中国自動車道全線開通
昭和60年 (1985)	4月1日 場内に岡山県バイオテクノロジー研究所農業試験場分室(農業バイオ班)を設置 ジーンバンク(特産作物遺伝資源収集保存)事業開始 化学部分室(笠岡湾干拓営農センター分室)を設置	4月1日 岡山県バイオテクノロジー研究所発足(本所は農試)
昭和61年 (1986)	4月1日 農業試験場創立85周年	
昭和63年 (1988)		3月 岡山空港開港 4月 瀬戸大橋開通
平成元年 (1989)	4月1日 発生予察観察所を岡山県病虫害防除所に改称して、本場に併置	
平成2年 (1990)		3月 岡山食と緑の博覧会開催 8月 湾岸戦争始まる
平成5年 (1993)		ガット・ウルグアイラウンド妥結 いもち病大発生
平成6年 (1994)		「国際化に対応した岡山県農業の展開方向」が答申

年次 (西暦)	沿 革	農業事情など
平成7年 (1995)		4月1日 米のミニマムアクセスの開始 11月1日 「主要食糧の需給及び価格の安定に関する法律」の施行
平成8年 (1996)	10月1日 岡山県生物総合科学研究所の設立に伴い、岡山県バイオテクノロジー研究所試験場分室を移管	
平成9年 (1997)	岡山市西幸西における超大区画圃場(9.86ha)での水稻不耕起乾田直播栽培の実証を開始 北部支場における蚕業に関する試験の中止	3月 岡山道全線開通 12月 山陽道全線開通
平成10年 (1998)	化学部分室を廃止	12月 農政改革大綱が決定「食糧・農業・農村基本法」(新農業基本法)の制定
平成11年 (1999)	4月1日 岡山県農業総合センターの設立に伴い、農業試験場を岡山県農業総合センター農業試験場と改称し、1課8研究室を設置	
平成12年 (2000)	農業試験場創立100周年	農業試験場100年誌編纂
平成13年 (2001)	岡山市西幸西における超大区画圃場(9.86ha)での水稻不耕起乾田直播栽培の実証を終了	
平成16年 (2004)		9月 県立図書館開館
平成17年 (2005)		3月 本格的な市町村合併 新世紀おかやま夢づくりプラン策定
平成18年 (2006)	北部支場における茶業に関する試験の中止	
平成19年 (2007)		3月 新おかやま夢づくりプラン策定 原油高、穀物価格高騰
平成20年 (2008)		6月 岡山県財政危機宣言 農業分野における地球温暖化対策の推進
平成21年 (2009)		2月 21おかやま農林水産プラン策定 3月 第26回全国都市緑化おかやまフェア 4月 県民局体制に移行
平成22年 (2010)	4月1日 岡山県農業総合センターの改編に伴い、農林水産総合センター農業研究所と改称。津山市の北部支場を廃止し、真庭市に高冷地研究室を設置、本所では作物研究室と経営研究室を統合し、作物・経営研究室を設置、防除所では予察機能を高冷地研究室に移設	
平成23年 (2011)		3月11日 東日本大震災
平成24年 (2012)		3月 第3次おかやま夢づくりプラン策定

年次 (西暦)	沿革	農業事情など
平成25年 (2013)	現業職員の廃止(現業見直し)	
平成26年 (2014)		3月 晴れの国おかやま生き 活きプラン策定
平成27年 (2015)		1月15日 高病原性鳥インフルエンザ発生(笠岡市)
平成28年 (2016)		7月27日 皇太子殿下 本所へ行啓
平成29年 (2017)		新 晴れの国おかやま生き 活きプラン策定
平成30年 (2018)		7月 西日本豪雨災害
令和2年 (2020)		3月 「食糧・農業・農村基本 計画」の閣議決定 みどりの食料システム 戦略 4月 新型コロナ緊急事態宣 言
令和3年 (2021)		3月 第3次晴れの国おかや ま生き活きプラン策定 4月1日 改正種苗法施行(海外持 ち出し制限) 7月 東京オリンピック
令和4年 (2022)		2月22日 ロシアのウクライナ侵 攻 4月1日 改正種苗法施行(自家増 殖の許諾制) 7月8日 安倍元首相銃撃事件
令和6年 (2024)		3月 第4次晴れの国おかや ま生き活きプラン策定 5月 第74回全国植樹祭岡山 2024
令和7年 (2025)	農業研究所(旧、農業試験場)創立125周年	4月 トランプ関税、米価高騰 大阪・関西万博

参考資料

1. 岡山県政史 第1巻 総篇 上・下 (岡山県 昭和16年3月31日)
2. " 明治、大正篇、昭和前期篇 (" 昭和42年11月1日)
3. " 昭和後期篇 (" 昭和44年12月20日)
4. 岡山県政百年の歩み(上記2、3から編集 岡山県広報協会(岡山県企画)昭和46年8月14日)
5. 岡山県立農事試験場一覧(大正11年11月20日、大正15年2月15日及び昭和13年12月27日)
6. " 諸規定(昭和3年4月、昭和6年11月、昭和11年3月)
7. 岡山県立農業試験場概要(昭和31年3月30日)
8. " 臨時報告第45号(昭和26年5月31日)
9. 岡山県立農事講習所一覧(明治44年9月28日)
10. 岡山県立原蚕種製造所一覧(大正7年12月20日)
11. 岡山県蚕業試験場一覧(昭和7年3月30日)
12. 岡山県例規全集2(組織)(岡山県 昭和50年1月25日改訂)
13. 植物防疫年表(植物防疫事業発展10周年記念大会実行委員会 昭和35年4月6日)
- " (" 二十周年記念誌編集委員会 昭和46年3月31日)
- " (" 三十周年記念誌編集委員会 昭和55年11月21日)
14. 岡山の植物防疫(岡山県植物防疫協会 昭和60年1月28日)
15. 戦後農業技術発達史(9)総括篇(日本農業研究所 昭和46年3月20日)

付. 本所（赤磐市）に移転後の職員数の推移

年 度	職員数（人）	備 考	年 度	職員数（人）	備 考
昭和43年	105		平成9年	92	
昭和44年	102		平成10年	91	平成10年までは100年史から
昭和45年	100		平成11年	77	平成11年からは年報から
昭和46年	99		平成12年	75	
昭和47年	99		平成13年	73	
昭和48年	97		平成14年	71	
昭和49年	95		平成15年	70	
昭和50年	95		平成16年	68	
昭和51年	97		平成17年	69	
昭和52年	96		平成18年	69	
昭和53年	97		平成19年	68	
昭和54年	98		平成20年	67	
昭和55年	97		平成21年	71	
昭和56年	96		平成22年	76	配置転換により一時増加
昭和57年	96		平成23年	71	
昭和58年	96		平成24年	71	
昭和59年	96		平成25年	57	現業業務見直し
昭和60年	96		平成26年	57	
昭和61年	97		平成27年	57	
昭和62年	96		平成28年	57	
昭和63年	96		平成29年	58	
平成元年	96		平成30年	58	
平成2年	96		令和元年	60	
平成3年	95		令和2年	62	
平成4年	96		令和3年	64	
平成5年	96		令和4年	59	
平成6年	96		令和5年	58	
平成7年	96		令和6年	59	
平成8年	94		令和7年	57	

※再任用（フル・短期）、育休代替職員を含む

第2章 試験研究項目一覧

平成13年度（創立100周年）から令和7年度までに実施した試験研究項目を、岡山県農林水産総合センター農業研究所研究年報に基づいて掲載した。なお、掲載した項目は、県予算または試験研究推進構想に用いている試験研究課題を基準とした。

1. 稲作（試験担当一特記以外は作物研究室、作物・経営研究室）

区分	年次	試験研究項目
品 種	昭28－継	水稲奨励品種決定調査（北支と共同）
	昭30－継	水稲系統適応性検定試験
	昭38－平14	水稲特性検定試験
	昭53－平18	交雑育種法による良質強稈多収品種の育成
	平元－17	水稲育成系統の特性栽培試験（バイオ）
栽 培	平10－14	高品質米生産技術の開発
	平11－15	中山間地における畜産との資源循環を組み入れた省力・低コスト・環境負荷軽減型水稲栽培体系の確立
	平14(緊)	ヒノヒカリの作期移動試験
	平14(緊)	雄町の心白発現制御試験
	平15－17(緊)	胴割れ米の発生要因の解明と対策
	平15－16(緊)	県南部におけるコシヒカリ栽培技術の確立
	平16－18	中山間地域に適した水稲「コシヒカリ」、「あきたこまち」の湛水直播栽培技術の開発（北支）
	平16－18	温暖化に対応した水稲「コシヒカリ」、「あきたこまち」の品質向上対策
	平17－18(緊)	水稲主要品種の疎植栽培
	平19－21	温暖化に対応した水稲「朝日、ヒノヒカリ」の良食味栽培技術の確立
	平19－21	疎植による水稲の省力軽労栽培技術の確立（北支と共同）
	平21－23	温暖化に対応した水稲の品種選定と栽培技術の確立
	平22－24	発酵粗飼料に対応した水稲の品種選定と低コスト栽培法の確立
	平24－28	きぬむすめ、にこまるの高品質生産技術の確立と温暖化対応品種の選定
	平27－令元	ブランド米「朝日」の生産性向上を目指した品種改良
	平28－令2	ブランド米「アケボノ」の安定多収生産技術の確立
	平29－令3	気候変動に強い地域適応性水稲品種の選定
	平29－令2(緊)	「きぬむすめ」の高品質安定生産技術の確立
	令3－5	
	平30(緊)	酸化型グルタチオン含有肥料が水稲の生育、収量、品質に及ぼす効果の検討
令元－3	ドローンを利用した水稲生育診断の効率化による大規模水田作経営促進事業（環境研と共同）	
令3－5	極良食味水稲「きぬむすめ」のスマート農業による安定生産技術の確立	
令4－7	岡山県における高温耐性品種の選定基準の作成と気候変動に対応した水稲品種の選定	
令6－8	大規模農家をターゲットにした稲わら、麦わら全量すき込み体系の確立	
令6－8	水稲、麦類の二毛作栽培における稲わら、麦わらの有効活用技術の確立	
肥 料	平13－15(緊)	水稲移植栽培における改良型緩効性ペースト肥料試験
雑 草 防 除	平8－13(緊)	塩化ビニルシート被覆による畦畔雑草の防除
	平14－18	
	平11－継	水稲・麦類新除草剤実用化試験
	平14(緊)	スルホニルウレア系除草剤抵抗性雑草対策
	平15	農薬作物残留調査試験（試料調製）
	平18－19(緊)	水稲乾田直播栽培用除草剤の検討
	平19－21	中山間地域における水田畦畔・法面の省力管理技術の開発（北支）
	平25	環境に優しい水田除草技術の調査研究
	令元－3	麦栽培における除草剤抵抗性スズメノテッポウ総合防除体系の確立
省力化	昭43－平23	実験農場運営実証事業

区分	年次	試験研究項目
気象	昭48-継	水稲・麦類作況試験（水稲）
飼料用イネ	平11-15 令2-3	中山間地適応の飼料用水稲を中心とした環境負荷軽減型作付体系の確立 飼料用稲窒素吸収能力評価調査事業
その他	平9-13 平24-継	大区画高生産性稲作実験農場運営実証事業 実験農場における水田農業の総合的実証試験

2. 麦作（試験担当一特記以外は作物研究室、作物・経営研究室）

区分	年次	試験研究項目
	昭26-平22	麦類系統適応性検定試験
	昭28-継	主要農作物品種試験（麦類）
	昭30-継	麦類除草剤に関する試験
	昭48-継	水稲・麦類作況試験（麦類）
	平13-15	温暖地西部における麦類の高品質安定栽培技術等の開発
	平14	不耕起直播による米麦一貫体系実証事業
	平15-16	高品質ビール麦の安定生産技術確立試験
	平15-17	中国地域における麦類の高品質・安定多収栽培技術の確立
	平18(緊)	
	平15-17	現地実証試験を核にした不耕起・無中耕・無培土栽培技術の開発
	平16-19	内部品質を重視したシラサギコムギの収穫判定技術の確立
	平18-20(緊)	ビール大麦の裂皮・剥皮発生原因の解明と対策
	平18(緊)	麦作でのイネ科雑草防除剤の検討
	平19-21	小麦有望品種「ふくほのか」の高品質栽培技術の確立
	平19-23(緊)	被覆肥料を活用した小麦「ふくほのか」の高品質安定栽培技術の確立
	平20-21(緊)	尿素葉面散布が麦類の収量、蛋白質含量に及ぼす影響
	平20-21(緊)	生育阻害要因の解決によるビール大麦の高品質安定生産技術の確立
	平22-24	
	平23-25	地域適応性検定試験
	平25-27	ビール大麦「スカイゴールデン」の高品質安定生産技術の確立
	平28-30	大規模水田作経営に対応した効率的な麦作体系の確立
	令元-3	麦栽培における除草剤抵抗性スズメノテッポウ総合防除体系の確立
	令元(緊)	麦作における有望作業機の効果確認
	令4-6	小麦の多収と高蛋白質含有率を両立する施肥体系の確立
	令7-9	プラスチック被覆肥料を用いない麦類の省力施肥法の確立（環境研と共同）

3. 豆類、雑穀（試験担当一特記以外は作物研究室、作物・経営研究室）

区分	年次	試験研究項目
ダイズ	昭49-平22	系統適応性検定試験（北支と共同）
	昭56-継	主要農作物品種試験（大豆）
	平11-13	麦・大豆品質向上定着特別対策事業
	平12-16	高品質黒大豆の系統選抜と生産技術の確立
	平12-17	大豆の安定多収技術の開発と品質制御技術の強化
	平13	サチユタカの栽培技術（北支）
	平13-16	大豆植物調節剤実証試験
	平15	丹波黒エダマメの早どり栽培技術の確立
	平15	白大豆「サチユタカ」の品質変動要因の解明
	平15-17	現地実証試験を核にした不耕起・無中耕・無培土栽培技術の開発
	平16-18	白大豆「サチユタカ」の高品質、安定生産技術の確立
	平17-19	黒大豆の播種機を用いた直播栽培における発芽・苗立ちの向上対策

区 分	年 次	試 験 研 究 項 目
ダイズ	平17-19	岡山系統1号の原原種生産
	平17-18(緊)	黒大豆系統比較試験
	平17-22	日本一の「おかやま黒まめ」ブランド強化事業
	平19-23	機能性を重視した有色大豆の選抜と育成
	平24(緊)	
	平19-21	白大豆の省力・高品質・安定栽培技術の確立
	平20-22	コンバイン収穫に対応した黒大豆の高品質・省力栽培技術の確立
	平20-22	「おかやま黒まめ」の枝豆生産拡大技術の確立
	平23-25	「おかやま黒まめ」の高品質安定生産技術の確立
	平23-25	「おかやま黒まめ」の枝豆生産拡大対策
	平26-28	マルチ栽培による「おかやま黒まめ」の高品質生産技術の確立
	平26-30	枝豆の優良系統の選抜と優良系統種子の安定生産
	平29-令元	「おかやま黒まめ」のマルチ栽培と畦間灌水による高品質安定栽培法の確立
	令元-3	枝豆新品種の栽培技術の確立とブランディング対策(環境研と共同)
令2-4	「おかやま黒まめ」の黒マルチ栽培におけるトラクタガイダンスを利用した省力作業体系の確立	
令4-6	気象変動等に対応した黒大豆枝豆の安定生産技術の確立(環境研と共同)	
令7-9	気候変動に対応した黒大豆の系統選抜と安定生産技術の確立(環境研と共同)	
アズキ	平11-15(緊)	小豆有望系統「岡系1号」の安定多収栽培の確立
	平16-18	小豆新品種「夢大納言」の安定多収栽培法の確立
	平21-継	小豆「夢大納言」の原種供給
	平25-27	収量及び加工適性に優れた白小豆新品種の育成強化
	平28-30	主要農作物品種試験(小豆)
その他	平11-14	そばの品種・系統比較試験
	平16(緊)	

4. 飼肥料作物

試験実施なし

5. 特用作物 (試験担当-イグサ：作物研究室、チャ：北部支場)

区 分	年 次	試 験 研 究 項 目
イグサ	平11-21	イグサ系統適応性検定試験
チャ	平11-13	環境に配慮した茶品質維持技術の確立
	平11-18	茶の生育並びに病虫害発生状況調査

6. 果樹 (試験担当-特記以外は果樹研究室)

区 分	年 次	試 験 研 究 項 目
品種台 木全般		系統適応性検定試験
	昭32-継	モモ
	昭41-継	ブドウ
		果樹導入品種の選抜
	昭42-継	モモ、ブドウ
	昭42-平21	モモ、ブドウ、ナシ(北支)
		中北部果樹の品種適応試験(北支)
	昭52-継	原母樹園、母樹園の管理および穂木の配布 新品種の育成
	昭56-継	モモ
	昭59-継	ブドウ
	平13-21	ナシ(北支)
昭59-継	果樹ウイルス汚染防止管理施設設置事業	

区 分	年 次	試 験 研 究 項 目
品 種 台 木 全 般	昭60-継	果樹ウイルスフリー樹育成と変異性の検定
	平26-28	モモの育種効率を向上させるDNAマーカーによる選抜技術の確立
	令2-4	モモ収穫期を予測するDNAマーカーの開発
	令4-7	温暖化に適応する着色の優れた黒色系ブドウ新品種の選抜技術の開発
	令4-8	モモのPan-genomeの構築とその利用による主要形質の制御遺伝子の特定
	令5-7	モモ育種の新しいフェーズを拓く新技術開発
	令7-9	モモせん孔細菌病防除技術の開発研究
	令7-9	黒色系ブドウ果皮の機能性研究
	令7-9	DNAマーカー選抜技術によるブドウ・モモ新品種育成技術の開発
	令7	黄桃新品種ブランド戦略検討事業
モ モ	平11-15(緊)	モモの新仕立て法(低木Y字形)による省力多収技術の確立
	平11-15(緊)	農試育成新品種「白麗」、「まどか(仮称)」の栽培方法の確立
	平12-14(緊)	多発した生理障害に関する原因解明
	平12-16	環境負荷軽減を目指したモモの根域集中管理技術の確立
	平12-19(緊)	モモ「清水白桃」の幼果の肥大調査による生理的落果の発生予測と対策の立案
	平13-14(緊)	収穫前夏季せん定が樹体生長、果実品質に及ぼす影響
	平13-14(緊)	モモ落蕾症に関する試験
	平13-16(緊)	草生栽培の検討
	平14(緊)	新産地育成のためのモモの超省力栽培技術の確立
	平14(緊)	モモの連作障害に関する試験
	平14(緊)	紫外線カット果実袋の検討
	平15-19(緊)	モモ赤肉症の発生原因の究明と対策
	平15-16(緊)	モモ「清水白桃RS」の結実特性を活かした省力栽培法の開発
	平15(緊)	超弱せん定栽培における摘蕾時期の検討
	平15(緊)	モモ超弱せん定「清水白桃」のせん定方法の変更と収量、果実品質
	平15(緊)	抑草マルチの有無がモモ「末木白桃」の収量、果実品質に及ぼす影響
	平15(緊)	モモ「清水白桃」の成熟日予測法の開発
	平16-19(緊)	モモ桜井方式(整枝法)による品質の高位安定化
	平16-20(緊)	モモ「清水白桃RS」の結実特性を活かした省力栽培法の開発
	平16-20	「ロイヤル」モモのマルドリ栽培法の開発
	平16(緊)	施肥管理面積の制限と分施の組合せによる施肥半減が「白麗」の新梢生長、収量果実品質に及ぼす影響
	平16(緊)	超弱せん定「清水白桃」のせん定方法の変更と収量、果実品質
	平17(緊)	防水マルチが「八幡白鳳、加納岩白桃」の裂果・裂皮の発生に及ぼす影響
	平18(緊)	モモの早期成園化のための大苗生産
	平19-23	「おかやま夢白桃」のブランド化のための安定生産技術の確立
	平20(緊)	小果の発生原因の究明
	平20(緊)	モモの生産安定化技術の確立
	平20(緊)	「清水白桃RS」の結実安定化対策
	平20(緊)	モモ・ブドウの長期鮮度保持技術の確立
	平21-23	秋冬期の温暖化に対応したもも・ぶどうの生産安定化技術の開発
	平24-25(緊)	
	平21-22(緊)	長期間の部分マルチによるモモ「清水白桃」の生産安定技術の確立
	平21(緊)	多雨寡日照下での樹相、着果程度と糖度との関係
平21(緊)	新梢の誘引処理が新梢成長に及ぼす影響	
平21(緊)	胎座部割れの程度が果面萎縮果の発生に及ぼす影響	
平21(緊)	「しべ咲き花」発生の品種間差異	
平21(緊)	モモの成熟及び果肉障害の防止技術の開発	
平22-24	夏季の気象変動に対応したももの品質安定生産技術の開発	

区 分	年 次	試 験 研 究 項 目
モ モ	平22-24(緊)	生理障害対策試験
	平22(緊)	ポスト次世代フルーツの安定生産技術の確立
	平23(緊)	モモのオリジナル新品種「さきがけはくとう」の高品質安定生産技術の確立
	平24-28	
	平23(緊)	気象変動に対応した春季のモモの樹勢衰弱・枯死回避技術の確立
	平24-28	
	平23-25	機能性果実袋による果樹の果肉障害対策試験
	平24-令2	モモのオリジナル新品種の高品質安定生産技術の確立
	平24(緊)	果実袋の被袋時期が「清水白桃RS」の果実品質に及ぼす影響
	平24(緊)	摘蕾の有無が「おかやま夢白桃」の収穫果の裂皮及び裂果に及ぼす影響
	平25-27	西日本のモモ生産安定のための果肉障害対策技術の開発
	平25-27	木質バイオマスを素材とした樹木の凍害防止資材の開発
	平25-26(緊)	果梗内亀裂小果対策試験
	平25-27(緊)	モモの高品質安定生産に適した整枝・せん定方法の検討
	平25(緊)	満開翌日からの日平均気温による硬核開始日の推定
	平25(緊)	ジベレリン(GA)散布処理によるモモの生産安定化試験
	平25-26(緊)	収穫後の乾燥が落蕾症の発生に及ぼす影響
	平25(緊)	カリウム過剰がモモの果実品質に及ぼす影響
	平26(緊)	モモ無花粉品種の結実対策
	平27(緊)	開花期の低温・湿潤条件が開薬に及ぼす影響
	平28-30	岡山次世代フルーツ及びオリジナル新品種の高品質安定生産と東アジア地域へのプレミアムフルーツ輸出促進
	平28(緊)	樹勢の客観的評価に基づく「おかやま夢白桃」の安定生産技術の確立
	平29-令3	
	平28(緊)	モモの果肉障害対策試験
	平28-29(緊)	耐凍性台木品種「ひだ国府紅しだれ」台モモ苗木の省力安定生産技術の開発
	平28-29(緊)	無葉芽部位(トンボ枝部位)への着果が「清水白桃」の果実品質に及ぼす影響
	平28(緊)	袋掛けの有無及び袋の違いがモモの食味に及ぼす影響
	平29-30	温暖化に起因する果樹類生育障害の対策技術の現地実証
	平29-令元	モモの低樹高・軽労化栽培技術の開発
	平29-令2(緊)	画像解析によるモモ樹体の隔測技術の開発
	平29-30(緊)	モモの落蕾症軽減対策
	平29(緊)	モモ晩生品種の果実袋の検討
	平30-令元	褐変しにくいモモの育成に向けた遺伝子資源の探索と特性調査
	平30(緊)	果実袋を用いた裂皮、裂果、すすかび病及び果実の汚れ対策
	平30(緊)	モモ急性枯死症状の発生要因の解明と対策の検討
	令元(緊)	果実袋の違いが「冬桃がたり」の果実の裂皮、汚れ及び果実品質に及ぼす影響
	令元(緊)	収穫果に対するエテホン処理が「冬桃がたり」の果実品質及び熟度に及ぼす影響
	令元(緊)	「岡山PEH9号」の加工用途の検討
	令2-5	新樹形によるモモの低樹高・軽労化栽培技術の開発
	令2(緊)	果実袋の被袋方法の違いが「玄桃」のすすかび病の発生に及ぼす影響
	令2(緊)	収穫後の果実へのエテホン処理が「玄桃」の果実品質に及ぼす影響
	令3-5	モモ新品種「白皇」、「白露」の高品質安定生産技術の開発
	令4-8	水田転換畑におけるモモ安定生産のための土壌改良マニュアルの作成
	令4-6	果樹栽培の省力・高品質安定生産を可能にするスマート栽培管理支援システムの開発
	令4(緊)	モモ苗木における湛水処理が翌年の花芽の充実に及ぼす影響
	令5-7	DXを活用した水田転換園における果樹の省力・安定生産技術の開発
	令6-10	県育成モモ新品種の高品質安定生産技術の開発
	令6(緊)	Y字形栽培とスマート技術を組合せた水田転換園におけるモモ省力栽培法の実用化
	令7-11	モモのスマート栽培システムの実用化と担い手の育成

区 分	年 次	試 験 研 究 項 目
ブドウ	平8-12	環境制御技術によるアレキ極早期加温栽培の良品多収技術の確立
	平10-14	パーライト培地を用いたブドウ（アレキ）の安定生産技術の実証と低コスト化
	平12-14(緊)	ブドウ「マスカット・オブ・アレキサンドリア」の葉柄搾汁による栄養診断法(サンプルの凍結が葉柄中の無機成分の測定値に及ぼす影響)
	平12-16	新品種ブドウの栽培技術
	平12-14(緊)	GA及びフルメットのピオーネ満開期1回処理法
	平12-14(緊)	ピオーネの超省力的小房づくり法
	平12-14(緊)	ブドウにおける施肥法の違いが新梢生育、果実品質に及ぼす影響
	平13-17	アレキ小房生産栽培法の確立
	平13-18(緊)	マスカットの省力栽培法
	平13-14(緊)	ブドウ「マスカット・オブ・アレキサンドリア」12月加温における二度切りが翌年の1月加温作型における新梢生育、果実品質及び収量に及ぼす影響
	平13(緊)	アレキ12月加温における二度切りの実証
	平13(緊)	コールマンのバック向け房作りの試作
	平13-17	土耕施肥灌水自動制御によるブドウ多収栽培システムの開発
	平13-14(緊)	¹⁵ N—尿素的枝幹処理が加温栽培ブドウの新梢生長に及ぼす影響
	平13-14(緊)	ピオーネの小房づくり法
	平13(緊)	ピオーネ満開期1回処理が果実品質に及ぼす影響
	平14(緊)	ブドウの新梢生長及び果実品質に及ぼす基肥と分肥の影響
	平14(緊)	2月加温ブドウ「マスカット・オブ・アレキサンドリア」における有機質肥料の適正施用時期
	平14(緊)	天然海水由来ミネラル剤のブドウ「マスカット・オブ・アレキサンドリア」に対する施用効果
	平14-16(緊)	遮光剤塗布がガラス室の棚面温度、明るさ及び果実品質に及ぼす影響
	平15-16(緊)	中間台が「マスカット・オブ・アレキサンドリア」の果実品質に及ぼす影響
	平15-18	ピオーネ生産規模拡大のための省力・軽労・早期成園化技術の開発（北支）
	平15(緊)	規模拡大のためのピオーネ果房管理の省力化
	平15(緊)	シアナミド処理によるトンネル栽培ピオーネの生育促進
	平16(緊)	摘粒作業を行わないピオーネの花(果)房管理省力法の実証
	平16(緊)	トンネル栽培ピオーネの発芽に及ぼすシアナミド処理時期の影響
	平16-17(緊)	果樹の水ストレスの制御による高品質安定生産
	平16-20	マスカットの無核化技術の確立
	平16-18(緊)	ブドウ晩生着色品種の試作及びガラス室栽培に適した品種の選抜
	平16(緊)	「マスカット・オブ・アレキサンドリア」への分施の検討
	平16(緊)	パーライト培地養液栽培の現地導入試験
	平16(緊)	光触媒資材酸化チタンによる遮光とガラス面の浄化
	平17(緊)	ブドウ晩生着色品種の試作及びガラス室栽培に適した品種の選抜
	平17-21	ブドウの新栽培技術の確立
	平17(緊)	「オーロラブラック」の盆前収穫実証
	平17(緊)	「オーロラブラック」と「紫玉、ピオーネ」の成熟比較
	平18-20	超密植と灌水同時施肥による高収益型ブドウ生産システムの構築（果樹研、北支）
	平21(緊)	
	平19-21	「シャインマスカット」の高品質安定生産技術の確立
	平19(緊)	「オーロラブラック」の日持ち性向上試験
平19-21	加温マスカットにおける省エネ技術組立試験	
平19-20(緊)	「紫苑」の果房管理法の確立	
平20(緊)	ブドウの出荷時期延長技術の検討	
平20(緊)	モモ・ブドウの長期鮮度保持技術の確立	
平21(緊)	ブドウの鮮度保持出荷のための果実減耗抑制資材の開発	
平21(緊)	「ピオーネ」の小花穂を用いた省力果房管理方法の実証（北支）	
平21(緊)	変夜温管理がブドウの生育に及ぼす影響	

区 分	年 次	試 験 研 究 項 目
ブドウ	平21(緊)	タイバック製ブドウ笠によるブドウの果実障害対策試験
	平21-23(緊)	「紫苑」の安定生産技術の確立
	平22-24	加温ブドウの省エネルギー化を図る変温管理技術の開発
	平22-26	ブランド化を目指した「シャインマスカット」の高品質生産技術の確立
	平22-24	果樹苗木確保緊急対策事業
	平23(緊)	「紫苑」の出荷期間拡大技術の確立
	平24-28	
	平23-24(緊)	ブドウの点滴灌水施肥技術の確立
	平23-25(緊)	夏季の異常高温に対応したブドウの果実障害防止技術の開発
	平23(緊)	「瀬戸ジャイアンツ」の安定生産技術の確立
	平24(緊)	「シャインマスカット」の省エネルギー型温度管理体系の確立
	平25-27	
	平25(緊)	「シャインマスカット」の省力化技術の開発
	平25(緊)	ブドウ果粒における部分的着色障害(仮称)の発生要因の究明
	平25(緊)	個人消費のスタイルに即したブドウ生産技術の開発
	平26-28	
	平26(緊)	「シャインマスカット」の秋冬期出荷技術の確立
	平27-29	
	平26-27(緊)	「オーロラブラック」の果房重と果皮着色との関係
	平26(緊)	ホルモン処理方法が食感に及ぼす影響
	平27-28(緊)	「紫苑」の果房管理技術の確立
	平27(緊)	「シャインマスカット」の満開期ホルモン一回処理法の検討
	平28-令2	加温栽培「シャインマスカット」の高糖度・高品質安定生産技術の確立
	平28(緊)	「オーロラブラック」のブランド力強化を目指したプレミアム果実生産技術の確立
	平29-令元	
	平29-令元(緊)	「シャインマスカット」の無核率向上技術の確立
	平29-30(緊)	夏期のトンネル被覆の有無が「シャインマスカット」の果実品質に及ぼす影響
	平29(緊)	ジベレリン処理のタイミングが「シャインマスカット」の果実品質に及ぼす影響
	平29(緊)	機能性果実袋が「シャインマスカット」の果実品質及び生理障害発生に及ぼす影響
	平29(緊)	開花前フルメット処理が「シャインマスカット」小房の果実品質及び房形に及ぼす影響
	平30-令元(緊)	「ピオーネ」の環状はく皮処理が果実品質に及ぼす影響
	令元(緊)	「ピオーネ」及び「オーロラブラック」の着色安定技術の開発
	令元(緊)	フラスター液剤の開花前散布が無加温栽培「ピオーネ」の房形に及ぼす影響
	令元(緊)	フラスター液剤の散布時期及び散布回数の違いが「シャインマスカット」の副梢発生量、樹相、果実品質及び房形に及ぼす影響
	令元(緊)	フルメット液剤の使用回数及び濃度の違いが「シャインマスカット」の果実品質、食味及び皮ごとの食べやすさに及ぼす影響
	令2-6	ブドウ新品種の安定生産技術の確立
令2-4	「ピオーネ」及び「オーロラブラック」の着色安定技術の開発(高冷地研と共同)	
令2-6	果樹等の幼木期における安定生産技術の開発(ブドウ苗木の安定生産技術の開発)	
令7(緊)		
令2(緊)	「フルメット」の使用回数及び時期の違いが「シャインマスカット」の果実品質に及ぼす影響	
令3-5	加温栽培「シャインマスカット」における寡日照条件下での糖度上昇促進技術の開発	
令5(緊)	SABAを用いたブドウの着色促進技術の確立	
令5(緊)	「シャインマスカット」のモザイク萎縮葉症の葉中無機成分	
令6-8	「シャインマスカット」の高品質安定生産技術の確立	
令6-7	県内ブドウ主要品種におけるSABA処理の適用性の検討	
令7-11	注目される県内外のブドウ品種に適した栽培技術の確立	
令7(緊)	夏季の異常高温に対応したブドウ栽培技術の開発	
ナシ	平8-21	‘新高’に代わる晩生ナシ新品種の育成(北支)
	平10-14	‘新高’ナシの超早期出荷技術開発(北支)
	平10-17(緊)	ナシ晩生種の果肉障害対策(北支)

区分	年次	試験研究項目
ナシ	平11-14	新規栽培を容易にする平易・軽労働ナシ園の新早期成園化技術開発（北支）
	平11(緊)	ナシ栽培技術の改善（北支）
	平12-14(緊)	‘新高’の尻あざ発生防止対策（北支）
	平14(緊)	冷凍粗花粉に対するアセトン処理（北支）
	平15(緊)	パラフィン水和剤の塗布によるナシ穂木の水分の蒸発抑制効果（北支）
	平16(緊)	ナシ‘新高’の短果枝から発生した発育枝の切返し時期が花芽形成に及ぼす影響（北支）
	平16(緊)	ガムテープを用いたナシの落果防止対策（北支）
	平16(緊)	改良むかで整枝ナシ樹に多発した主幹部障害（北支）
	平16-19(緊)	ナシ短果枝へのジベレリン処理による側枝候補枝、予備枝の形成（北支）
	平16-21	1-MCP処理による「新高」の貯蔵期間の拡大（北支）
	平18-20(緊)	ナシの液体受粉による作業の省力化（北支）
	平19(緊)	降霜時の燃焼資材の有無がナシ花芽付近温度に及ぼす影響（北支）
	平20-21(緊)	ジベレリンペーストによるナシの新梢伸長（北支）
	平21(緊)	貯蔵条件の違いが「黒あざ症」発生に及ぼす影響（北支）
	平23-27	機能性果実袋によるナシの果肉障害対策試験
	平26-27(緊)	ナシ花粉の供給安定化に関する対策試験
	平28(緊)	ナシの果肉障害に対する機能性果実袋による軽減効果の現地実証
	令元-継(緊)	ナシの生育及び果実品質
その他 (果樹全般)	昭39-継	除草剤に関する調査
	昭52-継	植物調節剤実証試験
	平14(緊)	サクランボの安定生産のための現地実証試験
	平15-19	
	平15-16(緊)	マイナー作物等農薬登録推進試験（カキに関する試験）
	平18(緊)	接ぎ木挿しによるイチジク接ぎ木苗の効率的育成技術
	平19-21(緊)	炭酸ガス脱渋時の1-MCP処理がカキ「西条」の日持ち性に及ぼす影響（北支）

7. 野菜（試験担当一特記以外は野菜・花研究室）

区分	年次	試験研究項目
トマト	平9-13	隔離床養液土耕によるトマトの軽労働安定生産技術の確立
	平9-13	トマトの雨よけハウスにおける高温回避法の確立と現地実証（北支）
	平11-13(緊)	トマト生理障害対策
	平13-15	トマト低コスト灌水同時施肥栽培法の確立
	平14(緊)	生分解性ポットを利用した夏秋トマトの初期生育安定化技術
	平16(緊)	マイナー作物等農薬登録推進試験 （ミニトマト着果促進に対するトマトラン液剤の効果）
	平16(緊)	岡山大学育成中玉トマトの系統適応性検定
	平16-18	夜温管理による夏秋トマトの裂果軽減と出荷時期の延長
	平19(緊)	
	平16-17(緊)	トマト生育障害再現試験及び現地調査
	平21-23	夏秋トマトの夏期高温化に対応した品種の選定
	平24(緊)	フルメット液剤を利用した夏秋トマトの裂果軽減対策の確立
	平25(緊)	ホルクロルフエニユロンによる夏秋トマトの放射状裂果防止技術の開発
	平26-30	トマト裂果発生要因の解明と高品質栽培管理のためのバイオマーカーの評価
	平26-30	良果率向上によるトマト高品質・多収栽培管理技術の開発および実証
平26-28(緊)	C P P U剤を利用した夏秋トマトの放射状裂果軽減技術の確立	
ナス	平9-13	ナスの施設栽培における長期安定生産技術の確立と現地実証
	平10-13(緊)	ナスの接ぎ木苗の低温貯蔵

区 分	年 次	試 験 研 究 項 目
ナ ス	平13-16	育成系統評価試験（ナス）
	平20-25 令2-7	
	平14-18	多様な生物機能を活用した快適で安心な促成ナス
	平14(緊)	半促成有機減農薬ナスの生産性向上対策
	平14(緊)	台木用ナス‘27-14’の適応性検定試験
	平15(緊)	中山間における夏秋ナスの天敵利用栽培技術の確立
	平15-19	有機減農薬ナスの生産安定技術の確立
	平16(緊)	台木の違いと根域制限の有無がナス促成栽培の日焼け果発生に及ぼす影響
	平19-21	空気膜フィルムハウスによる促成ナス安定生産技術の確立
	平20-22	ナス栽培におけるミツバチ長期利用技術の開発
	平22-24	ナス新台木系統の栽培技術の確立
	平23-25	昼加温とCO ₂ 施用の併用による促成ナスの増収・品質向上技術の確立
	平23(緊)	天敵温存植物「スカエボラ」を利用した土着天敵及び市販天敵の複合利用による促成栽培ナスの害虫防除体系の確立
	平25-27	促成ナスの日焼け果防止技術の確立
	平26-28	低コスト化を目指した促成ナスの炭酸ガス局所施用技術の開発
	平26-30	海外ナス遺伝資源の特性評価
	平27(緊)	天敵を組み合わせた害虫防除体系の確立
	平28-30	地下部環境の改善によるナスの日焼け果防止技術の確立
	平30	ソルビタン脂肪酸エステル剤散布によるナス日焼け果防止技術の開発
	平30-令11	海外植物遺伝資源の民間等への提供促進
	令元-令5	天候対応型炭酸ガス施用による施設栽培ナス多収技術の確立
	令2(緊)	光質変換フィルムの施設ナス栽培への導入の可能性の検証
	令2-3	高精度な土壌水分制御を実現するスマート化で、一層輝く岡山ブランドナス
令5(緊)	単為結果性ナスの本県施設栽培への導入可能性の検証	
令6-8	単為結果性ナス品種の特性把握と栽培技術の確立	
イチゴ	昭47-令4	野菜育成系統評価試験（イチゴ）
	昭50-平18	野菜無病苗育成対策事業
	平9-16	画期的新品種創出による超省力栽培技術の開発
	平12-13(緊)	有機無農薬によるイチゴ促成栽培技術の開発
	平13-14(緊)	イチゴの新品種比較試験
	平16(緊)	夏秋期イチゴの栽培技術の検討
	平16(緊)	夏どりイチゴの栽培技術の確立（北支）
	平16(緊)	岡山農試式高設栽培における‘さがほのか’の適応性
	平17-19	促成栽培イチゴの収穫期拡大技術の開発
	平17(緊)	空気膜を利用した加温用燃料削減技術の実証
	平17(緊)	夏秋期イチゴの栽培技術の検討（北支）
	平18(緊)	四季成り性イチゴ新品種の育成
	平18(緊)	四季成り性イチゴの安定生産技術の検討（北支）
	平19-26	四季成り性イチゴの安定生産技術の確立（北支と共同）
	平20-22	イチゴ冷蔵庫内連続低温育苗法の開発による低コスト超促成作型の確立
	平21(緊)	イチゴ「ゆめのか」の特性調査
	平23-25	イチゴ優良導入品種の栽培技術の確立
	平26-継	「くだもの王国おかやま」を彩るイチゴ新品種の育成
	平30-令2	ブランドいちご生産技術の確立
	令3-5	「晴苺®」の連続安定出荷のための栽培技術の開発
令4-6	「晴苺®」のブランド力を高める新品種育成	

区 分	年 次	試 験 研 究 項 目
イチゴ	令6-8 令7-11	「晴苺 [®] 」の高品質・安定生産のための栽培技術の開発 優良な育種用品種の収集によるイチゴ新品種の育成
マメ類	平9-13 平14(緊) 平15(緊) 平16(緊) 平20-22 平23-25	ネットハウスによる丹波黒大豆エダマメ無農薬早どり栽培技術(北支) 丹波黒大豆エダマメの早期出荷技術の確立(北支) 丹波黒大豆エダマメの早どり栽培技術の確立(北支) 丹波黒大豆エダマメの早どり栽培技術の現地実証(北支) 「おかやま黒まめ」の枝豆生産拡大技術の確立 「おかやま黒まめ」の枝豆生産拡大対策
葉 菜 類・茎 菜 類・花 菜 類	平13-15(緊) 平14-16 平17-18 平21(緊) 平21(緊) 平21(緊) 平22(緊) 平23-24(緊) 平23(緊) 平24(緊) 平25-27 平25(緊) 平26-28(緊) 平28(緊) 平28-29(緊) 平29-令3 平30(緊) 令3(緊) 令4-6	原料タマネギの貯蔵性向上技術 アスパラガスの省力安定生産技術の確立(北支) 露地アスパラガスの夏秋期における高品質化と安定多収技術の確立 ジャンボピーマンの安定生産のための台木選定(北支) 播種期が秋冬どりトレビスの生育及び異状球発生率に及ぼす影響 ニンニクの安定生産技術の開発(北支) 長日処理が冬どりハウス栽培トレビスの生育に及ぼす影響 酸化型グルタチオンがアスパラガスの生育に及ぼす影響 温度及び播種用土がトレビスの発芽に及ぼす影響 黄ニラの高品質・安定生産技術の確立 アスパラガス黄化症状の発生状況調査及び原因究明 県南部におけるリーキの安定生産技術の確立 アスパラガス優良品種の選定 黄ニラ用優良品種の選定 アスパラガスの優良品種選定と早期立茎による安定生産技術の開発 白ネギの初夏どり栽培に適する晩抽性品種の選定 県中南部における加工・業務用キャベツの冬春どり安定生産技術の開発 加工・業務用キャベツの周年安定供給技術の確立(環境研、高冷地研と共同)
ダイコン	平22-26	温暖化に対応したダイコン新品種の開発(高冷地研と共同)
バレイシヨ	昭35-平14 昭55-継 平18-19(緊) 平18(緊) 平20(緊)	バレイシヨ系統適応性検定試験 バレイシヨ原種ほ事業 バレイシヨ「アンデス黒(仮称)」の品種特性の把握 バレイシヨ品種「デジマ」及び「キタアカリ」の生育障害再現試験 バレイシヨ品種「デジマ」及び「キタアカリ」に発生した黒斑症状の要因
その他	平13 平15-18 平15(緊) 平16(緊) 平16-18 平16-20 平18(緊) 平19-20 平19-21 平21(緊) 平24-26 平28-30 令3-7	主要野菜の優良品種の選定(カンシヨ) カバープランツを活用した野菜病虫害総合管理技術 岡山県のゴボウに発生した根部黒変症状 マイナー作物等農薬登録推進試験 (トウガン雑草に対するクレマート乳剤及びトレファノサイド粒剤の効果と作物残留) 送粉昆虫キオビオオハリナシバチの大量増殖・利用技術 フラワーベルトの土着天敵保護・増殖機能を活用した害虫防除技術の開発 ゴボウの冬期出荷技術の確立 景観植物の害虫誘引機能等を活用した防除技術の開発 葉柄付き長ゴボウの冬期(1-2月)出荷技術の確立 外気導入式強制換気法によるハウスの昇温抑制効果 土着天敵タバコカスミカメの持続的密度管理によるウイルス媒介虫防除技術の開発・実証 天敵温存植物を使った植生管理技術によるトバテン保護システムの確立 植物遺伝資源の収集・保存・提供の促進

8. 花き (試験担当一特記以外は野菜・花研究室)

区分	年次	試験研究項目
草花 (キク)	平11-13	盆・彼岸ピッタリ出荷による高付加価値コギク生産のための精密開花調節法の確立
	平13(緊)	キク葉先枯れ症に関する研究
	平14(緊)	キク葉先枯れ症抑制試験
	平14(緊)	夏秋小ギクの電照栽培実証
	平16(緊)	ジベレリン処理による夏秋小ギクの開花調節
	平22-26	温暖化に対応した夏秋需要期キク安定開花調節技術の開発
(宿根 草)	平13(緊)	中山間地域におけるリンドウF ₁ 品種の育成と出荷期拡大技術の確立 (北支)
	平14-18	
	平19-23	オリジナルリンドウの連続出荷と新作型の開発 (北支)
	平19-20(緊)	県南地域におけるリンドウF ₁ 品種の夏越し栽培技術の確立
	平22-23(緊)	オリジナルリンドウの連続出荷と新作型の開発
	平24(緊)	オリジナルリンドウの栽培適性の把握
	平24(緊)	リンドウ培養個体の鉢上げ苗の越冬芽形成
	令5(緊) 令6-7	オリジナルリンドウの高温耐性の把握
(球根 類)	平9-17	育成系統及びバイオ種苗の栽培特性試験
	平14-15(緊)	おかやまオリジナルリリーのメリクロン苗の秋定植による原種球根養成技術の確立 (北支)
	平16-18	オリジナル・リリーの育苗の安定化と生理障害対策
	平25	県育成ユリ品種のガーデニング花材としての有効試験
(その 他)	平11-13	固化材を用いた地域特産花きの新育苗システムの開発 (北支)
	平11-13	環境に配慮したバラの根域制限養液土耕システムの開発 (北支)
	平12-19	胚培養によるスイートピー新品種の育成
	平12-14(緊)	ブプレウラムの生産安定技術の確立 (北支)
	平13-18(緊)	スイートピーの新品種育成試験
	平13(緊)	スイートピーの隔離床養液土耕栽培
	平13(緊)	ラクスパーク新品種育成試験
	平13(緊)	ブルーレースフラワーの周年栽培
	平13-15	プランター栽培によるスイートピー安定生産システムの開発
	平14(緊)	簡易・低コストなハウス環境制御装置稼働実証
	平14(緊)	ラクスパーク優良系統の育成
	平14-16	ラクスパーク優良系統の育成と採種・育苗技術の確立
	平14-17(緊)	トルコギキョウの固化若苗定植による二度切り栽培法の確立 (北支)
	平16(緊)	LEDを利用したパンジー育苗
	平17(緊)	スイートピーの栽培法の改善
	平17-19	おかやま・スタンダード・ラクスパークの育成とプライミングを利用した育苗技術の確立
	平17-19(緊)	花トウガラシの摘葉技術の確立
	平18-19(緊)	花トウガラシの採種方法の確立
	平18(緊)	1-MCPによるスイートピーの落蕾抑制技術の開発
	平18(緊)	スイートピーの光熱費削減のための加温方法の開発
	平18-21(緊)	ブプレウラムのスムーズな生育促進技術の開発
	平19-21	スイートピーの日持ち性向上技術の開発
	平21-22(緊)	おかやまオリジナルラクスパークの育成と品質向上技術の確立
	平22-24	スイートピーの落蕾多発条件の解明と落蕾抑制剤実用化技術の確立
	平23-24(緊)	ラクスパーク優良系統の育成と育苗法の改良
	平28-30	UECSを利用した統合環境制御によるスイートピーの生産性の向上
	令元-3	全日本花卉品種審査会 (ラクスパーク)
	令元-3(緊)	スイートピーの高品質・安定生産技術の確立
令4-7	冷房処理を活用したスイートピーの着花安定化技術の確立	

区分	年次	試験研究項目
(その他)	平15-16	L E Dを利用したパンジー育苗の可能性の検討
	平15-19(緊)	ブルーレースフラワー優良系統の育成
	平18(緊)	キトサンによるラークスパー及びブルーレースフラワーの生長促進(北支)
	平20-22	ブランド化を目指した特産花きの品種選抜と栽培法の改善
	平21(緊)	キトサンの農業利用技術の開発
	平22(緊)	光及び温度環境の高度制御による切り花花きの低コスト栽培技術の確立
	平23	E O D反応を活用した主要花きの効率的生産技術の実証ならびに地域適応試験
	平23-24	ラークスパー優良系統の育成と育苗法の改良
	平23-25	光環境の高度制御による切り花花きの低コスト栽培技術の確立
	平23-25(緊)	グニーユーカーリの挿し木技術の開発
	平23-24	ブルーレースフラワー新品種候補の現地試験
	平25-26(緊)	
	平24(緊)	ブルーレースフラワーの雄ずい、花卉の離脱抑制法の開発
	平25(緊)	naked培地と間欠冷蔵を組み合わせたラークスパーの超促成栽培
	平25-29	周年安定生産を可能とする花き栽培技術の実証研究
	平25-29	岡山オリジナルフラワーの次世代品種の開発
	平27(緊)	夜間冷房によるスイートピーの落蕾抑制技術の確立
	平28-29(緊)	花きの難発芽種子の発芽(出芽)促進技術の確立
	平30-継 令3(緊)	特産花き新品種の育成 ラークスパーの省力的育苗・定植方法の検討

9. 養蚕

試験実施なし

10. 生物工学 (試験担当-特記以外は野菜・花研究室)

区分	年次	試験研究項目
	昭60-平18	胚培養法によるユリ新品種の育成
	平3-継	特産作物遺伝資源収集・保存・管理(ジーンバンク)事業
	平9-24	胚培養を主体とした育種法によるナス用台木新品種の育成
	平7-継	リンドウ親株の維持とクローン増法
	平12-19	組織培養法による黒大豆の無病苗育成
	平15-20	胚培養によるスイートピー新品種の育成
	平19-令6	遺伝子解析による病害虫診断の確立

11. 土壌肥料 (試験担当-特記以外は化学研究室、環境研究室)

区分	年次	試験研究項目
共通	平13-継	病害虫・生育障害の診断と対策指導
施肥改善(新肥料)	平10-14	堆肥等有機物、化学肥料適正使用指針策定調査
	平15-18	G I Sを活用した施肥管理システムの開発
	平26-29	規格や用途に適応したペレット化肥料等の開発
	平27-令元	家畜ふん堆肥と肥効調節型肥料による新規肥料の製造とその利用法の開発
移植水稻	平10-14	肥効調節型肥料を用いた広域適応水稻省力施肥技術の確立
	平11-13	有機物長期連用圃場における土壌理化学性及び米の収量・成分組成変動の解析
	平14	牛尿の液肥化による麦類のタンパク質含有量向上化技術確立試験
	平14	被覆肥料施用による麦類のタンパク質含有量向上化技術確立試験
	平15-18	水稻栽培管理の違いが玄米中の微量成分含量に及ぼす影響
	平15-19	中国中山間水田における飼料用稲を基軸とする耕畜連携システムの確立
	平17-19	有機質資源の無機化予測に基づいた水稻施肥技術の確立
	平17	効率的で環境にやさしい水稻一発肥料の開発

区分	年次	試験研究項目
移植水稲	平17, 20	水田におけるケイ酸供給力向上技術の確立試験
	平17-19	施肥基準等設定栽培試験
	平21-24	高糖分飼料イネ安定多収栽培のための堆肥施用指標の作成
	平21-25	省資源型農業の生産技術体系の確立
	平23-25	暖地少雨低地土水田におけるリン酸減肥指針の策定(施肥削減に向けた生産技術体系の開発)
	平23-24	高糖分飼料イネ「たちすずか」生産における堆肥連用効果に応じた適切な施肥管理の実証
	平23-27	水田作における緑肥を活用した低投入型施肥技術の確立
	平26-27	家畜ふん堆肥およびケイ酸資材の同時施用による水稲肥培管理技術の確立
	平28-30	主食用米の飼料用栽培に特化した低コスト多収施肥技術の確立
	平28-29	飼料用米の湛水直播栽培における省力・低コスト・多収栽培のための施肥技術の確立
	平30-令元	簡易栄養診断を活用し気象変動に対応できる水稲追肥判定指標の策定
	令元-3	水田土壌における硫黄欠乏の実態解明と対策技術の確立
	令元-3	ドローンを利用した水稲生育診断の効率化による大規模水田作経営促進事業
令4-9	環境に配慮した新しい水田施肥体系の確立	
令2-7	全農肥料委託試験	
麦類	平15-16	麦類の品質向上試験
	令4-5	全農農薬委託試験
	令7-9	プラスチック被覆肥料を用いない麦類の省力施肥法の確立
その他作物	平19-22	黒大豆の高品質・安定生産のための土壌・施肥管理技術の確立
	平28-令元	転作田等における飼料用トウモロコシの安定生産技術の開発
	令7-9	気候変動等に対応した黒大豆の系統選抜と安定生産技術の確立
果樹	平9-13	高糖度モモ生産のための栽培管理指標策定
	平14-18	高品質果実安定生産をめざした根圏環境改善技術の確立
	平19	果樹生理障害発生園の原因究明
	平19-23	モモ・ブドウの高品質果実安定生産のための施肥改善対策
	平24-28	ブドウ安定生産のための施肥方法の改善
	平24	ブドウ「紫苑」の土壌改良による樹勢強化対策
	平29-令3	樹勢の客観的評価に基づく「おかやま夢白桃」の安定生産技術の確立
	令4-8	水田転換畑におけるモモ安定生産のための土壌改良マニュアルの作成
令5-7	D Xを活用した水田転換園における果樹の省力・安定栽培技術の開発	
野菜	平9-13	隔離床養液土耕栽培法による高栄養野菜の安定栽培技術の開発
	平10-14	生育制御と施肥の適正化によるハクサイ縁腐れ症防止技術の開発
	平10-14	ハクサイに対する環境保全型施肥技術の確立
	平14-16	トマトのリアルタイム栄養診断基準と管理指針の策定
	平17-19	有機液肥を活用した長期安定有機栽培技術の確立
	平17	砂地畑での秋まきゴボウ栽培現地実証試験
	平20	効率的かつ環境にやさしい緩効性肥料の開発
	平20	日射制御型拍動自動灌水装置を用いた環境に優しい施肥技術の確立
	平20-22	リン酸蓄積土壌における施肥適正化試験
	令元-令3	水田転換畑における野菜安定生産のための排水対策技術選択手法の確立
	令4-6	加工・業務用キャベツの周年安定供給技術の確立(水田転換畑等での安定生産のための土壌管理技術の確立)
土壌保全	昭50-継	土壌環境基準点調査
	昭54-継	土壌環境定点調査
	昭58-継	土壌保全対策診断調査
	平10-14	環境保全型有機質資源施用基準の設定調査
	平10-14	環境保全型土壌管理対策推進指針の策定調査
	平10-16	土壌機能実態モニタリング調査

区分	年次	試験研究項目
土壌保全	平11	持続的農業推進事業
	平12-継	化学肥料・堆肥等有機物適正使用指針策定調査
	平14	温暖化ガス動態調査
	平16	五輪原高原産地の土壌調査
	平16	有機農業産地の土壌実態調査
	平16	自然薯生育障害対策調査
	平16-18	土壌からの窒素供給量を考慮した施肥法の確立
	平17	酸性化資材施用による高pH土壌の改良試験
	平17-18	肥効調節型肥料と硝酸態窒素溶脱抑制資材を用いた環境保全型土壌管理技術の確立
	平17-19	環境保全型土壌管理対策調査
	平17-19	養分過剰土壌における環境保全型施肥技術の確立
	平19-20	環境にやさしい農業の推進
	平19-20	たい肥の施肥管理システムの機能強化
	平20-24	有機栽培における持続的な土壌管理技術の確立
	平22-23	減肥基準策定に向けたデータ収集事業
平25-27	堆肥と化成肥料を混合した新規肥料設計技術の開発	

12. 環境保全 (試験担当-特記以外は化学研究室、環境研究室)

区分	年次	試験研究項目
大気汚染	平20-24	土壌由来温室効果ガス計測・抑制技術実証普及事業
	平25-継	農地土壌炭素貯留等基礎調査事業
水質汚濁	昭60-継	農業用水調査事業
	平18-20	湖沼流域水環境保全手法確立調査
	平18-20	流出水対策推進モデル計画策定調査
	平21-22	流出水対策調査(土壌調査)
重金属汚染	平27-継	農畜産物及び土壌中放射性核種のバックグラウンドレベルの監視に係る試料採取業務
農薬残留	昭46-平17	農薬残留対策調査
	平12-16	バイオマス利活用フロンティア推進事業
	平16-18	マイナー作物等病害虫農薬登録推進試験
	平19-継	マイナー作物等病害虫防除対策事業
	平20-24	土壌由来温室効果ガスインベントリ情報等整備事業(農地管理による温室効果ガス抑制対策試験)
	平25-令2 令6-9	農地土壌温室効果ガス排出量算定基礎調査 国内肥料資源利用拡大対策事業のうち国内資源の肥料利用拡大に向けた調査(地力調査)
廃棄物利用	平17	浄水場発生ケーキの品質実態調査

13. 病害虫 (試験担当-特記以外は病虫研究室)

(病害)

区分	年次	試験研究項目
イネ	昭40-継	イネ病害に対する新殺菌剤利用開発試験 →共通 農作物主要病害虫の効率的防除薬剤の実用化試験へ移行
ムギ	昭60-62	大麦(ビール麦)縞萎縮病の防除対策
	平23-24	ムギ類黒節病の発生生態の解明
果樹	昭56-平18	ウイルスフリー苗生産技術 →果樹ウイルスフリー苗育成対策事業へ移行
	昭57-平18	果樹ウイルスフリー苗育成対策事業
	昭57-平18	モモ、ブドウのウイルスフリー化とその栽培技術 →果樹ウイルスフリー苗育成対策事業へ移行
	平9-13	放射線照射によるモモの新品種育成

区分	年次	試験研究項目
果 樹	平12-14	モモ黒斑病の多発要因の解明と総合防除
	平15-16	ブドウ枝枯れ症状の原因究明と対策
	平15-17	ブドウ根頭がん腫病菌の迅速検出
	平15-23	ブドウ根頭がんしゅ病の生物的防除
	平15-17	ブドウのナラタケモドキによる衰弱枯死対策
	平15-17	黒斑病抵抗性清水白桃によるモモ病害虫の省力的総合防除法の開発
	平15	ナシ‘愛宕’の心腐れ対策
	平16-17	ブドウ房枯病に対する発芽処理薬剤の効果
	平16-18	ブドウ根部の白かび症の原因究明と対策
	平16	ナシ汚果病の原因菌の究明と防除対策
	平17	ブドウ房枯病菌による枝枯れ、房枯れの伝染方法の究明及び防除対策
	平17	ナシ汚果病や心腐の防除対策
	平17-19	生物農薬によるナシ果実の心腐れ防除対策
	平18	ブドウ晩腐病防除対策
	平19-24	イチジク株枯病の生態解明と総合防除技術の開発
	平20	ブドウ房枯病、ラシオディプロディア房枯病対策
	平20	モモせん孔細菌病に対する防除体系の検討
	平21-22	温水処理による果樹土壌病害の防除に関する試験
	平21-23	ストロビルリン系薬剤耐性ブドウ褐斑病菌対策
	平22	温水点滴処理による施設ブドウ白紋羽病の防除に関する試験
	平22-24	環境負荷低減を実現する果樹類白紋羽病の温水治療法の確立
	平22-24	モモうどんこ病の防除対策の確立
	平23-27	新規拮抗細菌を用いたブドウ根頭がんしゅ病防除剤の開発
	平23	モモせん孔細菌病の生物的防除に関する試験
	平23-25	主要作物をキサントモナス属病害から守る新規微生物農薬の開発
	平23-26	ブドウ根頭がんしゅ病新規拮抗細菌の製剤化に伴う圃場効果試験
	平24	ブドウの主要病害における薬剤耐性菌対策
	平24	イチジク株枯病の総合防除
	平25-27	ブドウ根頭がんしゅ病新規拮抗細菌の環境中の動態と防除機構の解明
	平27-28	ブドウ房枯病に対する有効薬剤の検討
	平27-29	モモ白紋羽病の温水治療技術の検証
	平28-30	ブドウ房枯病に対する有効薬剤の検討
	平30-令2	簡易被覆ブドウにおける晩腐病の防除対策
平30-令元	静電噴口を用いた防除機の開発による果樹の効果的防除	
平30-令2	モモ急性枯死症状発病要因の解明と対策の検討	
令2-6	果樹等の幼木期における安定生産技術の開発（急性枯死症状の発生要因の解明と対策技術の開発）（果樹研、環境研と共同）	
野 菜	平11-13	野菜ピシウム病に起因する軟腐病の防除対策
	平12-13	野菜軟腐症を誘発するピシウム病の発生生態の解明と防除対策
	平13-15	コリネスポラ菌によるトマト褐色輪紋病、キュウリ褐斑病の発生生態の解明と防除対策
	平15	イチゴ疫病対策
	平15-16	ゴボウ根黒斑病（仮称）対策
	平16-17	雨よけトマトの黄化、萎凋症状の原因究明
	平16-18	イチゴに発生する疫病などの生態解明と環境負荷の低い防除体系の開発
	平16-18	マイナー作物病害虫の発生生態の解明及び防除対策
	平17	加熱ハサミを用いたナス青枯病菌の地上部伝染防止効果
	平17	五輪原高原ダイコン栽培圃場における病害の発生実態調査
	平17	岡山県で発生したハクサイ黄化モザイク病（新称）

区分	年次	試験研究項目
野菜	平18-20	雨よけトマトかいよう病の生態解明による総合的防除技術の開発
	平19-21	イチゴの温暖季多発型病害虫の減農薬防除技術の確立
	平19-継	マイナー作物等病害虫の防除対策
	平21-23	雨よけ栽培トマト葉かび病の多発要因の解明と総合防除技術の確立
	平22-23	黒大豆枝豆茶しみ症の原因究明と対策
	平22-24	トマト青枯病菌及びかいよう病菌の土壌中の動態解明による効率的防除法の確立
	平22-24	促成栽培ナスにおける難防除病害虫の減農薬防除体系の確立
	平24-26	トマトすすかび病の多発要因の解明による総合防除技術の開発
	平27-29	キュウリ褐斑病の多発要因の解明による総合防除技術の開発
	令3-5	アスパラガス斑点性病害の発生実態の解明と防除対策の確立
令6-8	キュウリ炭疽病の多発要因の解明による総合防除技術の開発	
花	平7-継	ウイルス病等診断対策 →予察法 遺伝子解析による病害虫診断の確立へ移行
	平17	リンドウ株枯症に対する薬剤灌注処理の効果

(害虫)

区分	年次	試験研究項目
イネ	昭40-継	イネ虫害に対する新殺菌剤利用開発試験 →共通 農作物主要病害虫の効率的防除薬剤の実用化試験へ移行
	平13	カメムシ類による斑点米の発生状況
果樹	平11-15	天敵を活用した温室ブドウのハダニ類防除技術の確立
	平14	カキのアオマツムシに対する防除薬剤の検討
	平15	性フェロモンを利用したモモノゴマダラノメイガの発生調査
	平16-18	フェロモン剤及び黄色蛍光灯を利用したピオーネの減農薬栽培技術の確立
	平16-18	フェロモントラップを利用したモモノゴマダラノメイガの効率的防除法の開発
	平19-21	黄色灯及びフェロモン剤を利用したモモノの総合的防除技術の確立
	平20	モモノゴマダラノメイガに対する性フェロモン剤の交信かく乱効果
	平21-23	ブドウのクビアカスカシバの発生生態の解明と防除対策の確立
	平22-24	中国地域における果樹カメムシに対する適期防除実施判断指標の策定
	平24-26	ブドウのチャノキイロアザミウマの防除対策の確立
	平25-27	緑色LEDを用いたモモノの減農薬防除技術の確立
	平27-29	モモノのナシマルカイガラムシ防除体系の確立
	平30-令2	施設ブドウのコナカイガラムシ類防除体系の確立
令3-5	ブドウ栽培におけるアザミウマ類の総合的防除体系の確立	
令6-8	モモノ栽培におけるカイガラムシ類の防除対策の確立	
野菜	平9-13	環境に配慮した特産野菜の長期生産安定技術の確立
	平10-13	天敵による施設栽培ナスの病害虫防除技術の確立
	平13-15	天敵を活用した減農薬果菜栽培の定着化技術
	平15	中山間地域における夏秋ナスの天敵利用栽培の技術の確立
	平15-17	カバープランツを活用した野菜病害虫総合管理技術の確立
	平16-18	フラワーベルトの土着天敵保護・増殖機能を活用した害虫防除技術の開発
	平16-18	果菜類の減農薬栽培のための土着天敵の増殖技術と採集装置の開発
	平17	夏イチゴを加害するショウジョウバエ類
	平17	粒剤施用による夏ダイコンでのキスジノミハムシ防除
	平18	プレオフロアブルの効果的な活用方法
	平19-20	景観植物の害虫誘引機能等を活用した防除技術の開発
	平22-24	高設栽培イチゴにおける広食性天敵を活用した害虫防除技術の開発
	平25-27	促成栽培ナスのミナミキイロアザミウマに対する新たな天敵を組み合わせた総合防除体系の確立
	平28-30	天敵利用による露地ナスの害虫防除体系の確立

区分	年次	試験研究項目
野菜	令元-3	イチゴの天敵利用栽培における微小害虫防除体系の確立
	令4-6	イチゴのアザミウマ類に対する天敵防除体系の確立
花	平18-20	天敵を活用した施設栽培バラのハダニ類防除技術の開発

(有機無農薬栽培)

区分	年次	試験研究項目
野菜	平9-13	有機無農薬によるイチゴの促成栽培技術の開発

(発生予察・植物防疫事業)

区分	年次	試験研究項目
予察事業	昭16-継	病虫害発生予察及び早期発見に関する事業
	昭29-継	防除適期決定圃
	昭40-継	果樹等作物病虫害発生予察事業
	昭53-継	農薬耐性菌検定事業
	昭55-継	野菜病虫害発生予察事業
	平9-15	病虫害発生予察情報地域活用化技術の確立
予察法	平19-継	遺伝子解析による病虫害診断の確立

(共通)

区分	年次	試験研究項目
共通	平11-継	農作物主要病虫害の効率的防除薬剤の実用化試験
	平13-継	病虫害・生育障害の診断と対策指導
	平22-継	全農農薬委託試験
	平28-継	主要病虫害の薬剤感受性の発生実態の解明と有効薬剤の選抜
	令元-3	農作物障害診断アシストシステム開発事業

14. 流通利用 (試験担当-特記以外は化学研究室、環境研究室)

区分	年次	試験研究項目
流通	平11-16	土壌並びに作物体の非破壊モニタリングシステムの開発
	平14-16	県産農作物の機能性評価
	平17-19	モモ・ブドウ等の食味と機能性の評価
	平20-22	モモ・ブドウの輸出における安定輸送技術の開発
	平20	モモ・ブドウの長期鮮度保持技術の確立
	平25-27	味覚センサを用いた県産野菜の味の視覚化手法の開発
	平26-30	ブランディングに向けた枝豆の味分析と鮮度保持技術の開発
	平26-27	軟弱野菜における施肥による食味変化の数値化手法の開発
	平28-30	県産果実の“美味しさの見える化”によるブランド強化
	平28-30	ブランド力向上を目指したキャベツの良食味安定生産のための施肥法の確立
	令元-令3	枝豆新品種の栽培技術の確立とブランディング対策
令2-4	県産果実のブランド強化と安定供給を目指した鮮度保持技術の開発	

15. 農業機械 (試験担当-環境研究室)

区分	年次	試験研究項目
	令3-4	イアコーン収穫スナッパヘッドの現地適応化

16. 農業経営 (試験担当-特記以外は経営研究室、作物・経営研究室)

区分	年次	試験研究項目
	平11-13	果樹産地再編に対応した担い手確保支援システムの確立
	平12-14	経営体育成に対応した経営計画作成支援ソフトウェアの開発

区分	年次	試験研究項目
	平11-15	中山間における畜産との連携を想定した低コスト環境負荷軽減型水稲栽培体系の確立
	平14-16	消費・市場ニーズを据えた高付加価値果樹生産・販売システムの確立
	平15-17	直売所の商圈分析と消費者行動の解明
	平17-19	担い手の多様化に対応したブドウ産地の複合型生産・販売体制の確立
	平18-19(緊)	サクランボの安定生産のための現地実証試験
	平18-20	超密植と灌水同時施肥による高収益型ブドウ生産システムの構築
	平18-20	直売所への農産物の安定的出荷システムの策定
	平19(緊)	ブドウ「オーロラブラック」の市場と消費者の評価
	平20-22	集落営農の類型化と育成手法の解明
	平21(緊)	直売所ネットワーク組織を活用した品揃え方策の検討
	平22-24	消費ニーズによる岡山米の生産・販売方向
	平23-25	集落営農の維持・発展に向けた支援方策の解明
	平25-27	大規模経営に対応した効率的な稲作システムの確立
	平26-28	県産ぶどうにおける消費ニーズと販売形態の方向
	平26-28	個人消費のスタイルに即したブドウ生産技術の開発
	平28(緊)	農地集積のための用排水及び畦畔管理モデルの確立
	平27-令元	「シャインマスカット」の秋冬期出荷技術の確立(果樹研と共同)
	平29-令元	中山間地域農業の発展にむけた広域連携の展開方向
	平29-令元	「オーロラブラック」のブランド力強化を目指したプレミアム果実生産技術の確立
	平29	岡山県の気候に適したリンドウ新品種の育成(高冷地と共同)
	平30	特産花き新品種の育成(野菜・花研と共同)
	令元(緊)	水田農業における新規参入者、雇用者等の育成の実態解明
	令2-4	水田農業における次世代への経営継承課題の解決策の確立
	令2-4	県産果実のブランド強化と安定供給を目指した鮮度保持技術の開発(環境研と共同)
	令3(緊)	果樹農業振興における補助事業の導入状況と効果
	令3(緊)	「晴苺 [®] 」生産者の東京出荷における現状と課題
	令5-7	米価低迷下における高収益水田作営農モデルの策定
実証事業	平4-21	不耕起乾田直播栽培の実証(総括)
	平6-18	大区画水田における水稲低投入・高収量栽培技術の組立て実証
	平9-21	大区画高生産性稲作実験農場運営実証事業
	平14(緊)	不耕起直播による米麦一貫体系実証事業
	平15(緊)	水稲低投入・高品質栽培技術の実証
	平16-18	

17. 準高冷地農業 (試験担当-高冷地研究室)

区分	年次	試験研究項目
果樹	平22(緊)	寒冷地でのブドウ栽培技術の確立
	平23-27	高冷地での簡易被覆ピオーネ栽培技術の確立
	平23(緊)	ヤマブドウの結実安定化技術の検討
	平25-27	木質バイオマスを素材とした樹木の凍害防止資材の開発
	平26-27	高冷地での次世代・ポスト次世代フルーツ品種の栽培適応性検討
	平28-30	準高冷地での「オーロラブラック」、「シャインマスカット」生産技術の開発
	令元-3	準高冷地での「シャインマスカット」安定生産技術の確立
	令元(緊)	準高冷地での「オーロラブラック」着色向上技術の検討
	令2-4	「ピオーネ」及び「オーロラブラック」の着色安定技術の開発(果樹研と共同)
	令2(緊)	葉面散布剤の利用によるブドウ発芽期の霜害対策
	令4-6	準高冷地での「シャインマスカット」成熟促進技術の確立
	令4-6	果樹栽培の省力・高品質安定生産を可能にするスマート栽培管理支援システムの開発

区分	年次	試験研究項目
果樹	令5(緊) 令7-継	準高冷地での「クイーンニーナ」の栽培適応性の検討 導入品種試験(ブドウ)
野菜	平22-26 平22-24 平22(緊) 平23 平22(緊) 平23-27 平22(緊) 平22(緊) 平22-26 平23(緊) 平23(緊) 平23-26 平23-27 平24-28 平24-27 平29(緊) 平27-28(緊) 平28-30 平28(緊) 平28-継 平28-29(緊) 平29-令3 平29(緊) 平29-令2 平30-令3 平30-令元(緊) 令4-7 令4-6 令7-9	四季成り性イチゴの安定生産技術の確立 高冷地に適した四季成り性イチゴの新品種の育成 キャベツの高品質安定生産技術の確立 白ネギの良品安定生産技術の確立 県北部に適したダイコン導入品種の選定試験 ニンニクの高品質・多収栽培試験 温暖化に対応したダイコン新品種の開発 夏秋トマトの高品質安定生産技術の確立 リーキの品種選定及び栽植密度の検討 ニンニクの大玉生産技術の確立 ダイコンの品種選定及び良品安定生産技術の確立 夏秋雨除けトマト栽培における高温・強日射に起因する裂果対策 リーキの安定生産技術の確立 秋播き初夏採りキャベツの越冬欠株対策 準高冷地ダイコンの多様なニーズに対応した品種選定と良品生産技術の確立 四季成り性イチゴ新品種「岡山STB1号」の現地調査 県オリジナル品種安定供給事業・特産作物の遺伝資源管理事業 春播き夏採りキャベツの生産安定 夏秋雨除けトマト栽培における秋期増収技術の開発 トレビスの生理特性の解明 ダイコン育成系統評価試験 準高冷地に適した加工・業務用キャベツ安定生産技術の確立 準高冷地に適した加工・業務用タマネギの安定生産技術の確立 夏秋雨除けトマト栽培における安定生産技術の開発 加工・業務用キャベツの周年安定供給技術の確立(野菜・花研、環境研と共同) 準高冷地における加工・業務用キャベツの高品質安定生産技術の確立
花き	平19-23 平22(緊) 平23 平24-28 平24-25 平25(緊) 平26-28 平26-27(緊) 平27-28(緊) 平28-30 平28-継 平28(緊) 平30-継	オリジナルリンドウの連続出荷と新作型の開発 ソリダゴ安定生産のための栽培試験 岡山県の気候に適したオリジナルリンドウの新品種育成による連続出荷体系の確立と栽培技術の改善 酸化型グルタチオンを活用したリンドウ挿し木苗の安定生産法 「岡山リンドウ2号」の脱水斑軽減対策 リンドウの連作障害を回避する木質栽培床の開発 オリジナルリンドウの開花予測 リンドウ育苗時の胚軸伸長抑制方法の検討 木質バイオマスを利用した木質栽培床の効率的な製造方法の開発 岡山県の気候に適したリンドウ新品種の育成 樹皮培地の保水性向上資材の検討 県オリジナル品種安定供給事業・特産作物の遺伝資源管理事業

第3章 研究業績一覧

当該職員が平成12年4月から令和7年3月までに発表した研究報告及び重要資料を掲載した。ただし、次の第4章に掲載した当場刊行の研究報告・臨時報告は重複を避けるため除外した。

記載は部門別に、年代順に、部門によっては項目別に整理した。

1. 稲作
2. 麦作
3. 豆類・雑穀
4. 飼肥料作物
5. 特用作物
6. 果樹
7. 野菜
8. 花き
9. 養蚕
10. 生物工学
11. 土壌肥料
12. 環境保全
13. 病害虫
14. 流通利用
15. 農業機械
16. 農業経営
17. 準高冷地農業
18. 共通部門
19. 特許等
20. 表彰

1. 稲作

1. 赤澤昌弘 (2003) 湛水直播栽培における水稲「岡山57号」の耐倒伏性 日作紀72(別2):216-217(講要)
2. 赤澤昌弘・伊達寛敬 (2006) 糯性の赤米品種「あかおにもち」の玄米着色推移 日作中国支部研究集録47:12-13(講要)
3. 大久保和男 (2009) 水稲品種「朝日」と「せとこがね」間の雑種後代における脱粒性の遺伝 日作中国支部研究集録50:27-28(講要)
4. 大久保和男・赤澤昌弘 (2009) 岡山県の主要水稲品種における脱粒性について 日作紀79(別1):38-39(講要)
5. 大久保和男 (2010) 水稲品種「朝日」と「せとこがね」間の雑種後代における脱粒性の遺伝;第2報 単粒系統F3における脱粒型の分離について 日作中国支部研究集録51:25-26(講要)
6. 大久保和男・渡邊丈洋・宮武直子・前田修平・井上智博 (2010) 穂の握り締めによる水稲品種の脱粒性評価方法の検討 日作紀80(別1):2-3(講要)
7. 大久保和男・赤澤昌弘 (2010) 岡山県の主要水稲品種における脱粒性 近中四農研18:27-31
8. 大久保和男・渡邊丈洋・前田周平・井上智博 (2012) 穂の握り締めによるイネ品種の脱粒性評価方法について 日作紀81(2):201-206
9. 前田周平・渡邊丈洋 (2012) 高温耐性品種「にこまる」の登熟期間における品種特性 日作中国支部研究収録52:35-36(講要)
10. 大久保和男 (2013) 穂の握り締めによるイネ品種の脱粒性評価において調査株数の削減が評価結果に及ぼす影響 日作紀82(3):283-288
11. Kazuo Okubo (2014) Morphological evaluation of the trace of grain detachment in japonica rice cultivars with different shattering habits Plant Production Science 17(4)
12. 大久保和男 (2014) イネ品種「朝日」における脱粒性の改良に関する研究 岡山大学博士論文
13. 大久保和男 (2014) ヘテロ型反復自殖法で育成した日本型イネの脱粒性同質遺伝子系統 日作中国支部研究収録54:21-22(講要)
14. 大久保和男 (2014) 脱粒性の異なる日本型イネ品種における籾脱離痕の形態的特徴 日作第238回講要:46
15. 大久保和男 (2014) 反復自殖法で育成した日本型イネの脱粒性同質遺伝子系統群を用いた脱粒性の遺伝子解析 日作第239回講

要:123

16. 大久保和男 (2015) 個体単位の穂の握り締めによるイネの脱粒性評価について 日作中国支部研究集録 55:21-22 (講要)
17. 大久保和男 (2015) 穂の握り締めによるイネの脱粒性評価の個体検定における実用性 日作第 241 回講要:13
18. 大久保和男 (2015) 水稻品種朝日における脱粒性の改良 第 7 回中国地域育種談話会要旨集:2
19. 大久保和男 (2016) 穂の握り締めによるイネの脱粒性評価の個体検定における実用性 日作紀 85 (2) :188-192
20. 大久保和男 (2016) 脱粒程度の年次変動からみた穂の握り締めによるイネ脱粒性の個体検定の実用性 日作第 242 回講要:46
21. 大久保和男 (2016) 岡山県の水稲品種における脱粒程度の年次変動 日作中国支部研究集録 56:38-39 (講要)
22. 大久保和男・井上千鶴・辻村雄紀・石川亮 (2017) 日本型イネにおける脱粒性評価のための準同質遺伝子系統群の育成と脱粒程度の遺伝解析 日作紀 86 (4) :358-366
23. 大久保和男・高橋幹子 (2019) 岡山県の水稲主要品種における脱粒程度の年次間差 日作紀 89 (1) :34-39
24. 赤澤昌弘 (2000) 水稻湛水直播栽培の水管理法が出芽苗立ちに及ぼす影響 日作中国支部研究集録 41 (講要)
25. 中野尚夫・平井幸・杉本真一・富久保男 (2000) レンゲ立毛中水稻不耕起播種栽培におけるレンゲの植生について 日作紀 69 (4) :464-469
26. 中野尚夫・平井幸 (2000) 稲わら水抽水液がレンゲ生育に及ぼす影響 日作紀 69 (4) :470-475
27. 石井俊雄 (2000) 岡山県内の水稻乾田直播栽培圃場から採集した雑草イネの休眠性 雑草研究 45 (別号) :46-47 (講要)
28. 石井俊雄 (2000) 水稻不耕起乾田直播栽培における雑草イネ防除法—稲わら焼却・非選択性除草剤の播種後処理・DCMU 水和剤散布・厚播きの検討 雑草研究 45 (別号) :48-49 (講要)
29. Yanfeng Ding, Masahiro Akazawa and Sachio Maruyama (2000) Effect of Water Management during Seedling Establishment on Photosynthesis and Dark Respiration of Paddy Rice Direct-Sown into Flooded Soil. 日作紀 70 (別 1) (講要)
30. 石井俊雄 (2001) 岡山県の水稲乾田直播栽培圃場に発生した雑草イネ 農業技術 56 (6) :257-261
31. 石井俊雄 (2001) 岡山県の水稲乾田直播栽培圃場で問題になる雑草イネ 植調 35 (8) :269-277
32. 石井俊雄 (2001) 水稻乾田直播栽培と雑草イネ—岡山県の事例から—九州の雑草:31
33. 妹尾知憲・大久保和男 (2001) 水管理による「アケボノ」の品質向上試験 近中四作物栽培研究会資料 (講要)
34. 赤澤昌弘 (2001) 岡山県における水田雑草と除草剤の状況 植調協会近中四支部年次報告 10 周年記念号
35. 赤澤昌弘 (2001) 水稻の有機無農薬栽培におけるアカウキクサと菜種油粕を用いた雑草防除 植調協会近中四支部年次報告 10 周年記念号
36. 赤澤昌弘 (2002) 水稻湛水直播における「岡山 57 号」を用いた省力的な栽培法 日作中国支部研究集録 43:4-5 (講要)
37. 石井俊雄・赤澤昌弘 (2003) 岡山県の水稲乾田直播栽培と雑草イネ 日本雑草学会第 18 回シンポジウム(講要)
38. 赤井直彦・石橋英二・尾崎保夫 (2003) 水稻不耕起乾田直播栽培水田における土壤溶液および田面水中のリン濃度の推移 土肥誌 74 (4) :507-510
39. 赤井直彦・石橋英二 (2003) 水稻不耕起乾田直播栽培水田における土壤からのリン供給量 土肥要旨集 49
40. 赤澤昌弘・河本恭一・石井俊雄・小西昇一 (2005) 超大区画水田での稲作実証試験における増収を目指した栽培体系の確立と今後の課題 日作中国支部研究集録 46:20-21 (講要)
41. 渡邊丈洋 (2010) 岡山県南部における「ヒノヒカリ、朝日」における疎植栽培方法 日作紀 79 (別 2) :48-49 (講要)
42. 赤井直彦・石橋英二・河田員宏・村上倫啓・藤原利行 (2010) 水稻不耕起乾田直播栽培継続による田面均平度の低下要因解明と改善対策 土肥誌 81 (4) :378-382
43. 佐々木良治・中井 讓・藤田守彦・小坂吉則・松本純一・上田直也・足立裕亮・角脇幸子・月森 弘・渡邊丈洋・勝場善之助・中司祐典・山本善太・藤田 究・谷口弘季・高田 聖・澤田富雄・松本樹人・石井俊雄・岩井正志・妹尾知憲・山口憲一・池上 勝・大久保和男・石井卓朗・長田健二 (2011) 近畿中国四国地域における水稻高温登熟障害の要因解析と技術対策 近中四農研資 9:41-146
44. 杉本真一 (2012) 岡山県における作物生産の現状と課題 日作中国支部研究収録 52:3-4 (講要)
45. 大家理哉・高原知佳子・鷲尾建紀・芝 宏子・荒木有朋・赤井直彦・石橋英二 (2012) 作物栄養診断を目的とした蛍光 X 線分析装置の利用の可能性 土肥関西支部講要:24
46. 石井俊雄 (2014) 岡山県における水稻乾田直播栽培の研究と普及 日作中国支部研究収録 54:1-2 (講要)
47. 前田周平・妹尾知憲・渡邊丈洋・杉本真一 (2014) 岡山県における水稻品種「きぬむすめ」の玄米品質に関する栽培適地と適作期の考察 日作中国支部研究収録 54:33-34 (講要)
48. 前田周平・妹尾知憲・杉本真一 (2015) 岡山県における出穂期予測モデルを用いた水稻品種「きぬむすめ」の気象条件に基づく栽培適地および適作期の推定 近中四農研 26:23-38
49. 渡邊丈洋 (2016) 岡山県南部において水稻湛水直播栽培が導入可能な作期 日作中国支部研究集録 56:24-25 (講要)
50. 大橋善之・細井淳・大久保和男・太田和也・高橋行継 (2016) 小集会「原種・種子生産に関わる問題点を探る」開催報告 日作

紀 85(4):445-446

51. 高橋行継・大橋善之・細井淳・大久保和男・太田和也・青木優作・小口悠 (2017) 小集会「どうなる？奨励品種制度と種子生産」－原種・種子生産に関わる問題点を探る(第2弾)－開催報告 日作紀 86(4):389-390
52. 妹尾知憲・井上智博 (2018) 岡山県における良食味米生産への取組み～「きぬむすめ」の食味を重視した栽培管理方法～ 日作中国支部研究集録 58:6-7 (講要)
53. 渡邊丈洋 (2018) 水稻「アケボノ」で回避すべき倒伏の程度とその目安となる稈長 日作中国支部研究集録 58:18-19 (講要)
54. 前田周平 (2018) 岡山県における「にこまる」の移植晩限と収穫時期の作業競合回避 日作中国支部研究集録 58:24-25 (講要)
55. 渡邊丈洋 (2018) 業務用米品種「アケボノ」の生育診断による安定多収の実現にむけて 中国四国地域マッチングフォーラム (講要)
56. 田村尚之 (2018) 簡易栄養診断を活用し気象変動に対応できる水稻追肥判定指標の策定 全農受託試験成績書
57. 渡邊丈洋 (2019) 業務用向け水稻品種「アケボノ」の多収生産において目指すべき収量および収量構成要素 日作第 248 回講要:18
58. 高橋行継・鴨下顕彦・青木優作・大久保和男・大橋善之・細井淳 (2019) 小集会「水稻種子生産現状と課題 2019」開催報告 公的種子生産現場と技術的課題・研究について 日作紀 89(1):49
59. 網島健司 (2019) 簡易栄養診断を活用し気象変動に対応できる水稻追肥判定指標の策定 全農肥料受託試験成績書
60. 渡邊丈洋 (2020) 業務用向け水稻品種「アケボノ」の多収生産において目指すべき収量および収量構成要素 日作紀 89(2):162-171
61. 網島健司 (2020) センシングデータを活用した気象変動に対応できる水稻追肥判定指標の策定 全農肥料受託試験成績書
62. 妹尾知憲 (2021) 「岡山県における適応策の取組事例について」 令和 3 年度地域における気候変動適応実践セミナー 中国・四国セミナー (水稻) (講要)
63. 尾澤陽・山口友亮・前田周平・妹尾知憲・桂圭佑 (2021) 画像解析による岡山県奨励品種きぬむすめの栄養指標値の推定 日作第 253 回講要:59
64. 網島健司 (2021) センシングデータを活用した気象変動に対応できる水稻追肥判定指標の策定 全農肥料受託試験成績書
65. 金谷寛子・前田周平・渡邊丈洋 (2022) 岡山県のブランド米「アケボノ」の安定多収生産技術の確立とリモートセンシング技術を活用した追肥技術 日作中国支部研究集録 59:4-5 (講要)
66. 金谷寛子・前田周平・柴谷一弘・齋藤毅・藤井雄一・妹尾知憲 (2023) 岡山県の「きぬむすめ」における高品質・安定生産のためのドローン空撮による NDVI を用いた生育診断 日作第 256 回講要:51
67. 妹尾知憲 (2023) 岡山県における水稻種子生産の現状と課題 日作中国地域談話会研究集録 60:6-7 (講要)
68. 金谷寛子・前田周平・柴谷一弘・齋藤毅・藤井雄一・妹尾知憲 (2024) 岡山県の「きぬむすめ」における高品質、一定収量を実現するための㎡当たり粒数の予測 日作第 258 回講要:11
69. 金谷寛子・前田周平・柴谷一弘・齋藤毅・藤井雄一・妹尾知憲 (2024) 岡山県の水稲「きぬむすめ」におけるリモートセンシング技術を用いた高品質安定生産技術の確立 日作第 259 回講要:50

2. 麦作

1. 井上智博・田村尚之・宮武直子・新見敦・杉本真一 (2011) 岡山県南部におけるコムギ品種「ふくほのか」の多収と子実蛋白質含有率向上のための播種時期、播種量並びに施肥方法 日作紀 80 (別 2):60-61 (講要)
2. 田村尚之・森次真一・赤井直彦・石橋英二 (2012) 肥効調節型被覆肥料を用いたビール大麦の収量及び子実タンパク質含有率の改善 近中四生産環境推進部会:56-59 (講要)
3. 田村尚之・森次真一・赤井直彦 (2013) ビール大麦「おうみゆたか」の全量基肥栽培に適した肥料の配合割合 土肥要旨集 59:131
4. 武田真・大久保和男 (2017) オオムギ 4 条自然突然変異の遺伝解析 育種学研究 19 (別 1):103 (講要)
5. 大久保和男 (2018) ミニシンポジウム 2 「持続的な原種・採種事業と研究との接点を探る」岡山県における麦類原種・種子生産の概要 日作第 245 回講要:240
6. 高橋行継・太田和也・武川直樹・森島規仁・大久保和男・保科亨・細井淳 (2018) ミニシンポジウム 2 持続的な原種・採種事業と研究との接点を探る 日作紀 87(3):268
7. 大久保和男・河田員宏 (2019) 岡山県のビール大麦における気象要素と収量の資料解析 日作第 249 回講要:104
8. 大久保和男 (2022) 岡山県における小麦品種「ふくほのか」の後期重点型施肥栽培 (予報) 日作中国支部研究集録 59:16-17 (講要)
9. 大久保和男・安藤裕二 (2023) 厳寒期における被覆肥料の追肥が岡山県的小麦奨励品種「ふくほのか」の収量と子実蛋白質含有率に及ぼす影響 日作第 256 回講要:11
10. 大久保和男・安藤裕二 (2023) 岡山県的小麦奨励品種「ふくほのか」の子実蛋白質含有率を向上させる後期重点施肥 日作第 256 回講要:12

11. 大久保和男 (2023) 岡山県におけるパン用小麦品種「はるみずき」の後期重点施肥 日作中国地域談話会研究集録 60:30-31 (講要)
12. 安藤裕二 (2023) 岡山県の二条大麦奨励品種「サチホゴールド」の狭条栽培における好適な播種量の検討 日作中国地域談話会研究集録 60:28-29 (講要)
13. 大久保和男・安藤裕二 (2024) 岡山県の麵用小麦奨励品種「ふくほのか」における後期重点施肥の省力化 日作第 258 回講要:29
14. 安藤裕二・大久保和男 (2024) プラスチック被覆によらない緩効性肥料を用いた後期重点型施肥が岡山県小麦奨励品種「ふくほのか」の収量と子実蛋白質含有率に及ぼす影響 日作第 259 回講要:28

3. 豆類・雑穀

1. 中野尚夫・河本恭一・石田喜久男 (2000) ダイズにおける栽植様式が節位別分枝の発生と生育に及ぼす影響 日作紀 70(1):40-46
2. 平井幸 (2001) 開花期におけるカルシウムおよび尿素処理が丹波黒大豆の収量に及ぼす影響 日作中国支部研究集録 42:16-17 (講要)
3. 平井幸 (2004) 前作の麦わら施用が不耕起・無中耕・無培土栽培の大豆の生育・収量に及ぼす影響 日作中国支部研究集録 45:14-15 (講要)
4. 松本一信・平井幸 (2005) 黒大豆優良系統の選抜とその特性 日作中国支部研究集録 46:22-23 (講要)
5. 赤澤昌弘、伊達寛敬 (2007) 大豆「サチユタカ」における裂皮粒の発生要因 日作中国支部研究集録 48:22-23 (講要)
6. 赤澤昌弘、平井幸、伊達寛敬 (2007) 麦跡における大豆の不耕起・密植・無中耕・無培土栽培 一水稲用不耕起播種機による出芽・苗立ちの安定化― 農業及び園芸 82(10):1077-1082
7. 大久保和男・中島映信・前田周平 (2011) 黒ダイズ品種「丹波黒」の優良系統「岡山系統 1 号」のセルトレイ育苗において健全苗を多数得るための管理方法 近中四農研 20:15-20
8. 大久保和男・中島映信 (2011) 丹波黒種子の水感受性とセル育苗時の播種及び灌水方法について 日作紀 80 (別 2):116-117 (講要)
9. 大久保和男 (2012) 黒ダイズ品種「丹波黒」のセルトレイ育苗において種子の床置方向が出芽に及ぼす影響 日作紀 81(4):449-452
10. 大久保和男 (2012) 黒ダイズ品種「丹波黒」のセルトレイ育苗において種子の床置方向が出芽に及ぼす影響 日作中国支部研究収録 52:43-44 (講要)
11. 大久保和男 (2013) 黒ダイズ丹波黒の出芽率を高めるへん横向き播種の効果は安定して発現する 日作中国支部研究収録 53:11-12 (講要)
12. 大久保和男・松本一信 (2013) 黒ダイズ丹波黒の優良系統「岡山 1 号」における種子の簡便な長期保存方法 日作中国支部研究収録 53:13-14 (講要)
13. 大久保和男 (2013) 黒ダイズ丹波黒の出芽率を高めるへん横向き播種の効果は安定して発現するか? 日作紀 83 (別 1):188-189 (講要)
14. 大久保和男・前田周平 (2018) 岡山県における「丹波黒」の黒マルチ栽培とその有効性 日作中国支部研究集録 58:38-39 (講要)
15. 大久保和男 (2019) 黒ダイズ品種「丹波黒」の皮切れ粒に由来するセル成型苗の損傷 日作第 248 回講要:50
16. 大久保和男、河田員宏 (2022) 黒大豆「丹波黒」のマルチ栽培における GNS S ガイダンスを用いた畦立てマルチ敷設は乗用管理機による畦間雑草の防除を容易にする 日作第 255 回講要:70
17. 大久保和男・河田員宏 (2023) 黒ダイズ「丹波黒」のマルチ栽培における GNS S ガイダンスの畦立同時マルチ敷設作業への適用と乗用管理機による通路への除草剤部分散布 農作業研究 59:15-24
18. 大久保和男 (2023) 黒ダイズ品種「丹波黒」乾燥種子へのジベレリン処理による胚軸伸長と節間伸長の促進 日作第 257 回講要:106
19. 平井幸 (2014) 収量及び加工適性に優れた白小豆新品種の育成強化 日本豆類振興事業助成金の成果概要
20. 平井幸 (2015) 収量及び加工適性に優れた白小豆新品種の育成強化 日本豆類振興事業助成金の成果概要

4. 飼肥料作物

1. 白石誠・佐藤和久・大家理哉・正吉輝彦・吉田拓司・脇本進行・内田啓一・古川陽一・奥田宏健 (2002) 飼料イネに対する牛尿汚水の施用試験 岡山県総合畜産センター研究報告 14:65-70
2. 白石誠・藤井博尚・大家理哉・正吉輝彦・吉田拓司・脇本進行・滝本英二・北村直起・奥田宏健 (2003) 飼料イネに対する牛尿の多量施用試験 岡山県総合畜産センター研究報告 15:65-69
3. 渡邊丈洋 (2012) 発酵粗飼料用水稲栽培における主食品種の活用 日作中国支部研究収録 52:25-26 (講要)

4. 渡邊丈洋 (2013) 発酵粗飼料用としての水稻「ヒノヒカリ」の収量及び耐倒伏性 日作紀 82 (別 2) :14-15 (講要)
5. 渡邊丈洋 (2013) 飼料米生産における「ヒノヒカリ」の立毛乾燥に適した収穫時期 日作中国支部研究収録 53:29-30 (講要)
6. 大家理哉・鷺尾建紀・河野幸雄・猪谷富雄・藤本 寛 (2013) 「たちすずか」等飼料イネ栽培における施肥管理上の留意点 2013 年度土肥関西支部講要:33
7. 大家理哉・鷺尾建紀・河野幸雄・猪谷富雄・藤本 寛 (2014) 「たちすずか」等飼料イネ栽培における窒素等施肥管理上の留意点 近中四農研 25:27-32
8. 渡邊丈洋 (2016) 水稻多収性品種「モミロマン」の基肥を省略した少肥栽培における収量性 日作第 242 回講要:6
9. 鳥家あさ美・森次真一・赤井直彦 (2017) 転作田における飼料用トウモロコシの安定多収施肥技術の検討 土肥要旨集 63:144 (講要)
10. 上田直國 (2019) 転作田における飼料用トウモロコシの安定多収生産技術の検討について 近中四畜産草地推進部会 (講要)
11. 上田直國・鳥家あさ美・森次真一・朝倉麻由子・望月秀俊・山本章吾 (2020) 転作田における飼料用トウモロコシの二期作栽培に適した安定生産技術の検討 第 2 報 地下水位とロール収量の相関性に関する評価 土肥関西支部要旨集:11
12. 上田直國・鳥家あさ美・森次真一 (2024) 岡山県南部地域の水田転換畑における飼料用トウモロコシの二期作栽培に適した肥培管理の検討 土肥誌 95:179-184

5. 特用作物

1. 内藤整・平井幸 (2001) 礫耕栽培したイグサの根系形態の解析 日作中国支部研究集録 42:10-11 (講要)
2. 平井幸 (2013) 岡山県における特産作物研究の現状と課題 日作中国支部研究収録 53:1-2 (講要)

6. 果 樹

1. 小野俊朗・久保田尚浩・中山勝義・依田征四・高木伸友 (2000) 同一園内において果実着色の異なるブドウ「ピオーネ」樹における葉の生理機能と根の生長および生理活性 園芸学会雑誌 69(3):290-297
2. 小野俊朗・藤原康弘・依田征四・高木伸友・久保田尚浩 (2000) 果実着色の異なるブドウ「ピオーネ」樹における新梢内での¹³C 光合成産物の転流と分配 園芸学会雑誌 69(5):629-634
3. 笹邊幸夫・藤井雄一郎・依田征四・各務裕史・木村剛・片岡正治 (2000) モモ新品種「白麗」について 園芸学会雑誌 69 (別 1) :225 (講要)
4. 小野俊朗・山本晃郎・高野和夫・尾頃敦郎・村谷恵子・依田征四 (2000) 施設有効利用によるブドウ二期作栽培技術の確立 平成 7~11 年度新技術地域実用化研究促進事業研究成果報告書
5. 安井淑彦・各務裕史 (2000) モモ「清水白桃」の果実肥大に及ぼす最終摘果時期の影響 園芸学会中四国支部要旨 39(11)
6. 高野和夫 (2000) 近赤外分光法による植物体と土壌の非破壊分析 近畿中国生産環境部会資料 (講要)
7. 井上幸次・那須英夫・大内進・粕山新二 (2000) ガンマ線照射によるモモ黒斑病抵抗性「清水白桃」の作出 日植病報 66(2) (講要)
8. 田村史人・村谷恵子・藤井雄一郎 (2001) 夏季せん定を取り入れたブドウ「マスカット・オブ・アレキサンドリア」の 12 月加温栽培において夏季の窒素施肥が秋季の窒素吸収量、ブドウの生育、果実品質に及ぼす影響 園芸学会雑誌 70 (別 2) :252 (講要)
9. 村谷恵子・田村史人・藤井雄一郎・小野俊朗 (2001) 冬季の 5~7 芽せん定と夏季せん定との組み合わせが 12 月加温ブドウ「マスカット・オブ・アレキサンドリア」の生育、収量に及ぼす影響 園芸学会雑誌 70 (別 2) :253 (講要)
10. 安井淑彦・各務裕史 (2001) モモ「清水白桃」の最終摘果遅延による安定生産技術 近畿中国地域における新技術第 35 号:145-147
11. Yasui et. Osaki (2001) Forcing Culture of Japanese pear 'Niiitaka' Aiming to Harvest in Early August. International Symposium on Asian Pears. Japan
12. Kagami et. (2001) Development on "Bilateral Cordon Training" of Japanese Pear 'Niiitaka'. International Symposium on Asian Pears. Japan
13. 山本章吾 (2001) 高糖度モモ生産のための栽培管理指標の策定—土壌要因について— 落葉果樹研究会資料 (講要)
14. 大家理哉 (2001) ブドウ「ピオーネ」房枯れ症発生防止対策の確立 落葉果樹研究会資料 (講要)
15. 大家理哉ら (2001) ブドウ(ピオーネ)の生理障害「房枯れ症」発生の要因と対策—硫酸マンガンの果房浸漬による房枯れ症発生軽減効果 土肥要旨集 47
16. 田村史人 (2002) 二度切りによるブドウ「マスカット・オブ・アレキサンドリア」12 月加温の生産安定 近中四地域における新技術第 1 号:178-180
17. 田村史人・村谷恵子・藤井雄一郎 (2002) 夏季せん定と冬季 5~7 芽せん定を組み合わせた枝管理が 12 月加温作型ブドウ「マス

- カット・オブ・アレキサンドリア’の生育、収量に及ぼす影響 園芸学研究1(4):269-274
18. 小野俊朗・那須英夫 (2002) 冬季収穫を目指したブドウ「ピオーネ」の夏季せん定後の新梢生長および果実品質に及ぼす日長時間と暗期中断処理の影響 園芸学研究1(2):111-116
 19. 小野俊朗・田上オスカル幸太郎 (2002) 加温栽培したブドウ「ピオーネ」の新梢生長に及ぼす樹皮剥皮後の尿素枝幹処理の影響 園芸学会雑誌71(別2):297(講要)
 20. 高野和夫 (2002) 生葉の近赤外透過スペクトルからの葉中窒素含有率の推定 第18回非破壊計測シンポジウム:170(講要)
 21. 大家理哉 (2002) 硫酸マンガンの果房浸漬処理によるブドウ「ピオーネ」の房枯れ症発生軽減効果 近中四地域における新技術第1号:79-80
 22. 安井淑彦・各務裕史 (2002) ニホンナシ「新高」の果頂部切除による果形改善効果 園芸学会雑誌71(別2):284(講要)
 23. T. Yasui H. Kagami and T. Fujisawa (2002) Forcing Culture of Japanese Pear 'Niiitaka' with the Objective of Harvesting Fruits in Early August. Acta Horticulturae 587:429-433
 24. 小野俊朗・田上幸太郎 (2003) 加温栽培したブドウ「ピオーネ」の新梢生長に及ぼす樹皮剥皮後の15N-尿素枝幹処理の影響 園芸学研究2(2):93-96
 25. 小野俊朗 (2003) 粗皮剥ぎした枝幹部への尿素散布による加温栽培ブドウの生育促進 近中四地域における新技術第2号:159-161
 26. 尾頃敦郎・檀上尚美・小野俊朗・各務裕史 (2003) ブドウ「翠峰」及び「瀬戸ジャイアンツ」果皮の褐変に及ぼすジベレリンとホルククロルフェニユロンによる果粒肥大処理の影響 園芸学会中四国支部要旨:12
 27. 笹邊幸男 (2003) 異常気象に左右されにくいモモづくりへの取り組み 落葉果樹研究会資料(講要)
 28. 藤井雄一郎 (2003) モモの根域集中管理技術の確立 落葉果樹研究会資料(講要)
 29. 安井淑彦・各務裕史・小林一奈 (2003) ニホンナシ「幸水」、「新高」及び「愛宕」の改良むかへで整枝による早期成園化 園芸学会雑誌72(別2):334(講要)
 30. 安井淑彦ら (2003) 低樹高整枝を基幹とした果樹園管理の平易・軽労化と早期成園化技術の開発 近中四農林水産新技術実用化型No.6
 31. 安井淑彦 (2003) ニホンナシ「幸水」、「新高」及び「愛宕」の改良むかへで整枝による早期成園化 近中四地域における新技術第2号:156-158
 32. 高野和夫ら (2003) 糖度の高いモモ生産のための栽培管理指標 (CD-ROM版)
 33. 小野俊朗 (2004) 摘粒作業を行わない「ピオーネ」の超省力的花(果)房管理法 近中四地域における新技術第3号:141-142
 34. 笹邊幸男・藤井雄一郎・各務裕史 (2004) モモの肥培管理面積の縮小による減肥の可能性 園芸学会中四国支部要旨 43:13
 35. 笹邊幸男・藤井雄一郎・各務裕史・木村剛・片岡正治・平松竜一・紅谷文夫 (2004) モモ新品種「おかやま夢白桃」について 園芸学会中四国支部要旨 43:12
 36. 尾頃敦郎・小野俊朗・各務裕史・村谷恵子 (2004) ブドウ新品種「オーロラブラック」について 園芸学会中四国支部要旨 43:1
 37. 尾頃敦郎 (2004) 岡山県における新品種ブドウ、新技術の取り組み 近中四果樹研究会資料(講要)
 38. 尾頃敦郎 (2004) 地域特産物の生理機能・活用便覧 岡山県・ブドウサイエンス・フォーラム:329-336
 39. 藤井雄一郎・日原誠介・笹邊幸男・井上幸次・各務裕史・那須英夫・岡本五郎 (2004) モモ新品種「清水白桃RS」とその結実性 園芸学会雑誌73(別2):331(講要)
 40. 藤井雄一郎・笹邊幸男・各務裕史 (2004) 分施によるモモ栽培での施肥量削減の可能性 園芸学会中四国支部要旨 43:14
 41. 山本章吾・高野和夫 (2004) 土壌pHの矯正によるモモ落蕾症の軽減 近中四地域における新技術第3号:56-58
 42. 関二嘉・多田幹郎・高畑宗明・児島伸樹・伊賀典子・笹邊幸男・高野和夫 (2004) 黄桃のカロテノイドに関する研究 1. カロテノイド含量と組成の品種間差異 園芸学会雑誌73(別1):226(講要)
 43. 高野和夫・安井淑彦 (2004) 携帯型クロロフィル計による果実の熟度判別 園芸学会中四国支部要旨 43:15
 44. 高野和夫 (2004) 近赤外分光法によるモモの渋味の判別 非破壊シンポジウム要旨 20:144-145
 45. 高野和夫 (2004) モモの樹の窒素栄養状態が果実品質に及ぼす影響 落葉果樹研究会資料(講要)
 46. 山本章吾 (2004) 岡山県におけるモモの花芽障害の原因とその対策 落葉果樹研究会資料(講要)
 47. 大塚雅子・藤井雄一郎・日原誠介・各務裕史・岡本五郎 (2005) モモ「清水白桃RS」の結実不良の要因となる花器の形態的異常 園芸学会雑誌74(別2):371(講要)
 48. 高野和夫・山本章吾・森次真一・多田幹郎 (2005) 糖度の高いモモ生産のための栄養診断指標 園芸学会雑誌74(別2):129(講要)
 49. 小野俊朗ら (2005) ブドウの花芽分化に及ぼす栽培条件の影響とその品種間差 園芸学会中四国支部要旨 44:14
 50. 尾頃敦郎 (2006) 平成18年度民間育成品種等特性調査成績書(カンキツ、ブドウ、スモモ) 日本果樹種苗協会
 51. 村谷恵子・田村史人 (2006) 12月加温作型のブドウ「マスカット・オブ・アレキサンドリア」における夏季施肥及び夏季せん定が秋季の樹体及び秋施肥成分の吸収に及ぼす影響 園芸学研究5(2):117-122

52. 藤井雄一郎・小泉和明・小野俊朗・佐藤龍太郎 (2006) ナシ短果枝へのジベレリンペースト処理による側枝候補枝の形成 園芸学会雑誌 75 (別2):461 (講要)
53. 藤井雄一郎 (2006) ガムテープを用いたナシの落果防止対策 近中四地域における新技術第5号:100-101
54. 山本章吾・高野和夫・千田美幸 (2006) 岡山県におけるモモの花芽障害の原因とその対策 土肥誌 76:481-483
55. 高野和夫・妹尾知憲・海野孝章・笹邊幸男・多田幹郎 (2007) 近赤外分光法によるモモ果実の渋味の評価 園芸学研究 6(1):137-143
56. 小野俊朗 (2007) 岡山県におけるブドウ輸出の現状と課題について 園芸学会中四国支部シンポジウム要旨集:25-28
57. 尾頃敦郎 (2007) 果樹主要品種解説 (瀬戸ジャイアンツ) 日本果樹種苗協会
58. 北川正史・倉藤祐輝・尾頃敦郎・小野俊朗・福田文夫・久保田尚浩 (2007) ブドウ‘ピオーネ’の花芽分化の特徴と花芽分化に及ぼす栽培条件の影響 平成19年度園芸学会中四国支部要旨 46:16
59. 倉藤祐輝・河田真里・尾頃敦郎・小野俊朗・福田文夫・久保田尚浩 (2007) ブドウ‘ピオーネ’における超密植と灌水同時施肥栽培での収穫と品質 園芸学研究 7 (別1):86 (講要)
60. 藤井雄一郎・大塚雅子・岡本五郎・日原誠介・各務裕史 (2007) 放射線育種により育成されたモモ‘清水白桃RS’における結実不良の要因 園芸学研究 6(2):307-311
61. 田村史人・藤井雄一郎・村西久美・高野和夫 (2007) ブドウ‘マスカット・オブ・アレキサンドリア’における葉柄搾汁液のカリウム濃度と葉焼け障害および果実品質との関係 近中四農研 16:375-382
62. 安井淑彦・各務裕史 (2007) ニホンナシ‘新高’の果頂部切除処理による果形の改善 園芸学研究 6(3):425-429
63. 高野和夫・木村剛・山本章吾・森次真一・岡本五郎 (2007) ‘清水白桃’樹の窒素およびカリウム栄養状態と果実糖度との関係 園芸学研究 6(4):515-519
64. 藤井雄一郎・小野俊朗 (2008) ブドウ‘ピオーネ’挿し木の発根および新梢成長に及ぼす切り口保護の影響 近中四農研 13:33-37
65. 藤井雄一郎・森茂郎・倉藤祐輝・小野俊朗 (2008) セルトレーを用いた効率的なブドウの挿し木苗生産技術の開発 園芸学研究 7 (別2):455 (講要)
66. 藤井雄一郎 (2008) ナシ短果枝のジベレリンペースト剤塗布による新梢伸長促進 近中四地域における新技術第7号:77-78
67. 尾頃敦郎・小野俊朗 (2008) ブドウの花穂発育に及ぼす開花前ホルククロフェニユロンの影響 近中四農研 12:17-20
68. 倉藤祐輝・尾頃敦郎・藤井雄一郎・小野俊朗・森茂郎 (2008) ブドウにおけるマルチと灌水同時施肥による超密植栽培システムの開発 園芸学研究 7(3):425-431
69. 倉藤祐輝・河田真里・尾頃敦郎・小野俊朗・福田文夫・久保田尚浩 (2008) ブドウ‘ピオーネ’の超密植栽培における新梢成長、果実の収量と品質および花穂着生に及ぼす新梢管理法の影響 園芸学会中四国支部要旨 47:17
70. 安井淑彦・藤井雄一郎・小野俊朗 (2009) 秋季のエテホン処理によるモモ‘白鳳’幼木の開花遅延効果 近中四農研 14:97-99
71. 安井淑彦 (2009) モモ安定生産のための防水マルチ利用技術 落葉果樹研究会資料:45-48 (講要)
72. 倉藤祐輝 (2009) ブドウの超密植・灌水同時施肥栽培について 近中四果樹研究会資料:26-28 (講要)
73. 倉藤祐輝 (2009) 超密植と灌水同時施肥による高収益型ブドウ生産システムの構築 新たな農林水産施策を推進する実用技術開発事業成果発表会:6-10 (講要)
74. 小林一奈・倉藤祐輝・中島康夫・大塚真史・小野俊朗 (2009) 隔日変夜温管理されたブドウ‘マスカット・オブ・アレキサンドリア’の開花期までの新梢生長および果粒軟化期までの果粒肥大の様相 近中四農研 14:93-96
75. 尾頃敦郎 (2009) ブドウ穂軸への水分補給処理による収穫果実の鮮度保持 近中四地域における新技術第8号
76. 尾頃敦郎・小野俊朗 (2009) ブドウ穂軸への水分補給処理による収穫果実の鮮度保持 園芸学研究 8 (別2):602 (講要)
77. 安井淑彦・樋野友之・藤井雄一郎 (2010) 樹冠下への部分的マルチがモモ‘清水白桃’の果実成長、核割れ、生理的落果及び果実品質に及ぼす影響 近中四農研 18:63-67
78. 永井真弓・安井淑彦・藤井雄一郎・倉藤祐輝・尾頃敦郎・平松竜一・岸弘明 (2010) 岡山県赤磐市における気温の年次変化とモモ・ブドウの生育との関係 近中四農研 16:75-80
79. 藤井雄一郎 (2010) 岡山の白桃―独自の発達と品質向上への努力― 日本食生活学会 21:268-271
80. 田村史人・藤井雄一郎 (2010) ブドウ‘マスカット・オブ・アレキサンドリア’生育初期における新梢の萎凋と溢泌液中の無機成分濃度との関係 近中四農研 16:16-29
81. 藤井雄一郎・福田文夫・大浦明子・久保田尚浩 (2011) モモ‘清水白桃’の収穫期と果肉障害発生に及ぼす成熟期における異常高温時のエテホン処理の影響 園芸学研究 10 (別2):385 (講要)
82. 藤井雄一郎 (2011) 夏季の気象変動に対応したモモ品質安定技術の開発 落葉果樹研究会資料 (講要)
83. 倉藤祐輝・小林一奈・北川正史・小野俊朗 (2011) 自発休眠覚醒モデルを用いたブドウ‘マスカット・オブ・アレキサンドリア’加温栽培の省エネを図る保温開始早限の推定 園芸学研究 10 (別2):342 (講要)
84. 大浦明子・福田文夫・藤井雄一郎・久保田尚浩 (2011) 果実発育第3期の高温が‘清水白桃’の収穫期の遅延及び果肉障害の発生に及ぼす影響 園芸学研究 10 (別2):387 (講要)

85. 藤井雄一郎・福田文夫・大浦明子・久保田尚浩・北小路明久・池田征弥 (2012) モモ‘清水白桃’の果肉障害発生に及ぼす機能性果実袋被袋と樹冠下防水マルチ敷設処理の影響 園芸学研究 11 (別2) :138 (講要)
86. 樋野友之・安井淑彦・倉藤真弓・藤井雄一郎 (2012) 秋期の温暖化傾向がモモの翌年の生育に及ぼす影響およびその対策技術の確立 園芸学研究 11 (別2) :135 (講要)
87. 藤井雄一郎・大浦明子 (2012) モモ‘おかやま夢白桃’の幼果期の小果および着色果の発生要因 園芸学会中四国支部要旨 51:20
88. 田村尚之・高野和夫 (2012) 硫酸マグネシウム葉面散布によるピオーネのマグネシウム欠乏症抑制と休眠枝のデンプン蓄積効果 園芸学会中四国支部要旨 51:18
89. 金澤淳 (2013) 岡山県における「シャインマスカット」の高品質生産技術の確立 近中四果樹研究会資料:35-37 (講要)
90. 金澤淳・倉藤祐輝・岸弘明 (2013) ブドウ‘シャインマスカット’の果粒軟化後に発生した成熟遅延粒の特徴 園芸学研究 12 (別2) :119 (講要)
91. 金澤淳 (2013) 岡山県における「シャインマスカット」の高品質生産技術の確立 落葉果樹研究会資料:63-66 (講要)
92. 藤井雄一郎・片沼慶介・荒木有朋・宮本善秋 (2013) モモ‘清水白桃’若木の生育に及ぼす‘ひだ国府紅しだれ’台木の影響 園芸学会中四国支部要旨 52:20
93. 藤井雄一郎・片沼慶介・宮本善秋 (2014) モモ‘清水白桃’の生育に及ぼす耐凍性モモ台木‘飛騨国府紅しだれ’の影響 近中四農研 24:35-42
94. 藤井雄一郎・福田文夫・樋野友之・森永邦久 (2014) モモ‘清水白桃’の収穫期と果肉障害発生に及ぼすエテホン立木散布処理の影響 園芸学研究 13 (別2) :124 (講要)
95. 樋野友之・藤井雄一郎・安井淑彦・田村隆行・荒木有朋 (2014) モモ果実における“果梗内亀裂小果”の特徴 園芸学研究 13 (別2) :125 (講要)
96. 藤井雄一郎・樋野友之・北小路明久・池田征弥・荒川徹 (2014) ナシ‘新高’の果肉障害発生に及ぼす機能性果実袋被袋処理の影響 園芸学研究 14 (別1) :273 (講要)
97. 荒木有朋 (2014) 春季のモモの樹勢衰弱・枯死回避技術—台木試験を中心に— 落葉果樹研究会小集会資料:5
98. 高橋知佐 (2014) 年末出荷を目指したブドウの加温による果実の品質保持 近中四果樹研究会資料:42-44 (講要)
99. 田村尚之・荒木有朋・大家理哉・山本章吾・高野和夫 (2014) 土壤機能実態モニタリング調査からみた岡山県内のピオーネ園における土壌化学性 土肥関西支部要旨集:10:113-116
100. 藤井雄一郎・荒木有朋・樋野友之 (2014) 西日本のモモ生産安定のための果肉障害対策技術の開発 農林水産業・食品産業科学技術研究推進事業報告書:117-120
101. Pham Anh Tuan・Songling Bai・Hideaki Yaegaki・Takayuki Tamura・Seisuke Hihara・Kenji Oda (2015) The crucial role of *PpMYB10.1* in anthocyanin accumulation in peach and relationships between its allelic type and skin color phenotype. BMC Plant Biology 15:280
102. 金澤淳・中島譲・安井淑彦 (2015) 簡易被覆(露地)栽培したブドウ‘シャインマスカット’の糖度と気象条件および葉面積との関係 園芸学研究 14 (別2):139 (講要)
103. 藤井雄一郎・野上英孝・荒木有朋・樋野友之・金澤淳 (2015) 果樹の主幹部における凍害を回避させる木質バイオマスを用いた保護資材の開発 園芸学研究 14 (別2) :140 (講要)
104. 荒木有朋・藤井雄一郎・樋野友之・宮本善秋 (2015) 高地力圃場条件における‘ひだ国府紅しだれ’台‘清水白桃’の生育特性 園芸学研究 14 (別2) :141 (講要)
105. 中野龍平・岡村憲一・荒木克也・志水基修・長谷川圭則・藤井雄一郎・荒木有朋・樋野友之・牛島幸一郎・久保康隆・森永邦久・福田文夫 (2015) モモ晩生品種の香港中秋節時期に向けた輸出試験に関して 園芸学研究 15 (別1) :454 (講要)
106. 福田文夫・長岡洋行・藤本黎・垣田凌・中野龍平・藤井雄一郎・有田慎・森永邦久 (2015) 音響振動法によるモモの果肉障害の非破壊検出および樹上評価の検討 園芸学研究 15 (別1) :287 (講要)
107. 荒木有朋・藤井雄一郎・樋野友之・宮本善秋 (2015) モモ台木‘ひだ国府紅しだれ’種子の発芽に及ぼすジベレリン処理の影響 園芸学会中四国支部要旨 54:14
108. 藤井雄一郎・荒木有朋・樋野友之 (2015) 機能性果実袋や透湿性マルチなどを用いた総合的対策技術及び技術導入の課題と対応 園芸学会中四国支部シンポジウム:8-9 (講要)
109. 藤井雄一郎 (2015) 機能性果実袋によるモモの果肉障害抑制技術落葉果樹研究会 (講要)
110. 荒木有朋 (2015) 気象変動に対応したモモの安定生産技術の開発 岡山大学知恵の見本市 2015:56
111. 藤井雄一郎・荒木有朋・樋野友之 (2015) 西日本のモモ生産安定のための果肉障害対策技術の開発 (報告書) 農林水産業・食品産業科学技術研究推進事業
112. 藤井雄一郎・荒木有朋・樋野友之 (2015) 西日本のモモ生産安定のための果肉障害対策技術の開発 (成果集) 農林水産業・食品産業科学技術研究推進事業

113. 藤井雄一郎・荒木有朋・樋野友之 (2015) 西日本のモモ生産安定のための果肉障害対策技術の開発 (モモの果肉障害対策技術マニュアル) 農林水産業・食品産業科学技術研究推進事業
114. 中島譲 (2016) 果実肥大成熟期 簡易被覆栽培でのトンネル除去と温度 最新農業技術果樹 vol.1.9 (農文協) :151-154
115. 安井淑彦 (2016) 加温栽培の省エネ管理 最新農業技術果樹 vol.1.9 (農文協) :159-164
116. Naoki Yokotani・Misugi Uraji・Seisuke Hihara・Tadasi Hatanaka・Kenji Oda (2016) Low accumulation of chlorogenic acid represser reddening during flesh browning in Japanese peach 'Okayama PEH7'. *Bioscience, Biotechnology, and Biochemistry*81(1):147-152
117. 森永邦久・古賀健一郎・伊賀悠人・遠藤直人・藤井雄一郎・横井秀輔・星典宏・福田文夫・薬師寺弘 (2016) 果樹における‘水分ストレス表示シート’を用いた樹体の水分状態の評価 園芸学研究 15(4):401-407
118. 藤井雄一郎・森永邦久・福田文夫・荒木有朋・樋野友之・北小路明久・荒川徹・江見登吉・寺村学 (2016) 果肉障害対策技術の組み合わせがモモ‘清水白桃’の果実品質および果肉障害の発生に及ぼす影響 園芸学研究 15(別2):306 (講要)
119. 小田賢司・原美由紀・田村隆行・日原誠介 (2016) モモの高精度稔性識別マーカーの開発 果樹バイテク研究会:30 (講要)
120. 小田賢司・原美由紀・田村隆行・日原誠介 (2016) モモ花粉稔性の高精度 DNA マーカーの開発 日本農芸化学会:3J28a03 (講要)
121. 藤井雄一郎 (2016) 機能性果実袋や透湿性シートなどを用いた総合的対策技術 近中四果樹研究会資料 (講要)
122. 荒木有朋・樋野友之・大浦明子・藤井雄一郎 (2016) 樹冠最下部の全摘果がモモ‘さきがけはくとう’の果肉の粉質化、果実品質及び収量に及ぼす影響 園芸学会中四国支部要旨 55:23
123. 荒木有朋 (2016) 高地力圃場条件における‘ひだ国府紅しだれ’台‘清水白桃’の生育特性 落葉果樹研究会資料:39-42 (講要)
124. 樋野友之・高田大輔・井上博道・藤井雄一郎・荒木有朋 (2016) モモの収穫後における尿素葉面散布由来の窒素の樹体内分配 園芸学研究 15 (別2) :305 (講要)
125. 樋野友之 (2016) 岡山県オリジナル新品種の輸出に向けたニーズの把握と対策技術試験 もも・ぶどうの貯蔵・輸送技術に関する意見交換会 (講要)
126. 樋野友之・福田文夫・藤井雄一郎・荒木有朋・深松陽介・中野龍平・井上幸次 (2016) 岡山県オリジナル新品種モモの輸出果実の評価および市場ニーズに対応した栽培技術の検討 園芸学研究 16 (別1) :275 (講要)
127. 福田文夫・佐藤広基・深松陽介・樋野友之・荒木有朋・藤井雄一郎・小椋健二・首藤浩一・森永邦久・井上幸次・中野龍平 (2016) モモとブドウにおける0℃付近の貯蔵時の品種適性 園芸学研究 16 (別1) :455 (講要)
128. 安井淑彦・中島譲・平井一史 (2016) ブドウ‘シャインマスカット’の施設栽培における糖度上昇の特徴 園芸学研究 16 (別1) :58 (講要)
129. 中島譲・安井淑彦・平井一史 (2016) 岡山県のブドウ主要品種における支梗を用いた小房栽培への適応性 園芸学研究 16 (別1) :63 (講要)
130. 平井一史・中島譲・安井淑彦 (2016) 果実袋の遮光率の違いがブドウ‘シャインマスカット’の糖度上昇に及ぼす影響 園芸学研究 16 (別1) :60 (講要)
131. 田村尚之 (2016) ピオーネの栽培土壌と施肥～品質と生産の安定をめざして 岡山県うまいくだもの推進大会:9-13 (講要)
132. 井上幸次・藤井雄一郎・荒木有朋・樋野友之 (2016) モモ次世代フルーツおよびオリジナル育成品種の高品質安定生産と輸出促進 革新的技術開発・緊急展開事業 (うち地域戦略プロジェクト) 単年度研究成果報告書
133. Ryohei Nakano・Hidemi Akimoto・Fumio Fukuda・Takashi Kawai・Koichiro Ushijima・Yosuke Fukamatsu・Yasutaka Kubo・Yuichiro Fujii・Ken Hirano・Kunihisa Morinaga・Naoki Sakurai (2017) Nondestructive Detection of Split Pit in Peaches Using an Acoustic Vibration Method. *The Horticulture Journal Advance online publication:Article ID:OKD-094*
134. Wei Guo・Daisuke Takata・Yuichiro Fujii・Koji Noshita・Kiyoshi Honda・Seishi Ninomiya (2017) Evaluation of canopy structure of peach tree by using consumer level unmanned aerial vehicles. 2017 EFITA CONGRESS - Montpellier, France
135. 安井淑彦 (2017) 四倍体品種 オーロラブラック 最新農業技術果樹 vol.1.10 (農文協) :137
136. 荒木有朋・藤井雄一郎・片沼慶介・樋野友之・宮本善秋 (2017) ‘ひだ国府紅しだれ’台木を用いたモモ‘清水白桃’の成木までの生育、収量、果実品質 園芸学研究 16 (別2) :379 (講要)
137. 小田賢司・原美由紀・田村隆行・日原誠介 (2017) 普遍性の高いモモ花粉稔性識別マーカーの開発 園芸学研究 16 (別2) :149 (講要)
138. 荒木有朋・藤井雄一郎・樋野友之・宮本善秋 (2017) ‘ひだ国府紅しだれ’台木を用いたモモ樹の養分吸収特性 園

- 芸学研究 17 (別 1) :284 (講要)
139. 安井淑彦・中島譲・平井一史 (2017) ブドウ‘シャインマスカット’の加温栽培における果房周辺の光環境が糖度上昇に及ぼす影響 園芸学研究 16 (別 2) :122 (講要)
140. 井上幸次・藤井雄一郎・荒木有朋・樋野友之・鶴木悠治郎・中野龍平ほか (2017) 果物の東アジア、東南アジア輸出を促進するための輸出国ニーズに適合した生産技術開発及び輸出ネットワークの共有による鮮度保持・低コスト流通・輸出技術の実証研究 アグリビジネス創出フェア 2017
141. 中島譲 (2017) 「オーロラブラック」を中心とした「小房ブドウ」の栽培技術と現地実証、試験販売などの取り組み 近中四果樹研究会資料:30-32 (講要)
142. 藤井雄一郎 (2017) 岡山県オリジナル新品種の輸出に向けたニーズの把握と対策技術試験 もも・ぶどうの貯蔵・輸送技術に関する意見交換会 (講要)
143. 井上幸次・藤井雄一郎・荒木有朋・樋野友之・鶴木悠治郎 (2017) モモ次世代フルーツおよびオリジナル育成品種の高品質安定生産と輸出促進 革新的技術開発・緊急展開事業 (うち地域戦略プロジェクト) 単年度研究成果報告書
144. Yue Mu・Yuichiro Fujii・Daisuke Takata・Bangyou Zheng・Koji Noshita・Kiyoshi Honda・Seishi Ninomiya・Wei Guo (2018) Characterization of peach tree crown by using high-resolution images from an unmanned aerial vehicle. Horticulture Research 5(74)
145. 荒木有朋 (2018) 岡山県の樹形構成 最新農業技術果樹 vol.11 (農文協) :79-82
146. 安井淑彦 (2018) オーロラブラック ブドウ品種総図鑑 (創森社) :104
147. 安井淑彦・久保田朗晴・中島譲・藤原聡 (2018) 加温栽培‘シャインマスカット’の作型の違いが生育および果実品質に及ぼす影響 園芸学研究 17 (別 2) :164 (講要)
148. 荒木有朋・福田文夫・森永邦久・松浦恭和・池田陽子・森泉・藤井雄一郎・樋野友之・井上幸次・水野文敬・宮本善秋一 (2018) モモ台木‘ひだ国府紅しだれ’種子の発芽処理に伴う内生植物ホルモンの動態 園芸学研究 17 (別 2) :381 (講要)
149. 原美由紀・鶴木悠治郎・日原誠介・小田賢二 (2018) モモの果肉の褐変化に関する品種間多様性とその要因調査 園芸学研究 17 (別 2) :383 (講要)
150. 久保田朗晴・安井淑彦・藤原聡・中島譲 (2018) 花穂整形時における花穂先端部の長さがブドウ‘シャインマスカット’の結実に及ぼす影響 園芸学研究 17 (別 2) :389 (講要)
151. 樋野友之・荒木有朋・鶴木悠治郎・河村美菜子・藤井雄一郎 (2018) モモ‘岡山 P E H 7 号’ (白皇) の早期着果調整が樹体成長および果実品質に及ぼす影響 園芸学研究 18 (別 1) :302 (講要)
152. 鶴木悠治郎・藤井雄一郎・藤原宏子・荒木有朋・樋野友之 (2018) 岡山県オリジナルモモ新品種‘岡山 P E H 8 号 (白露)’の食べ頃と香りとの関係 園芸学研究 18 (別 1) :301 (講要)
153. 中島譲・安井淑彦・平井一史 (2018) ホルモン処理方法の違いがブドウ‘紫苑’の房形および果実品質に及ぼす影響 園芸学研究 18 (別 1) :90 (講要)
154. 原美由紀・鶴木悠治郎・日原誠介・小田賢司 (2018) モモ果肉色の多様化に向けた「天津水蜜桃」の紅肉形質の解析と育種マーカー開発 日本農芸化学会 (講要)
155. 藤井雄一郎・安井淑彦・樋野友之 (2018) ナシ新品種‘岡山 P E R 1 号’の特徴 園芸学会中四国支部要旨 57:17
156. 小田賢司・原美由紀・鶴木悠治郎・日原誠介 (2018) モモ果肉色の多様化に向けた DNA マーカーの活用 果樹バイテク研究会:32 (講要)
157. 安井淑彦 (2018) シャインマスカットの加温栽培に適した栽培技術と今後の課題 落葉果樹研究会資料:61-64 (講要)
158. 安井淑彦 (2018) 高品質なシャインマスカットの生産技術ー加温栽培に適した栽培技術と今後の課題 近畿地域マッチングフォーラム:45-53 (講要)
159. 荒木有朋 (2018) 春季に見られるモモ樹の衰弱・枯死の原因と対策 岡山県うまいくだもの推進大会:8-11 (講要)
160. 樋野友之 (2018) 「白皇」・「白露」の栽培経緯と品種特性と栽培のポイント「白皇」・「白露」栽培研修会 (講要)
161. 田村尚之・大家理哉・山本章吾 (2018) 岡山県内のシャインマスカット施設栽培土壌における理化学性と葉色の特徴 土肥関西支部要旨集:29
162. 石井恵・藤原宏子 (2018) 味覚センサ等を用いたブドウの味に関する官能評価値の推定 日本食品科学工学会 第 65 回大会講演集:87
163. 藤井雄一郎・荒木有朋・樋野友之・鶴木悠治郎・河村美菜子 (2018) モモ次世代フルーツおよびオリジナル育成品種の高品質安定生産と輸出促進 革新的技術開発・緊急展開事業 (うち地域戦略プロジェクト) 単年度研究成果報告書
164. 樋野友之・荒木有朋・鶴木悠治郎・河村美菜子・藤井雄一郎 (2018) 白皇・白露の品種特性と栽培のポイント (パンフレット) 岡山県うまいくだものづくり推進本部
165. 田村尚之・山本章吾・大家理哉 (2019) 「ピオーネ」休眠枝中の貯蔵デンプン量は土壌可給態窒素量に関連する 土肥関西支部

要旨集:7

166. Miyuki Hara-Kitagawa・Yujiro Unoki・Seisuke Hihara・Kenji Oda (2019) Development of simple PCR-based DNA marker for the red-fleshed trait of a blood peach, 'Tenshin-suimitsuto'. Molecular Breeding40(1)
167. 原美由紀・鶴木悠治郎・日原誠介・小田賢司 (2019) '天津水蜜桃'の紅肉形質の解析と高精度な育種マーカーの開発 園芸学研究18(別2):19(講要)
168. 藤原聡・中島謙・安井淑彦・久保田朗晴 (2019) ブドウ'シャインマスカット'における秋冬期出荷技術の確立 園芸学研究18(別2):97(講要)
169. 河井崇・牛島幸一郎・三宅春菜・草加芽依・深松陽介・原美由紀・鶴木悠治郎・日原誠介・中野龍平・小田賢司・福田文夫 (2019) モモ'冬桃がたり'の極晩生成熟特性のF1後代における遺伝様式 園芸学研究19(別1):39(講要)
170. 中島謙・平井一史・安井淑彦・藤原聡・久保田朗晴 (2019) 幼果期の果粒直径の測定によるブドウ'オーロラブラック'の成熟期の果粒重の推定 園芸学研究19(別1):59(講要)
171. 岩井綾平・河井崇・樋野友之・藤井雄一郎・Ivan Galis・平野健・中野龍平・福田文夫 (2019) 晩生モモ'白露'の0°C貯蔵の成否と熟度との関係および香り成分への影響 園芸学研究19(別1):260(講要)
172. 河村美菜子・荒木有朋・樋野友之・鶴木悠次郎・佐々木郁哉・藤井雄一郎 (2019) 'ひだ国府紅しだれ'台を用いた岡山県オリジナル新品種の樹体生育の特性と果実品質 園芸学研究19(別1):261(講要)
173. 浅野貴洋・河井崇・伊藤那月・芦田祐里・飯島彩加・鶴木悠治郎・高田大輔・福田文夫・久保康隆・赤木剛士・山本幹博・牛島幸一郎 (2019) モモ遺伝資源および交雑集団におけるモモ黒斑病の罹病性調査 園芸学研究19(別1):264(講要)
174. 樋野友之 (2019) 岡山県モモオリジナル新品種の輸出先ニーズに対応した栽培技術の確立 落葉果樹研究会資料:45-48(講要)
175. 藤原宏子・石井恵・鷲尾建紀 (2019) 機器分析値を用いたモモの味の官能評価値の推定 園芸学会中四国支部要旨:17
176. 石井恵・藤原宏子 (2019) ブドウに含まれる香り成分の特性 日本食品科学工学会第66回大会講演集:97
177. 樋野友之・櫻井直樹・河井崇・福田文夫 (2019) 輸出先ニーズに対応したモモの生産供給(パンフレット) 革新的技術開発・緊急展開事業(うち地域戦略プロジェクト)青果物輸出促進研究コンソーシアム
178. 田村尚之 (2020) 岡山県内モモ・ブドウ園の土壌と樹体の実態 土肥要旨集66:159
179. 安井淑彦 (2020) 岡山県における生育と栽培管理 シャインマスカットの栽培技術(創森社):97-126
180. 藤井雄一郎・森永邦久・村瀬拓也・岸本里菜・嶋田真耶・北小路明久・池田征弥・荒川徹・江見登吉・寺村学・荒木有朋・樋野友之・河井崇・平野健・福田文夫 (2020) モモ'清水白桃'の赤肉果発生に及ぼす気温の影響および障害を抑制する機能性果実袋の開発 園芸学研究20(2):189-197
181. 浅野貴洋・河井崇・鶴木悠治郎・日原誠介・高田大輔・白澤健太・赤木剛士・福田文夫・中野龍平・久保康隆・山本幹博・牛島幸一郎 (2020) モモ黒斑病罹病性に関連する遺伝子座領域の推定 育種学研究22(別2):175
182. 樋野友之 (2020) 白皇・白露の品種特性と導入のポイント晩生品種の研修・検討会(講要)
183. 樋野友之 (2020) もも新品種の栽培技術等について 白桃安定生産技術研修会(講要)
184. 河村美菜子 (2020) 気象変動に対応した栽培技術について 白桃安定生産技術研修会(講要)
185. 河村美菜子 (2021) 部分マルチ敷設による生理障害対策 モモ・スモモ大事典(農文協):505-510
186. 中島謙・渡辺真帆・藤井雄一郎 (2021) 挿し床温度および台木品種の違いがブドウ接ぎ挿し苗の生存率および形質に及ぼす影響 園芸学研究21(別1):172(講要)
187. 渡辺真帆・中島謙・藤井雄一郎 (2021) 緑枝接ぎ法によるブドウ苗木の育成技術の開発 園芸学研究21(別1):173(講要)
188. 樋野友之 (2021) 収穫適期の把握方法に関する取り組み 白桃安定生産技術研修会(講要)
189. 鶴木悠治郎 (2021) 花芽充実、樹を回復させるための収穫後の栽培管理について 白桃安定生産技術研修会(講要)
190. 樋野友之・高田大輔・井上博道・安井淑彦・荒木有朋・藤井雄一郎 (2022) モモ'清水白桃'における収穫後の尿素葉面散布が翌年の初期生育に及ぼす影響および葉面散布由来の窒素成分の樹体内分配 園芸学研究21(4):473-481
191. 樋野友之・櫻井直樹・吉村諒介・鶴木悠治郎・佐々木郁哉・藤井雄一郎 (2022) 岡山県モモ主要品種における音響振動を利用した収穫適期予測技術の開発 園芸学研究22(別1):84(講要)
192. 鶴木悠治郎 (2022) 岡山県におけるモモ・ブドウの新品種育成について 近中四果樹研究会(講要)
193. 中島謙 (2022) ピオーネ及びオーロラブラックの高品質栽培技術について岡山県うまいけどの推進大会(講要)
194. 安井淑彦 (2022) 「シャインマスカット」の早期出荷に適した栽培技術と今後の課題 ふくいブドウの栽培技術向上研修会(講要)
195. 樋野友之・櫻井直樹・高嶋樹・吉村諒介 (2023) 音響振動装置を利用したモモの収穫適期の判定ならびに収穫後の経過時間と果実軟化との関係 園芸学研究23(別1):68(講要)
196. 吉村諒介・樋野友之・鶴木悠治郎・佐々木郁哉・藤井雄一郎 (2023) 岡山県モモ主要5品種における開花期前後の凍霜害危険度予測モデルの検討 園芸学研究23(別1):236(講要)

197. Naoki Sakurai, Tomoyuki Hino and Minako Kawamura (2023) Non-destructive monitoring of maturity of peach fruit and grape berry on tree with a portable vibrating-device. AsiaHortCong2023:23 (講要)
198. 樋野友之 (2023) 岡山白桃に関するミニセミナー 白桃メディアセミナー (講要)
199. 樋野友之 (2023) 岡山県におけるもも栽培の特徴と試験研究事例について 和歌山県桃研究協議会生産者研修会 (講要)
200. 樋野友之 (2023) 岡山県農業研究所が研究するスマート農業技術について もも安定生産技術研修会 (講要)
201. 中島謙 (2023) 画像解析による果房面積値を用いた「オーロラブラック」の果房重の推定 近中四果樹研究会 (講要)
202. 安井淑彦 (2023) 「シャインマスカット」の加温栽培での果房管理 ぶどう高品質栽培研修会 (講要)
203. 中島謙・渡辺真帆 (2023) ブドウ苗木の安定生産に向けた今年度の取り組みについて 岡山県果樹苗木生産販売組合研修会 (講要)
204. 中島謙・渡辺真帆 (2023) ブドウ苗木の安定生産に向けた農業研究所の取り組みについて 岡山県果樹苗木生産販売組合冬期研修会 (講要)
205. 石井恵・鷺尾建紀 (2023) ブドウの香りを客観的に評価する香气成分の測定手法の検討 日本食品科学工学会第70回要旨集:70
206. 佐々木郁哉・樋野友之・藤井雄一郎・郭威・高田大輔 (2024) 空撮ドローンを用いたモモの樹冠占有面積の測定と着果量子測 園芸学研究 23 (別2) :120 (講要)
207. 櫻井直樹・樋野友之・河村美菜子・福田文夫・福井隆介・重安結衣・平野健 (2024) ブドウおよびモモの樹上果実硬度の非破壊振動法による経日測定 園芸学研究 23 (別2) :154 (講要)
208. 樋野友之・櫻井直樹・高嶋樹・吉村諒介・鶴木悠治郎・佐々木郁哉 (2024) 非破壊振動法によるモモ6品種の収穫適期予測曲線の解析 園芸学研究 24 (別1) :222 (講要)
209. 吉村諒介・櫻井直樹・高嶋樹・樋野友之 (2024) 非破壊振動法によるモモの収穫予測が収穫果実の品質および収穫作業時間に及ぼす影響 園芸学研究 24 (別1) :69 (講要)
210. 岩本美沙、南川舞、中野龍平、高田大輔、河合崇、福田文夫、鶴木悠治郎、小田賢司、牛島幸一郎 (2024) 日本のもも栽培品種育成における4番染色体のハプロタイプの遺伝 日本育種学会第146回講演会:134
211. 佐々木郁哉 (2024) モモのY字形(密植低樹高)栽培について もも安定生産技術研修会 (講要)
212. 樋野友之 (2024) 音響振動装置による収穫適期予測及び作業時間等の効率化について うまいくだもの推進大会 (講要)
213. 樋野友之 (2024) 岡山白桃に関するミニセミナー おかやま応援隊員向けセミナー (講要)
214. 樋野友之 (2024) 岡山生まれの白桃、海を渡る! 岡山県立井原高校出前講座 (講要)
215. 佐々木郁哉 (2024) 新たな樹形を用いたモモの省力栽培技術 地域活性化システム論第3回講義 (講要)
216. 中島謙・渡辺真帆・安井淑彦 (2024) 挿し床内での温度管理の違いがブドウ接ぎ挿し苗の形質及び定植後の生存率に及ぼす影響 園芸学研究 23 (別2) :152 (講要)
217. 渡辺真帆・中島謙・安井淑彦 (2024) 労働分散を目的としたブドウ苗木育成技術‘緑枝接ぎ法’への休眠枝利用の検討 園芸学研究 23 (別2) :153 (講要)
218. 渡辺真帆 (2024) ブドウ苗木の安定生産技術の開発 落葉果樹研究会資料 (講要)
219. 中島謙 (2024) 岡山県におけるブドウ苗木の安定生産に向けた取り組み 日園連落葉果樹技術員研修会 (講要)
220. 中島謙 (2024) 黒糸ぶどうの着色向上対策について・大粒を目指したシャインマスカットの高品質栽培について ぶどう高品質栽培研修会 (講要)
221. 中島謙 (2024) 新規植調剤(S-ABA)による「ピオーネ」の着色向上対策について 農業分野の温暖化対策に係る研修会 (講要)
222. 中島謙 (2024) ぶどう苗木の安定生産に向けた今年度の取り組みについて 岡山県果樹苗木生産販売組合研修会 (講要)
223. 上田一輝 (2024) 「ピオーネ」におけるS-ABAの使用時期拡大の検討 落葉果樹関係除草剤・植物生育調節剤試験成績書
224. 久保田朗晴・中津有紀子・荒木有朋・小田賢司 (2024) マスカット香の程度が異なるブドウ2品種間の香气成分および遺伝子発現の比較解析 園芸学研究 24 (別1) :198 (講要)
225. 久保田朗晴・中津有紀子・荒木有朋・小田賢司 (2024) 温暖化に適応する着色の優れる黒色ブドウの選抜技術の開発 (ポスター) 県立研究機関研究交流発表会

7. 野菜

1. 飛川光治 (2004) ナス用台木‘トレロ’種子のポリエチレングリコール処理と低温処理による発芽促進 園芸学研究 3(2):143-147
2. 飛川光治 (2004) セイヨウミツバチによる受粉が促成栽培ナスの収量および果実形状に及ぼす影響 園芸学研究 3(2):175-178
3. 曾根一純・岡修一・沖村誠・西村範夫・北谷恵美 (2004) 収穫調製作業の大幅な省力が可能な‘久留米58号’の特性 園芸学会雑誌 73 (別2) :169 (講要)

4. 岡修一 (2005) 高設栽培における未分化苗定植による省力技術及び排液処理装置の開発 地域農業確立研究検討会促成イチゴの品種・生産・流通の現状と問題点:33-37 (講要)
5. 飛川光治・宮永龍一 (2006) ナスの促成栽培におけるキオビオオハリナシバチの受粉効果 園芸学研究 5(2):149-152
6. 久保紀子・飛川光治・田村史人 (2006) 加温がトマトの放射状裂果の発生に及ぼす影響 園芸学会雑誌 75 (別2):632 (講要)
7. 谷義夫・赤井直彦 (2006) トマト養液土耕栽培の初期肥培管理と果実品質の関係 近中四問題別研究会シンポジウム (講要)
8. 飛川光治 (2007) ナスの促成栽培における日中加温が冬期の稔性花粉重量に及ぼす影響 園芸学研究 6(2):247-250.
9. 飛川光治・宮永龍一 (2007) トマトの抑制栽培におけるキオビオオハリナシバチの受粉効果 園芸学研究 6(3):435-439
10. 久保紀子・飛川光治・田村史人 (2007) トマトの雨除け栽培における加温が放射状裂果の発生に及ぼす影響 近畿中国農業研究 11:56-60
11. 飛川光治 (2008) ナスの花粉発芽に及ぼす培養温度ならびに促成栽培における種子数, 収量および果実外観に及ぼす日中加温の受粉の影響 園芸学研究 7(3):381-385
12. 飛川光治・宮永龍一 (2008) 夏秋トマト雨除け栽培におけるキオビオオハリナシバチの受粉効果 第53回応動昆 (講要)
13. 飛川光治・石倉聡 (2008) 夏秋トマト雨除け栽培における花粉稔性からみたセイヨウオオマルハナバチの利用可能温度 園芸学研究 7 (別2):677 (講要)
14. 飛川光治 (2008) 昼間の高温処理と処理中の受粉が冬期のナスの収量および果実外観に及ぼす影響 園芸学研究 7 (別2):249 (講要)
15. Hikawa M. and R. Miyanaga (2009) Effects of pollination by *Melipona quadrifasciata* (Hymenoptera:Apidae) on tomatoes in protected culture. Appl. Entomol. Zool. 44(2):301-307
16. 飛川光治 (2009) 空気膜ハウスがナスの促成栽培におけるセイヨウミツバチの受粉効果に及ぼす影響 園芸学会中四国支部要旨 48:41
17. 中原範子・各務裕史・西岡克浩 (2009) イチゴの効率的な新局所冷却栽培技術の開発 園芸学会中四国支部要旨 48:32
18. 森義雄・土居典秀 (2009) トレハロースおよびキトサン処理がエゾリンドウの生育および開花茎数に及ぼす影響 園芸学会中四国支部要旨 48:46
19. 土居典秀 (2009) スイートピーの染色技術に関する研究(第2報)染色時の気象要因が染色に及ぼす影響 園芸学会中四国支部要旨 48:52
20. 飛川光治 (2010) 着果処理法の違いが促成ナスの果皮色に及ぼす影響 近中四農研 17:21-23
21. 飛川光治 (2010) 着果処理法の違いが促成ナスの果皮色に及ぼす影響 園芸学会中四国支部要旨 49:16
22. 岡修一・高野和夫 (2010) 丹波系黒大豆エダマメの開花後の日長が生育及び品質に及ぼす影響 園芸学研究 9 (別2):459 (講要)
23. 飛川光治・久保紀子 (2011) ホルクロルフエニロンによる雨除け栽培トマトの放射状裂果の発生抑制 近中四農研 20:29-31
24. 岡修一・田村尚之 (2011) 電照の照度及び光質が丹波系黒大豆エダマメの生育に及ぼす影響 園芸学研究 10 (別2):492 (講要)
25. 永井一哉・飛川光治 (2012) ナミヒメハナカメムシのインセクタリアーブランドとしてのルドベキアの評価 応動昆 56:57-64
26. 安部順一朗・飛川光治・世古智一 (2012) ナスの促成栽培施設における景観植物スカエボラの混植による天敵温存効果の検証 第22回天敵利用研究会 (講要)
27. 安部順一朗・飛川光治 (2012) 景観植物を利用した植生管理技術による害虫防除の取り組み 第5回有機農業試験研究交流会 (講要)
28. 岡修一・田村尚之 (2012) 丹波黒大豆エダマメの電照抑制栽培における播種期が収量および品質に及ぼす影響 園芸学会中四国支部要旨 51:32
29. 飛川光治・久保紀子・佐野大樹 (2013) ホルクロルフエニロンによる雨除け栽培トマトの放射状裂果の発生抑制 園芸学会中四国支部要旨 52:23
30. 佐野大樹・久保紀子・飛川光治 (2013) ホルクロルフエニロンの果房散布時期および濃度が雨除け栽培トマトの放射状裂果の発生に及ぼす影響 園芸学研究 13 (別1):104 (講要)
31. 田村尚之 (2013) マイナー作物の登録促進について 第29回農業環境動態研究会 (講要)
32. 高原知佳子・大家理哉・鷲尾建紀・芝宏子・荒木有朋・赤井直彦・石橋英二 (2014) 蛍光X線分析装置による作物の簡易栄養診断手法の開発 近中四農研 24:15-26
33. 網島健司・安部順一朗・飛川光治・西優輔 (2014) 促成栽培キュウリにおけるタバコカスミカメのバンカー植物の混植が各植物の生育, 収量に及ぼす影響 園芸学研究 13 (別2):454 (講要)
34. 岡修一 (2014) ニラ軟化栽培における露光処理が葉色に及ぼす影響 園芸学研究 13 (別2):467 (講要)
35. 佐野大樹・飛川光治・今西俊介 (2014) 雨除け栽培トマトの放射状裂果の軽減のためのホルクロルフエニロンの果房散布の適期 園芸学研究 14 (別1):134 (講要)
36. 佐野大樹・飛川光治 (2015) 根域および根数の異なる台木品種, 並びにその根域制限がナス促成栽培における日焼け果の発生に

及ぼす影響 近中四農研 26:33-38

37. 佐野大樹・飛川光治 (2015) 朝の換気および湿潤な土壌水分の維持がナス促成栽培における日焼け果の発生に及ぼす影響 園芸学研究 14 (別2) :447 (講要)
38. 佐野大樹・飛川光治・今西俊介 (2015) 根域および根数の異なる台木品種、並びにその根域制限がナス促成栽培における日焼け果の発生に及ぼす影響 園芸学会中四国支部要旨 54:23
39. 佐野大樹・飛川光治・今西俊介 (2015) ホルクロルフエニユロンおよびナフタレン酢酸ナトリウムの混用散布が雨除け栽培トマトの放射状裂果の発生に及ぼす影響 園芸学研究 15 (別1) :110 (講要)
40. 信岡佑太 (2015) 温度条件と播種時期がリーキ (西洋ネギ) の生育に与える影響 園芸学研究 14 (別2) :197 (講要)
41. 信岡佑太 (2015) 温度がリーキ (西洋ネギ) の出葉速度及び軟白後調製葉数に与える影響 園芸学研究 15 (別1) :378 (講要)
42. 佐野大樹・飛川光治 (2016) ソルビタン脂肪酸エステルを含む展着剤の散布がナス促成栽培における日焼け果の発生に及ぼす影響 園芸学研究 15 (別2) :374 (講要)
43. 佐野大樹・飛川光治・今西俊介 (2016) ホルクロルフエニユロンと混用して果房散布するナフタレン酢酸ナトリウムの濃度が雨除け栽培トマトの放射状裂果の発生に及ぼす影響 園芸学研究 16 (別1) :104 (講要)
44. 佐野大樹 (2016) ナス促成栽培における土壌水分張力に基づく灌水が日焼け果の発生に及ぼす影響 園芸学会中四国支部要旨 55:35
45. 野田沙織・岸本直樹・Tounglieng Vilayphone・Sengdala Mounnalath・Thongkhoun Sisaphaithong・齋藤猛雄 (2016) ラオスにおけるナス遺伝資源の共同探索調査 園芸学研究 15 (別2) :197 (講要)
46. 綱島健司・飛川光治 (2016) 挿し芽時期、採穂部位および挿し芽用土がスカエボラの発根に及ぼす影響 園芸学研究 15 (別2) :427 (講要)
47. 世古智一・金子修治・綱島健司・徳田誠・小原慎司 (2016) 飛ばないナミテントウの施設利用を促進し露地利用へと拡張する代替餌システムの開発 第26回天敵利用研究会 (講要)
48. 鷲尾建紀・藤原宏子 (2016) カリウム飽和度の違いがホウレンソウの内容成分と食味に及ぼす影響 土肥関西支部要旨集:19
49. 鷲尾建紀・藤原宏子・田村尚之・岡修一 (2016) イチゴの味の数値化:官能評価値と糖度・滴定酸含量・味覚センサ評価値との関係 園芸学会中四国支部要旨 55:28
50. 佐野大樹・飛川光治・今西俊介 (2017) ホルクロルフエニユロンの果房当たり1回散布による雨除け栽培トマトの放射状裂果の軽減 園芸学研究 17(1):87-93
51. 川上賀代子・有澤結美・守谷智恵・榎野祐子・畑中唯史・坪井誠二 (2017) 岡山県産黄ニラの抗酸化活性 就実大学薬学雑誌 5:17-21
52. 佐野大樹・川村宜久・飛川光治 (2017) 夏季の雨除けトマト栽培での放射状裂果の発生と開花期から幼果期までの気温との関係 園芸学研究 16 (別2) :187 (講要)
53. 佐野大樹 (2017) ナス促成栽培における土壌水分張力に基づく灌水が日焼け果の発生に及ぼす影響 (湿潤条件と乾燥条件の比較) 園芸学研究 17 (別1) :200 (講要)
54. 榎野祐子・綱島健司・岡修一 (2017) イチゴの10倍体育成系統の早生性と香り成分 園芸学会中四国支部要旨 56:30
55. 佐野大樹 (2017) ナスの露地栽培における日焼け果の形状および発生時期 園芸学会中四国支部要旨 56:32
56. 田村尚之・石井恵・妹尾知憲 (2017) 黒大豆エダマメの良食味の基準と食味成分低下の特徴 園芸学会中四国支部要旨 56:4
57. 大家理哉 (2017) 岡山県内の水田転換畑における排水対策の取り組みと課題 近中四土壌肥料推進部会資料:15-19 (講要)
58. 佐野大樹 (2018) トマトの放射状裂果に関与する内在因子と発生軽減剤の開発 園芸学研究 17 (別2) :52-53 (講要)
59. 綱島健司 (2018) 天敵温存植物スカエボラの簡易越冬方法の検討 園芸学研究 17 (別2) :465 (講要)
60. 佐野大樹 (2018) ナス促成栽培におけるパーク堆肥の施用が日焼け果の発生に及ぼす影響 (連用2年目までの検討) 園芸学研究 18 (別1) :122 (講要)
61. Junichiro Abe, Kenji Tsunashima, Norihide Hinomoto (2018) Development of a banker plant method for *Nesidiocoris tenuis* to suppress whiteflies in tomato greenhouses. 14th Meeting of the IOBC-WPRS Working Group, Book of abstracts:52
62. 佐野大樹 (2019) 露地ナス栽培後期の整枝管理による日焼け果および擦れ果の発生の軽減 園芸学研究18 (別2) :187 (講要)
63. 佐野大樹 (2019) ソルビタン脂肪酸エステル剤散布によるナス日焼け果防止技術の開発 公益財団法人園芸振興松島財団 平成30年度助成による研究成果要約
64. 佐野大樹・川村宜久・榎野祐子・筒井政道・堀本正人・池田久美子 (2020) 岡山県における主要作型と実際の栽培 トマトの生産技術 (中野明正編著) :144-153
65. 佐野大樹 (2020) 腐植含量の少ない圃場での有機物連用による促成栽培ナスの日焼け果の発生抑制 土肥要旨集66:98
66. 佐野大樹 (2020) ソルビタン脂肪酸エステルの散布がナス促成栽培における日焼け果の発生および果実からの水分減少速度に及ぼす影響 園芸学研究20 (別1) :257 (講要)
67. 佐野大樹 (2021) 灌水がナス‘千両’の促成栽培における日焼け果の発生に及ぼす影響 園芸学研究 21 (2) :157-164

68. 佐野大樹、川村宜久 (2021) ナス促成栽培における少日射時の炭酸ガス施用が果実収量および品質に及ぼす影響 園芸学研究 21 (別1):273 (講要)
69. 佐野大樹・森義雄・川村宜久 (2022) 炭酸ガス施用条件下での換気方法がナス‘千両’の促成栽培における収量および品質に及ぼす影響 園芸学研究 22 (別1):184 (講要)
70. 佐野大樹・川島和夫 (2023) ソルビタン脂肪酸エステル剤の散布がナス‘千両’の促成栽培における日焼け果の発生に及ぼす影響 園芸学研究 23(3):205-212
71. 鷲尾建紀・網島健司 (2023) 育苗培土への高分子吸収剤の添加が保水量及びキャベツの苗生育に及ぼす影響 土肥要旨集 69:130
72. 鷲尾建紀・瀧口智之 (2024) 土壌水分センサーを用いた適正水分範囲の推定 土肥関西支部要旨集

8. 花 き

1. 森義雄・小川浩太郎・鴻野信輔 (2000) 夏秋小ギクの開花調節に関する研究 (第2報) エセフォン処理とジベレリンの併用効果 園芸学会中四国支部要旨 39
2. 森義雄・鴻野信輔 (2000) 夏秋小ギクの開花調節に関する研究 (第3報) 発蕾後の遮光の影響 園芸学会雑誌 69 (別2) (講要)
3. 土居典秀・金田小百合 (2000) スプレーカーネーションの夏切り作型における反射資材の影響 園芸学会中国四国支部要旨 39:50
4. 森義雄・鴻野信輔 (2001) 夏秋小ギクの開花調節に関する研究 (第4報) 発蕾後のジベレリン処理の影響 園芸学会雑誌 70 (別2):454 (講要)
5. 金田小百合・土居典秀 (2001) トルコギキョウの固化剤による若苗定植と種子冷蔵の併用効果 園芸学会中四国支部要旨 40:43
6. 金田小百合・土居典秀 (2001) 固化剤による若苗定植がトルコギキョウの生育開花に及ぼす影響 園芸学会中四国支部要旨 40:44
7. 土居典秀・金田小百合 (2001) バラの灌水同時施肥栽培におけるピートモスの土壌施肥量が根系に及ぼす影響 園芸学会中四国支部要旨 40:51
8. 森義雄・鴻野信輔 (2003) ブルーレースフラワーの切り花品質に及ぼす摘心の影響 園芸学会雑誌 72 (別1):291 (講要)
9. 森本泰史 (2003) 子房培養及び胚培養によるユリ新品種アルテミスの育成 近中四地域における新技術第2号:1-3
10. 土居典秀・森義雄・金田小百合 (2003) スプレーカーネーションの夏切り作型における2年据え置き栽培法 近中四農業研究 4:32-36
11. 土居典秀 (2003) ブプレウラムの発芽安定に関する研究 園芸学会中四国支部要旨 42:55
12. 土居典秀 (2003) トルコギキョウの固化若苗定植と種子冷蔵によるロゼット回避と切り花品質向上 近中四地域における新技術第2号:138-141
13. 土居典秀 (2003) 固化若苗定植と種子冷蔵によるロゼット回避と品質向上 花き研究シンポジウム:64-69 (講要)
14. 土居典秀 (2003) バラ養液土耕 農業技術体系花き編 追録6号 (農文協):P406の2-406の11
15. 森義雄 (2004) 温度処理によるラークスパー種子の発芽促進 園芸学会雑誌 73 (別2):461 (講要)
16. 土居典秀 (2005) 暖地におけるエゾ系リンドウの生育に及ぼすジベレリン処理の効果 園芸学会雑誌 72 (別2):670 (講要)
17. 森義雄 (2005) 処理温度及び期間がラークスパー種子の発芽に及ぼす影響 園芸学会雑誌 74 (別2):547 (講要)
18. 中島拓・森義雄 (2006) スイートピーのプランター栽培における培地の加温が収量及び切り花品質に及ぼす影響 園芸学会雑誌 75 (別2):645 (講要)
19. 中島拓・後藤丹十郎・久保康隆・土居典秀 (2006) スイートピーの落蕾防止における1-methyl cyclo propene (1-MCP) の効果 園芸学会雑誌 75 (別2):347 (講要)
20. 土居典秀 (2006) 花トウガラシの出荷調整における各種薬剤の摘葉効果 園芸学会雑誌 75 (別2):644 (講要)
21. 森義雄 (2006) 高温前処理によるラークスパー種子の発芽促進効果 園芸学研究 5(4):453-457
22. 森義雄 (2006) 播種時期がラークスパーの採種量及び種子発芽に及ぼす影響 園芸学会雑誌 75 (別2):307 (講要)
23. 中島拓・土居典秀 (2007) ブプレウルムの1月上旬播種における種子の湿潤低温処理が生育および開花に及ぼす影響 近畿中国農研 11:52-55
24. 森義雄 (2007) エゾリンドウ種子に対する低温処理方法の改良 園芸学研究 6 (別2):370 (講要)
25. 土居典秀 (2008) スイートピーの染色技術に関する研究(第1報)切り花直後の水揚げが染色に及ぼす影響 園芸学研究 7 (別2):684 (講要)
26. 土居典秀・中島拓 (2008) 種子の湿潤低温処理によるブプレウルムの生育促進と品質改善 近中四地域における新技術 7:67-69
27. 森義雄・土居典秀 (2010) 種子へのトレハロース処理および育苗土へのキトサン処理がエゾリンドウの生育および開花茎数に及ぼす影響 近中四農研 16:31-35
28. 森義雄・土居典秀・小野俊朗・各務裕史・田村史人 (2010) エセフォン処理がエゾリンドウの開花および切り花品質に及ぼす影響 園芸学研究 9 (別2):273 (講要)
29. 中島拓・森義雄・各務裕史・田村史人 (2010) 5-アミノレブリン酸含有肥料の施用がエゾリンドウ挿し芽苗の越冬芽形成に及ぼす影響

す影響 園芸学研究 9 (別2) :272 (講要)

30. 網島健司・中島拓・森義雄・土居典秀・田村史人 (2010) 種子選別、発芽温度および種子前処理がブルーレースフラワーの種子発芽に及ぼす影響 園学研 9 (別2) :566 (講要)
31. 森義雄・土居典秀 (2010) エセフォン処理がエゾリンドウの開花および切り花品質に及ぼす影響 近中四農研 18:45-48
32. 中島拓・藤本拓郎・森義雄 (2010) エゾリンドウにおける短茎早期開花茎発生機序の検討 近中四農研 18:49-54
33. 藤本拓郎 (2011) 岡山県特産花き (ブレウラム、ラークスパー) における EOD 反応について 近中四農花き推進部会資料 (講要)
34. 中島拓・藤本拓郎・森義雄・森本泰史 (2011) エゾリンドウにおける短茎早期開花茎発生機序と発生軽減方法の検討 園芸学研究 10 (別2) :541 (講要)
35. 中島拓・藤本拓郎・森義雄 (2011) 夏秋小ギクの花成における暗期中断反応の品種間差 園芸学研究 10 (別2) :545 (講要)
36. 森義雄・鴻野信輔・後藤丹十郎 (2012) 発蕾以降のジベレリン処理が 8 月出し夏秋小ギクの開花および切り花品質に及ぼす影響 園芸学研究 12(1) :103-108
37. 森義雄・中島拓 (2012) 不織布を用いた簡易被覆によるエゾリンドウの開花促進 園芸学会中四国支部要旨 51:42
38. 森義雄・藤本拓郎・久松完・住友克彦・常見高士・後藤丹十郎 (2012) 同一親株から得た挿し穂を用いた小ギク夏秋需要期出荷の可能性 園芸学研究 11 (別2) :258 (講要)
39. 藤本拓郎・森義雄 (2012) ブルーレースフラワーの雄ずい、花卉の離脱抑制法の検討 園芸学研究 12 (別1) :170 (講要)
40. 藤本拓郎・前田香那子・岸本真幸・森義雄・久松完 (2012) 気象条件の異なる地域における EOD-Heating 処理がトルコギキョウの生育、開花に及ぼす影響 園芸学研究 12 (別1) :203 (講要)
41. 森義雄・藤本拓郎・住友克彦・久松完・後藤丹十郎 (2013) 同一親株から得た挿し穂および暗期中断処理を用いた小ギクの夏秋需要期連続出荷 園芸学会中四国支部要旨 52:43
42. 森義雄・住友克彦・久松完・後藤丹十郎 (2013) 再電照が夏秋小ギクの花蕾数に及ぼす影響 園芸学研究 13 (別1) :190 (講要)
43. 森義雄・中島拓・藤本拓郎・常見高士・住友克彦・久松完・後藤丹十郎 (2014) 暗期中断による 7~9 月の高需要期連続出荷に適する小ギク品種の選定 園芸学研究 13(4) :349-356
44. 森義雄・藤本拓郎・後藤丹十郎 (2014) 1-MCP くん蒸剤および長日処理によるスイートピーの落蕾抑制 園芸学会中四国支部要旨 53:43
45. 森義雄・住友克彦・久松完・後藤丹十郎 (2014) 発蕾以降の再電照が 8 月出荷小ギクの開花および切り花品質に及ぼす影響 園芸学研究 13 (別2) :265 (講要)
46. 森義雄・住友克彦・久松完・後藤丹十郎 (2014) 再電照期間が夏秋小ギクの花房長および花蕾数に及ぼす影響 園芸学研究 14 (別1) :212 (講要)
47. 森義雄・鈴木安和・高田真美・矢吹隆夫・矢野志野布・小川貴弘・廣瀬信雄・住友克彦・久松完・後藤丹十郎 (2015) 暗期中断を利用した夏秋需要期連続出荷に適する小ギク品種の選抜 園芸学研究 14 (別2) :531 (講要)
48. 森義雄・久松完・後藤丹十郎 (2015) 発蕾以降の再電照を用いた夏秋小ギクの 8 月および 9 月の高需要期出荷 園芸学会中四国支部要旨 54:38
49. Yoshio Mori・Katsuhiko Sumitomo・Tamotsu Hisamatsu and Tanjuro Goto (2016) Effects of interrupted lighting on the spray formation of summer-to-autumn-flowering small-flowered spray-type chrysanthemum cultivars 'Haruka' and 'Subaru'. Hort. J. 85:264-271
50. 森義雄・鈴木安和・山形敦子・村崎聡・高田真美・矢吹隆夫・横井直人・間藤正美・田附博・永井永久・矢野志野布・小川貴弘・廣瀬信雄・小田篤・中野善公・久松完・住友克彦 (2016) 夏秋小ギクの安定生産に向けた電照栽培用品種の選抜 園芸学研究 16(1) :27-39
51. 森義雄・住友克彦・久松完・後藤丹十郎 (2016) 9 月出荷作型における再電照前の自然日長期間が夏秋小ギクの花房形状に及ぼす影響 園芸学会中四国支部要旨 55:46
52. 木下良一・森義雄 (2016) ヒートポンプを用いた夜間冷房によるスイートピーの落蕾抑制 園芸学研究 15 (別2) :224 (講要)
53. 森義雄・若原良基 (2016) 播種後ブライミングにおける覆土およびかん水がラークスパーおよびブレウラムの出芽に及ぼす影響 園芸学研究 16 (別1) :226 (講要)
54. 藤本拓郎・森本泰史・森義雄 (2016) 育苗時の長日処理がラークスパーおよびブレウラムの生育に及ぼす影響 園芸学研究 15 (別2) :462 (講要)
55. 森義雄・住友克彦 (2017) 電照栽培による夏秋期の小ギク安定生産 最新農業技術 花卉 Vol.9 (農文協) :73-82
56. 森義雄・柱生直義・安場健一郎・後藤丹十郎 (2017) 夜間冷房時の温度がスイートピーの落蕾に及ぼす影響 農業情報学会要旨:19-20
57. 森義雄・林祐貴・住友克彦・久松完 (2017) 電照終了後の高温処理が夏秋小ギク品種の開花に及ぼす影響 園芸学研究 16 (別2) :309

(講要)

58. 森義雄・住友克彦・久松完 (2017) 再電照前の自然日長期間が夏秋小ギクの花蕾数に及ぼす影響 園芸学研究 17 (別1):244 (講要)
59. 森義雄・若原良基 (2017) 播種後プライミングがブルーレースフラワーの出芽に及ぼす影響 園芸学会中四国支部要旨 56:47
60. 森義雄 (2017) 岡山県UECSを利用した統合環境制御によるスイートピーの生産性の向上 革新的技術開発・緊急展開事業 (うち地域戦略プロジェクト)「UECSプラットフォームで日本型施設園芸が活きるスマート農業の実現」単年度研究成果報告書
61. 森義雄・住友克彦・久松完 (2018) 電照・9月出荷作型における穂冷蔵およびエセフォン処理が夏秋小ギクの開花および切り花形質に及ぼす影響 園芸学会中四国支部要旨 57:49
62. 安場健一郎・木下良一・内村有希・森義雄・吉田裕一・後藤丹十郎・田中義行 (2018) スイートピーの落蕾防止を目的としたヒートポンプコントローラの試作 農業情報学会要旨:17-18
63. Yasuba Ken-ichiro, Kinoshita Ryoichi, Uchimura Yuuki, Mori Yoshio, Yoshida Yuichi, Goto Tanjuro and Tanaka Yoshiyuki (2018) Development of the heat pump controller for preventing flower-bud abscission of sweetpea. The second international conference on sustainable agriculture and environment:32 (講要)
64. 笠原有加 (2018) 岡山県UECSを利用した統合環境制御によるスイートピーの生産性の向上 革新的技術開発・緊急展開事業 (うち地域戦略プロジェクト)「UECSプラットフォームで日本型施設園芸が活きるスマート農業の実現」終了時評価用研究成果報告書
65. 森義雄・中野善公・林祐貴・高橋重一・久松完・住友克彦 (2019) 夏秋小ギクにおける高温による開花遅延およびフロリゲン遺伝子FTL3の発現抑制の品種間差 園芸学研究 18(4):381-390
66. 森義雄・アンシュマンルチア・笠原有加・若原良基 (2019) 浸種および播種後プライミングがブルーレースフラワーの出芽に及ぼす影響 園芸学会中四国支部要旨 58:33
67. 笠原有加 (2019) ヒートポンプとUECS環境制御機器によるスイートピーの生産性の向上技術 革新的技術開発・緊急展開事業 (うち地域戦略プロジェクト)「UECSプラットフォームで日本型施設園芸が活きるスマート農業の実現」(パンフレット)
68. 土居典秀・森本泰史 (2022) スイートピー落蕾性の品種間差と継代の様相 園芸学会中四国支部要旨 60:25

9. 養蚕

平成12年以降は該当なし

10. 生物工学

1. 森本泰史 (2005) 子房培養及び胚培養による新品種「カリステ」の育成 近中四地域における新技術第4号:1-3
2. 田村尚之・向原隆文 (2007) 細胞融合によるナス台木の青枯病抵抗性育種 植物防疫 62(2):64-67
3. Mukaiharu T. N. Tamura and M. Iwabuchi (2009) Genome-Wide Identification of a Large Repertoire of *Ralstonia solanacearum* Type III Effector Proteins by a New Functional Screen. MPMI. 23(3):251-262
4. Mukaiharu, T. and N. Tamura (2009) Identification of novel *Ralstonia solanacearum* type III effector proteins through translocation analysis of hrpB-regulated gene products. Microbiology. 155:2235-2244
5. 森本泰史・森義雄 (2015) 胚珠培養および胚培養を用いたスイートピー種間雑種の作出 育種学研究 18 (別2):87 (講要)
6. 森本泰史・森義雄 (2016) 胚珠培養および胚培養を用いたスイートピー三種間雑種の作出 育種学研究 18 (別2):70 (講要)
7. 河井崇・渡邊咲音・那須優香・吉田侑城・高田大輔・佐藤守・樋野友之・藤井雄一郎・福田文夫・中野龍平・牛島幸一郎 (2021) モモの melting flesh (M) 遺伝子座における polygalacturonase (PG) 遺伝子の発現差異 園芸学研究 21 (別1):49 (講要)

11. 土壌肥料

〔施肥と地力〕

1. 山本章吾 (2000) 水稻の不耕起乾田直播栽培を耕起栽培に転換する時の施肥法 近畿中国地域における新技術第34号:65-67
2. 赤井直彦・石橋英二・大家理哉・森次真一 (2000) 牛尿施用草地における環境負荷実態調査 日本土壌肥料学会 46 (講要)
3. 赤井直彦・石橋英二・大家理哉・森次真一 (2000) 牛尿への硝酸化成抑制剤添加が草地からの環境負荷に及ぼす影響 近畿中国問題別研究会 (講要)
4. 石橋英一・赤井直彦・山本章吾・石井俊雄・沖和生 (2001) 不耕起乾田直播水田土壌の特徴と生産力 土肥誌 72(6):807-811
5. 森次真一 (2001) 水稻移植栽培における被覆肥料の効率的施用技術の確立試験 全農委託試験成績書

6. 森次真一 (2001) 持続性のある農業における施肥改善技術の開発 全農委託試験成績書
7. 森次真一・石橋英二・沖和生・山本章吾 (2002) アメダスメッシュデータを利用した被覆肥料の溶出予測 近中四生産環境部会 (講要)
8. 森次真一・沖和生・石橋英二・山本章吾 (2002) 水稻栽培における被覆肥料の効率的施肥技術の確立試験 全農委託試験成績書
9. 森次真一・大家理哉 (2002) 持続性のある農業における施肥改善技術の確立試験 全農委託試験成績書
10. 大家理哉・森次真一 (2002) ビール麦栽培における被覆尿素的施用技術確立試験 近中四生産環境部会 (講要)
11. 森次真一・石橋英二・沖和生・山本章吾 (2003) アメダスメッシュデータによる被覆尿素からの窒素溶出予測 農業環境工学関連 5 学会:306 (講要)
12. 森次真一・山本章吾・谷義夫 (2003) 水稻栽培における被覆肥料の効率的施肥技術の確立試験 全農委託試験成績書
13. 森次真一・大家理哉 (2003) 持続性のある農業における施肥改善技術の確立試験 全農委託試験成績書
14. 山本章吾・森次真一 (2004) 水田におけるケイ酸供給力向上技術の確立試験 全農委託試験成績書
15. 森次真一・大家理哉 (2004) 持続性のある農業における施肥改善技術の確立試験 全農委託試験成績書
16. 大家理哉・石岡徹・木村武 (2004) 牛糞堆肥中の抽出性窒素の特性並びに窒素無機化量との関係 土肥要旨集 50
17. 石橋英二 (2005) 実践事例からみた資材利用・施肥技術の効果と課題 岡山県の事例 土肥要旨集51
18. 山本章吾・森次真一 (2005) 水田におけるケイ酸供給力向上技術の確立試験 全農委託試験成績書
19. 森次真一・大家理哉 (2005) 持続性のある農業における施肥改善技術の確立試験 全農委託試験成績書
20. 石橋英二 (2006) 堆肥からの窒素無機化予測に対する反応速度論的解析の適用 土肥要旨集52
21. 森次真一・大家理哉・杉本真一・石橋英二 (2006) 水稻栽培における被覆肥料の温度反応特性とG I Sによる適用地域の解明 土肥秋田大会 52 (講要)
22. 山本章吾・森次真一 (2006) 水田におけるケイ酸供給力向上技術の確立試験 全農委託試験成績書
23. 森次真一・馬場祐介 (2006) 水稻栽培における施肥効率向上技術の確立試験 全農委託試験成績書
24. 森次真一 (2007) 水稻の感温特性を考慮したシグモイド溶出型被覆肥料の選定法 近中四地域における新技術第6号:18-20
25. 山本章吾・森次真一 (2007) 水田におけるケイ酸供給力向上技術の確立試験 全農委託試験成績書
26. 森次真一・山本章吾 (2007) 普通作における施肥効率向上技術の確立試験 全農委託試験成績書
27. 森次真一・石橋英二・大家理哉 (2008) 水稻の感温特性を考慮したシグモイド溶出型被覆肥料の選定法 土肥誌 80(1):49-53
28. 大家理哉・森次真一 (2008) 水田におけるケイ酸供給力向上技術の確立試験 全農委託試験成績書
29. 森次真一・大家理哉 (2008) 土壌診断・資材の特性に基づく適正施肥法の確立 全農委託試験成績書
30. 大家理哉・芝宏子・森次真一・石橋英二 (2008) 牛ふんを主原料とする堆肥中成分含量の変動特性 土肥誌 79(4):380-386
31. 石橋英二・森次真一 (2008) 反応速度論的手法を活用した窒素施肥設計の考え方 土肥要旨集 54:155
32. 石橋英二 (2008) 牛ふんたい肥等を活用した施肥設計システムの開発 平成 20 年度中国四国地域マッチングフォーラム:9-15 (講要)
33. 森次真一・高野和夫 (2008) 土壌可給態窒素の近赤外スペクトルの帰属と粘土鉱物の影響 土肥要旨集 54:35
34. Cahyani V. R., J. Murase, E. Ishibashi, S. Asakawa and M. Kimura (2009) Phylogenetic positions of Mn²⁺-oxidizing bacteria and fungi isolated from Mn nodules in rice field subsoils. *Biol Fertil Soils* 45:337-346
35. 大家理哉・馬場裕介・鷲尾建紀・高津あさ美・永井知佳子・藤本寛・亀井雅浩・石橋英二 (2009) 家畜ふんたい肥の肥料的効果の評価 (第1報) 牛ふんたい肥中のリン酸・カリウム含量の変動特性 土肥要旨集 55:145
36. 高津あさ美・鷲尾建紀・永井知佳子・芝宏子・大家理哉・白石誠・水木剛・石橋英二 (2009) 家畜ふんたい肥の肥料的効果の評価 (第2報) 各種家畜ふんたい肥の窒素無機化特性 土肥要旨集 55:145
37. 鷲尾建紀・高野和夫・森次真一・大家理哉・高津あさ美・永井知佳子・白石誠・水木剛・石橋英二 (2009) 家畜ふんたい肥の肥料的効果の評価 (第3報) 判別分析を用いた牛ふん・豚ふんたい肥の窒素肥効推定 土肥要旨集 55:145
38. 永井知佳子・芝宏子・森次真一・高津あさ美・鷲尾建紀・大家理哉・白石誠・水木剛・石橋英二 (2009) 家畜ふんたい肥の肥料的効果の評価 (第4報) 土壌施肥管理システムによる施肥設計の検証 土肥要旨集 55:146
39. 石橋英二 (2009) 土壌施肥管理システムを用いたたい肥等有機物の有効利用 近中四生産環境推進部会土壌分科会資料:29-49 (講要)
40. 石橋英二 (2009) 水田作におけるたい肥施用の基本と現場利用 畜産環境アドバイザー研修「耕畜連携推進コース」講義テキスト
41. Cahyani V. R., J. Murase, E. Ishibashi, S. Asakawa and M. Kimura (2008) T4-type bacteriophage communities estimated from the major capsid genes (g23) in manganese nodules in Japanese paddy fields. *Soil Science and Plant Nutrition*. 55(2):264-270
42. 森次真一・高津あさ美 (2009) 普通作における施肥効率向上技術の確立試験 全農委託試験成績書
43. 赤井直彦・鷲尾建紀・芝宏子 (2009) 水稻・麦栽培におけるP、K減肥基準策定のための連絡試験 全農委託試験成績書

44. 大家理哉・鷺尾建紀・森次真一・高原知佳子・藤本寛・亀井雅浩・石橋英二 (2010) 家畜ふん堆肥の肥料的効果の評価 (第5報) 水稲非作付け期間に施用した堆肥に由来する養分の動態調査 土肥要旨集 56:136
45. 鷺尾建紀・大家理哉・森次真一・高原知佳子・亀井雅浩・石橋英二 (2010) 家畜ふんたい肥の肥料的効果の評価 (第6報) 水稲非作付け期間に施用した堆肥に由来する養分の動態調査～塩基類およびリン酸について～ 土肥関西支部要旨集:12
46. 大家理哉 (2010) 土壤施肥管理システムを利用した施肥設計について 耕畜連携推進研修会資料
47. 森次真一・田淵恵 (2010) 普通作における施肥効率向上技術の確立試験 全農受託試験成績書
48. 赤井直彦・鷺尾建紀・田淵恵 (2010) 水稲・麦栽培におけるP、K減肥基準策定のための連絡試験 全農受託試験成績書
49. 佐野大樹・伊藤豊彰・安藤正・南條正巳・斎藤元也・三枝正彦 (2010) 南東北地方の代表的な水田土壌の粘土鉱物組成 ペドロジスト 54(2):83-92
50. 森次真一・衣笠雄一・鷺尾建紀・高野和夫・高津あさ美・赤井直彦・石橋英二 (2010) 土壤窒素肥沃度の違いが黒大豆に対するシグモイド溶出型被覆尿素の施用効果に及ぼす影響 土肥要旨集 56:143
51. 田淵恵 (2010) 被覆肥料を用いた夏秋ナスの畝内作条施肥技術の開発 新稲作研究会試験成績書
52. 赤井直彦・鷺尾建紀・田淵恵・石橋英二 (2011) 水稲茎葉中のナトリウム含有率及び水田土壌の実態調査に基づくカリウム減肥指針の策定 土肥要旨集 57:110
53. 鷺尾建紀・大家理哉・石橋英二・藤本寛・亀井雅浩 (2011) 家畜ふんたい肥の肥料的効果の評価 (第7報) 判別分析及び反応速度論的手法による牛ふん堆肥の簡易窒素肥効推定 土肥要旨集:131
54. 大家理哉・鷺尾建紀・藤本寛・亀井雅浩・石橋英二 (2011) 家畜ふん堆肥の肥料的効果の評価 (第8報) 飼料用稲生産における堆肥の肥料的効果及び土壌可給態窒素を考慮した施肥技術の必要性 土肥関西支部要旨集:12
55. 大家理哉 (2011) 飼料用稲栽培における堆肥施用の意義とその連用効果について 高糖分飼料イネ「たちすずか」普及連絡会・国産飼料プロ合同現地検討会 (鳥取県) (講要)
56. 大家理哉・鷺尾建紀・田淵恵・山本章吾・高野和夫 (2011) 高糖分飼料イネ「たちすずか」生産における堆肥連用効果に応じた適切な施肥管理の実証事業成績書 高糖分飼料イネ「たちすずか」現地実証事業成績検討会 (講要)
57. 山本章吾・田淵恵 (2011) 普通作における施肥効率向上技術の確立試験 全農受託試験成績書
58. 赤井直彦・鷺尾建紀・田淵恵 (2011) 水稲・麦栽培におけるP、K減肥基準策定のための連絡試験 全農受託試験成績書
59. 石橋英二 (2011) 水田作におけるたい肥施用の基本と現場利用 中央畜産技術研修会 (家畜排せつ物処理) 資料:117-138 (講要)
60. 石橋英二・鷺尾建紀・高津あさ美・高原知佳子・芝宏子・大家理哉 (2011) 牛ふん堆肥を活用した窒素肥効モデルに基づく水稲の安定生産技術 (シンポジウム:家畜ふん堆肥を活用した新たな地域ブランド技術の創出) 土肥要旨集 57:214
61. 鳥山和伸・石橋英二 (2011) 日本土壤肥料学会第6部門水田土壌肥沃度 土肥誌 82:520-525
62. 石橋英二 (2011) イネの高温障害と対策 土肥誌 82:447 (講要)
63. 田村尚之・森次真一・赤井直彦・石橋英二 (2011) 肥効調節型被覆肥料を用いたビール大麦の全量基肥栽培 土肥要旨集 57:139
64. 田村尚之・森次真一・赤井直彦・石橋英二 (2011) 肥効調節型被覆肥料を用いたビール大麦の全量基肥栽培 中国四国地域マツチングフォーラム (ポスター発表)
65. 鷺尾建紀・赤井直彦・荒木有朋・衣笠雄一 (2011) リン酸蓄積土壌における施肥適正化試験 近中四生産環境推進部会資料 (講要)
66. 田淵恵・荒木有朋 (2011) 被覆肥料を用いた夏秋ナスの畝内作条施肥技術の開発 新稲作研究会委託試験・現地実証展示圃成績:175-180
67. 鷺尾建紀 (2011) 減肥事業検討会資料 (岡山 キャベツ) 農業生産環境対策事業費のうち減肥基準作成に向けたデータ収集事業年度末検討会資料:8 (講要)
68. 赤井直彦・鷺尾建紀・田淵恵・石橋英二 (2012) 岡山県南部水田土壌の化学性調査および水稲茎葉中のナトリウム含有率に基づくカリウム減肥指針の作成 土肥誌 83:266-273
69. 芝宏子・荒木有朋・赤井直彦・土倉義夫・石橋英二 (2012) 施設有機栽培圃場における養分集積の実態と有機質資材施用量の削減が土壌化学性に及ぼす影響 土肥誌 83:695-699
70. 赤井直彦・鷺尾建紀・田淵恵 (2012) 県内水田土壌のリン酸含有率の実態及び土壌診断に基づく水稲のリン酸減肥試験 土肥要旨集 58:102
71. 鷺尾建紀・大家理哉・石橋英二 (2012) 家畜ふん堆肥の肥料的効果の評価 (第9報) 畑条件における牛ふん堆肥の簡易窒素肥効評価法 土肥要旨集 58:127
72. 大家理哉・森次真一・鷺尾建紀・高津あさ美・高原知佳子・藤本寛・亀井雅浩・石橋英二・高野和夫 (2012) 家畜ふん堆肥の肥料的効果の評価 (第10報) 飼料イネ栽培における施肥設計支援システムの開発 土肥要旨集 58:136
73. 鷺尾建紀・森泉美穂子・東英男・加藤直人 (2012) 湛水培養中の土壌から80°C16時間水抽出で抽出される窒素の形態変化 土肥関西支部要旨集:36

74. 大家理哉・鷺尾建紀・田淵恵・山本章吾・高野和夫 (2012) 高糖分飼料イネ「たちすずか」生産における堆肥専用効果に応じた適切な施肥管理の実証事業成績書 高糖分飼料イネ「たちすずか」現地実証事業成績検討会 (講要)
75. 山本章吾・山中基恵 (2012) 普通作における施肥効率向上技術の確立試験 全農受託試験成績書
76. 赤井直彦・鷺尾建紀 (2012) 水稻・麦栽培におけるP、K減肥基準策定のための連絡試験 全農受託試験成績書
77. 山本章吾 (2012) 高糖度モモ生産のための土壌管理 土づくりシンポジウム資料 (講要)
78. 大家理哉・森次真一・鷺尾建紀・高津あさ美・高原知佳子・藤本寛・亀井雅浩・石橋英二・高野和夫 (2013) 飼料用稲栽培において土壌可給態窒素量と堆肥窒素肥効を考慮した施肥窒素量の決定方法 土肥誌 84(5):394-398
79. 大家理哉・鷺尾建紀・石橋英二 (2013) 水稻非作付け期間に施用した家畜ふん堆肥等有機物中の窒素の動態 土肥誌 84(6):437-446
80. 赤井直彦・鷺尾建紀 (2013) 岡山県の水稲栽培におけるリン酸減肥指針の作成 土肥要旨集 59:124
81. 赤井直彦 (2013) 水稻作の新たなカリウム減肥指針 水稻作における施肥コスト低減に向けた技術普及研究会:14-17 (講要)
82. 鷺尾建紀 (2013) 岡山県における家畜ふん堆肥の肥効評価法の開発と実証 関西土壌肥料協議会講要:18-25
83. 大家理哉・鷺尾建紀・山中基恵 (2013) 鶏糞の施用時期を考慮した施肥設計方法の開発 土肥要旨集 59:127
84. 佐野大樹・信岡佑太・鷺尾建紀・石橋英二 (2013) 黒ボク土での白ネギ秋どり栽培におけるリン酸施用量の削減および肥効調節型肥料による追肥回数の削減 土肥要旨集 59:140
85. 石井恵・山本章吾 (2013) 普通作における施肥効率向上技術の確立試験 全農受託試験成績書
86. 赤井直彦・鷺尾建紀 (2013) 水稻・麦栽培におけるP、K減肥基準策定のための連絡試験 全農受託試験成績書
87. 鷺尾建紀・新田英之・高原知佳子・赤井直彦 (2014) アスパラガス産地の土壌化学性および施肥管理調査結果に基づく施肥改善 土肥誌 85(6):529-532
88. 赤井直彦・藤原宏子・鷺尾建紀・石井恵 (2014) リン酸・カリウム減肥指針に基づく水稻の全量基肥栽培に適した低コスト肥料の選定方法 土肥要旨集 60:116
89. 山本章吾・鷺尾建紀・石井恵・石橋英二 (2014) 緑肥の窒素無機化予測による水稻の施肥管理 土肥要旨集 60:118
90. 鷺尾建紀・赤井直彦・山本章吾・森次真一・大家理哉 (2014) 水田管理方法の違いに応じた水田土壌炭素貯留量の将来予測 土肥関西支部要旨集:37
91. 森次真一・大家理哉・鷺尾建紀・高野和夫 (2014) 近赤外分光法による水田土壌の可給態窒素の推定 土肥関西支部要旨集:38
92. 森次真一 (2014) 岡山県での堆肥利用に関する取り組み 近中四土壌肥料推進部会資料:14-18 (講要)
93. 鷺尾建紀・藤原宏子・田村尚之 (2014) 味覚センサを用いた施肥量の多少による食味変化の数値化 土肥要旨集 60:82
94. 藤原宏子・高津あさ美・衣笠雄一・石橋英二 (2014) 拍動灌漑を利用した野菜の減肥栽培と生育障害の軽減対策 近中四土壌肥料推進部会資料:36-41 (講要)
95. 赤井直彦 (2014) 苗箱施肥と土壌診断に基づく水稻の省力・低コスト栽培法の確立 全農受託試験成績書
96. 森次真一・鷺尾建紀・水木剛・大家理哉・藤原宏子・高野和夫 (2015) 混合堆肥複合肥料の窒素無機化特性と混合原料に基づく無機化予測精度 土肥要旨集 61:139
97. 大家理哉・鷺尾建紀・河野幸雄・猪谷富雄・藤本 寛 (2015) 飼料イネ栽培における施肥管理が土壌の化学性、植物体中成分に及ぼす影響 土肥誌 86(4):308-312
98. 森次真一・大家理哉・鷺尾建紀・高野和夫 (2015) 近赤外分光法による水田土壌の可給態窒素の推定精度 土肥誌 87(1):31-34
99. 鷺尾建紀・藤原宏子・田村尚之 (2015) 窒素及びカリウム施用量の違いがコマツナの食味に及ぼす影響 土肥要旨集 61:84
100. 赤井直彦 (2015) 苗箱施肥と土壌診断に基づく水稻の省力・低コスト栽培法の確立 全農受託試験成績書
101. 森次真一 (2016) 混合堆肥複合肥料の開発と利用 土肥要旨集 62:196
102. 森次真一 (2016) 牛ふん堆肥を主原料とした全量基肥用の混合堆肥複合肥料の開発 家畜ふん尿処理利用研究会:33-38 (講要)
103. 森次真一・石橋英二・山本章吾・沖和生 (2016) 水稻栽培におけるアメダスメッシュ気象データを活用した被覆尿素の窒素溶出推定精度 土肥誌 87(2):93-100
104. 山本章吾・鷺尾建紀・石井恵 (2016) 緑肥の窒素無機化予測による水稻の施肥設計手法の検討 土肥要旨集 62:130
105. 森次真一・山本章吾・景山博行・石井恵 (2016) 可給態窒素量の圃場間差を考慮した水稻の施肥設計手法の検討 土肥要旨集 62:91
106. 山本章吾 (2016) 飼料用米の湛水直播栽培における省力・低コスト・多収栽培のための施肥技術の確立 全農受託試験成績書
107. 大家理哉・森次真一・赤井直彦 (2017) 県内水田土壌における可給態イオン含量と湛水条件下におけるその挙動 土肥関西支部要旨集:38
108. 山本章吾・田村尚之 (2017) 岡山県高梁地域ブドウ園の土壌窒素無機化特性と「ピオーネ」樹の生育との関係 土肥関西支部要旨集:25
109. 田村尚之・山本章吾 (2017) 秋季及び春季における「ピオーネ」の施肥窒素吸収効率 土肥要旨集 63:127
110. 田村尚之 (2017) 秋季および春季における「ピオーネ」の効率的な窒素施肥 落葉果樹研究会資料:41-42 (講要)

111. 森次真一・鷺尾建紀・鳥家あさ美・水木剛・白石誠・大家理哉・荻野隆 (2017) 肥効調節型肥料を混合した混合堆肥複合肥料の窒素肥効と夏まきキャベツ栽培における基肥施用効果 土肥要旨集 63:123
112. 大家理哉 (2017) 飼料用米の湛水直播栽培における省力・低コスト・多収栽培のための施肥技術の確立 全農受託試験成績書
113. 水木剛・白石誠・森次真一・大家理哉・鳥家あさ美・鷺尾建紀・荻野隆 (2018) 鶏ふん焼却灰入り混合堆肥複合肥料の保存性評価 日本畜産学会:200 (講要)
114. 大家理哉・山本章吾 (2018) 鉄コーティング湛水直播栽培における全量基肥施肥が飼料用米「中生新千本」の収量に及ぼす影響 新近中四農研 2:26-35
115. 森次真一・水木剛・大家理哉・鳥家あさ美・白石誠・鷺尾建紀・荻野隆 (2018) 混合堆肥複合肥料を配合した水稻の全量基肥用肥料の開発と実用性の検討 土肥要旨集 64:123
116. 大家理哉・山本章吾 (2018) 鉄コーティング湛水直播栽培における全量基肥施肥が飼料用米「中生新千本」の収量並びに所得に及ぼす影響 土肥関西支部要旨集:28
117. 森次真一・水木剛・大家理哉・鳥家あさ美・上田直國・白石誠・鷺尾建紀・荻野隆 (2019) 混合堆肥複合肥料の水分の違いがバルクブレンドした被覆尿素の窒素溶出に及ぼす影響 土肥要旨集 65:111
118. 水木剛・森次真一・白石誠・大家理哉・鳥家あさ美・鷺尾建紀・荻野隆 (2019) 混合堆肥複合肥料を配合した水稻向けバルクブレンド肥料の保存性評価 土肥関西支部要旨集:22
119. 水木剛・森次真一 (2019) 家畜ふん堆肥を利用した水稻向けバルクブレンド肥料の開発 畜産関係業績発表会 (抄録)
120. 大家理哉・山本章吾 (2019) 飼料用米「中生新千本」、「アケボノ」の移植栽培での安定多収に適した全量基肥用肥料の選定 土肥関西支部要旨集:7
121. 上田直國・鳥家あさ美・森次真一 (2019) 転作田における飼料用トウモロコシの二期作栽培に適した肥培管理方法の検討 土肥要旨集 65:114
122. 畑中唯史・石井恵・中東良太 (2019) 味覚センサーを用いた放線菌由来アミノペプチターゼの評価 日本生物工学会第 71 回要旨集:102
123. 大家理哉・網島健司・上田直國 (2020) 可給態硫黄含量が低い水田への石膏施用が水稻の生育や収量、硫黄吸収量等に及ぼす影響 土肥要旨集 66:85
124. 大家理哉・山本章吾・赤井直彦 (2020) 水稻作におけるリン及びカリウムの施肥削減に係る広域評価 土肥関西支部要旨集:14
125. 大家理哉 (2020) 硫黄資材施用圃場における診断手法の適用と肥培管理技術の確立 全農肥料受託試験成績書
126. Masaya Oya, (2021) Soil management for environmental load reduction (Kinki, Chugoku, and Shikoku Regions). The Soils of Japan, World Soils Book Series (R. Hatano et al. (eds.) Springer Nature Singapore Pte Ltd.) 25-26
127. 大家理哉 (2021) 水田における家畜ふん堆肥施用時期を考慮した施肥設計技術の確立 土肥誌 92(5):418-419
128. 山本章吾 (2021) 高糖度モモ生産のための総合的栄養診断 モモ・スモモ大事典 (農文協):291-300
129. 大家理哉・水田有亮 (2021) 水稻作における石膏施用が土壌溶液中硫黄濃度の推移に及ぼす影響 土肥要旨集 67:109
130. 鷺尾建紀 (2021) カリ過剰がハウレンソウのシュウ酸含量と「えぐみ」に与える影響 土づくり推進シンポジウム (講要)
131. 大家理哉 (2021) 硫黄資材施用圃場における診断手法の適用と肥培管理技術の確立 全農肥料受託試験成績書
132. 荒川祐介・森次真一 (2022) 混合堆肥複合肥料の製造と利用 地力アップ大事典 (農文協):1021-1031
133. 水田有亮・大家理哉 (2022) 岡山県における水稻硫黄欠乏症の診断基準の策定 土肥要旨集 68:77
134. 森次真一 (2022) モモの急性枯死症が発生する圃場の特徴-土壌実態調査から- 落葉果樹研究会資料:36-40 (講要)
135. 森次真一 (2022) 水稻作における硫黄の過不足に対する土壌管理技術の確立 全農肥料受託試験成績書
136. 網島健司 (2022) 水稻晩生品種における被覆肥料の被膜設排出低減を目的とした施肥体系の確立 全農肥料受託試験成績書
137. 鷺尾建紀 (2022) シンポジウム「緑の食料システム戦略の時代に土づくりをどう伝えるか」若手指導者による土づくり指導の実態と悩み 土肥要旨集 68:147
138. 水田有亮 (2023) ペースト 2 段施肥技術による水稻の全量基肥施肥体系の実証 全農肥料受託試験成績書
139. 瀧口智之 (2023) 水稻晩生品種における被覆肥料の被膜設排出低減を目的とした施肥体系の確立 全農肥料受託試験成績書
140. 森次真一・竹岡みのり (2023) 水稻作における硫黄の過不足に対する土壌管理技術の確立 全農肥料受託試験成績書
141. 森次真一 (2024) 可給態窒素含量の圃場間差を活用した水稻の施肥設計の考え方 土づくり推進フォーラム (講要)
142. 寺地紘哉・水田有亮 (2024) 水稻栽培におけるプラスチック資材を含まない緩効性肥料を活用した施肥方法 土肥関西支部要旨集
143. 鷺尾建紀 (2024) 砂含量の簡易測定法の岡山県農耕地土壌への適応性 土肥要旨集 70:80
144. 水田有亮 (2024) ペースト 2 段施肥技術による水稻の全量基肥施肥体系の実証 全農肥料受託試験成績書
145. 森次真一・水木剛 (2024) 混合堆肥複合肥料の水分活性の違いがバルクブレンドした被覆尿素の窒素溶出に及ぼす影響 土肥誌 95:77-80

〔土壌保全〕

1. 石橋英二・赤井直彦・大家理哉・鶴田治雄 (2000) 水田からのメタン発生に及ぼす不耕起乾田直播栽培継続の影響 日本土壌肥料学会 46 (講要)
2. 石橋英二・赤井直彦・森次真一・大家理哉・沖和生 (2000) 土壌環境負荷低減対策推進事業成績書
3. 石橋英二・赤井直彦・森次真一・大家理哉・沖和生 (2001) 土壌環境負荷低減対策推進事業成績書
4. 赤井直彦・石橋英二・大家理哉・森次真一 (2001) 牛尿への硝酸化成抑制剤添加が草地からの環境負荷に及ぼす影響 土肥誌 72(2):206-213
5. 石橋英二・赤井直彦・大家理哉・沖和生 (2001) 水稻の不耕起乾田直播栽培が温室効果ガス発生に及ぼす影響 (第1報) 不耕起乾田直播栽培の継続と酸化還元電位の関係 土肥誌 72(4):535-541
6. 石橋英二・赤井直彦・大家理哉・石井俊雄・鶴田治雄 (2001) 水稻の不耕起乾田直播栽培が温室効果ガス発生に及ぼす影響 第2報不耕起乾田直播栽培の継続とメタン発生量の関係 土肥誌 72(4):542-549
7. 鶴田治雄・細野達夫・波多野隆介・犬伏和之・石橋英二・甲田裕幸他 (2001) アジアの農耕地における CH_4 、 N_2O の発生量の評価とその発生抑制技術の確立に関する研究 地球環境研究総合推進費研究成果中間成果報告書
8. 石橋英二 (2001) 水稻不耕起乾田直播栽培圃場における環境保全型土壌管理技術 土壌保全調査事業等優良成果集
9. 高津あさ美・赤井直彦 (2001) 持続的農業推進事業成績書
10. 大家理哉・山本章吾 (2002) 不耕起水田土壌における畜産有機質資源の連用が硝酸態窒素、リンの溶脱に及ぼす影響 一冬作イタリアンライグラス作付け期間中のモニタリング調査結果- 第98回土肥関西支部要旨集:3
11. 石橋英二・赤井直彦・大家理哉・久山弘巳・森次真一・土井智津子・高野和夫・山本章吾・高津あさ美・熊代幹夫・沖和生 (2002) 土壌環境負荷低減対策推進事業成績書
12. 高津あさ美・石橋英二 (2002) 持続的農業推進事業成績書
13. 赤井直彦 (2002) 牛尿への硝酸化成抑制剤添加が草地からの環境負荷に及ぼす影響 土壌保全対策事業等優良成果集(PR版)
14. 鶴田治雄・細野達夫・波多野隆介・犬伏和之・石橋英二・甲田裕幸他 (2002) アジア農耕地における CH_4 、 N_2O の発生量の評価とその発生抑制技術の確立に関する研究 地球環境研究総合推進費研究成果中間成果報告書
15. 高津あさ美・石橋英二・赤井直彦 (2003) 被覆肥料の施用が砂質土壌におけるゴボウ収量並びに窒素溶脱に及ぼす影響 土肥関西支部要旨集
16. 高津あさ美・石橋英二・赤井直彦 (2003) 被覆肥料の施用が砂質土壌におけるゴボウ収量並びに窒素溶脱に及ぼす影響 近中四地域問題別研究会 (講要)
17. 高津あさ美・芝宏子・鷺尾建紀・石橋英二 (2003) 持続的農業推進事業成績書
18. 石橋英二・赤井直彦・大家理哉・石井俊雄・鶴田治雄 (2003) 不耕起乾田直播栽培の継続とメタン発生の関係 土肥神奈川大会(ポスター発表)
19. 高津あさ美・芝宏子・鷺尾建紀・石橋英二 (2004) 持続的農業推進事業 (環境保全型土壌管理対策調査) 成績書
20. 石橋英二・赤井直彦・鶴田治雄 (2004) 不耕起乾田直播栽培の継続が水田からのメタン発生に及ぼす影響 土肥関西支部(ポスター発表)
21. 高津あさ美・大家理哉・芝宏子・石橋英二 (2005) 持続的農業推進事業 (環境保全型土壌管理対策調査) 成績書
22. 大家理哉・山本章吾 (2005) 不耕起田への堆肥連用が冬作期間中のリン溶脱に及ぼす影響 土肥要旨集 51
23. 高津あさ美・石橋英二 (2006) 緑肥の導入及び緑肥すき込み時の堆肥施用が窒素溶脱に及ぼす影響 農業及び園芸 81(10)
24. 高津あさ美・山本章吾・芝宏子・馬場裕介・石橋英二 (2006) 持続的農業推進事業 (環境保全型土壌管理対策調査) 成績書
25. 石橋英二・山本章吾・赤井直彦・鶴田治雄 (2007) 水稻の不耕起乾田直播栽培が温室効果ガス発生に及ぼす影響 (第4報) 不耕起乾田直播水田における亜酸化窒素発生要因 土肥誌 78(5):453-463
26. 石橋英二・山本章吾・赤井直彦・鶴田治雄 (2007) 栽培様式の違いが温室効果ガス発生量に及ぼす影響 土肥要旨集 53:188
27. 石橋英二・山本章吾・赤井直彦・岩田徹・鶴田治雄 (2009) 水稻の不耕起乾田直播栽培が温室効果ガス発生に及ぼす影響 (第5報) 水田から発生するメタン、亜酸化窒素および二酸化炭素の年間発生量と水田土壌への炭素貯留 土肥誌 80(2):123-135
28. 赤井直彦 (2010) 土壌診断及び灌がい水からの養分供給量を考慮した水稻の環境保全的施肥法 圃場と土壌 42:38-42
29. 高野和夫 (2010) 土壌診断によるモモ園土壌の問題点と土づくり対策 土づくり研究会 (講要)
30. 石橋英二 (2010) たい肥など有機質資材の活用技術 研究ジャーナル 33(4):31-35
31. 芝宏子・鷺尾建紀・衣笠雄一・谷義夫 (2010) 塩類集積土壌に適応した施肥・水管理 近中四生産環境推進部会資料
32. 石橋英二 (2010) 水稻の不耕起直播栽培における温室効果ガス発生要因の解明と地球温暖化防止および持続的農地管理のための栽培体系の提言 土肥誌 81(5):454-457
33. 石橋英二 (2010) 水稻の不耕起直播栽培における温室効果ガス発生要因の解明と地球温暖化防止および持続的農地管理のための栽培体系の提言 (日本土壌肥料学会技術賞記念講演) 土肥要旨集 56:230

34. 石橋英二・山本章吾・赤井直彦・岩田徹・鶴田治雄 (2010) 不耕起乾田水稻直播栽培による温室効果ガス低減効果 (シンポジウム:食糧自給率の向上は地球温暖化ガス排出を削減する) 日作紀 79 (別2):430-431 (講要)
35. 芝宏子・荒木有朋・赤井直彦・土倉義夫・石橋英二 (2011) 有機野菜栽培圃場における土壌管理の問題点 土肥関西支部要旨集:33
36. 芝宏子・荒木有朋・赤井直彦・衣笠雄一・石橋英二 (2012) 塩類集積土壌における土壌水分がコマツナの発芽率に及ぼす影響 土肥要旨集 58:122

12. 環境保全

〔大気汚染〕

1. 小林宙・白石誠・藤井博尚・大家理哉・正吉輝彦・吉田拓司・滝本英二・脇本進行・北村直起 (2004) 水田への牛尿多量施用時における臭気対策の検討 岡山県総合畜産センター研究報告 16

〔水質汚濁〕

1. 赤井直彦・石橋英二・大家理哉 (2000) 畑作地帯における浅層地下水の実態調査 $\delta^{15}\text{N}$ 法による地下水の硝酸態窒素汚染源の推定事例集 (財)日本土壌協会
2. 赤井直彦・石橋英二・大家理哉 (2001) 水稻不耕起乾田直播栽培において肥料の種類が水稻収量・土壌溶液中窒素濃度に及ぼす影響 土肥要旨集 47
3. 馬場裕介・石橋英二・高津あさ美 (2006) 湖沼流域水環境保全手法確立調査成績書
4. 馬場裕介・石橋英二 (2006) 流出水対策推進モデル計画策定調査成績書
5. 赤井直彦・衣笠雄一・石橋英二 (2007) 湖沼流域水環境保全手法確立調査成績書
6. 赤井直彦・衣笠雄一・石橋英二 (2007) 流出水対策推進モデル計画策定調査成績書
7. 赤井直彦・衣笠雄一・石橋英二 (2008) 湖沼流域水環境保全手法確立調査成績書
8. 赤井直彦・衣笠雄一・石橋英二 (2008) 流出水対策推進モデル計画策定調査成績書
9. 上田直國・寺地紘哉 (2020) 令和2年度農業用水の水質調査報告書及び農薬動態調査報告書 農業用水調査事業報告書
10. 上田直國・寺地紘哉 (2021) 令和3年度農業用水の水質調査報告書及び農薬動態調査報告書 農業用水調査事業報告書
11. 網島健司 (2022) 水稻晩生品種における被覆肥料の被膜殻排出低減を目的とした施肥体系の確立 全農肥料受託試験成績書
12. 上田直國・寺地紘哉 (2022) 令和4年度農業用水の水質調査報告書及び農薬動態調査報告書 農業用水調査事業報告書
13. 石井恵・寺地紘哉 (2023) 令和5年度農業用水の水質調査報告書及び農薬動態調査報告書 農業用水調査事業報告書

〔土壌汚染〕

1. 土倉義夫・赤井直彦・石橋英二 (2014) 不耕起乾田直播栽培が水稻のカドミウム吸収に及ぼす影響 土肥誌 85 (3):230-235

13. 病害虫

(1) 病害

〔イネの病害〕

1. 千脇健司 (2000) 航空赤外カラー写真の画像解析による水田の坪枯れ面積の推定 関西病虫害研報 42:97
2. 井上幸次ら他8名 (2002) Forecast and Control of Rice Leaf Blast Using "BLASTAMmesh-Okayama" 3rdIRBC
3. 井上幸次・川口章・松本英子・伊東菜美子・佐々木静江・谷名光治・伊達寛敬・粕山新二・那須英夫 (2003) 「BLASTAM-メッシュ岡山版」による葉いもちの発生予察と防除への利用 日植病報 69 (3) (講要)
4. 那須英夫 (2003) イネ葉しょう腐敗病菌の種子伝染と感染部位 日植病報 70 (1) (講要)
5. 伊東菜美子・谷名光治・井上幸次・那須英夫 (2003) *Fusarium graminearum*によるムギ類赤かび病汚染粒の簡易検定(予報) 日植病報 70 (1) (講要)
6. 井上幸次 (2004) イネごま葉枯病 農業総覧病害虫防除・資材編:追録第9号
7. Hideo Nasu. (2005) Occurrence of rusty rice by sheath rot fungus, *Sarocladium oryzae*, and Seed transmission and its infection site. 2nd Asian Conference on Plant Pathology 2005. Singapore.
8. 苧坂大樹・桐野菜美子・井上幸次 (2023) 岡山県におけるイネばか苗病菌のDMI剤に対する感受性 近中四病害虫推進部会資料 (講要)
9. 苧坂大樹・桐野菜美子・井上幸次 (2024) 岡山県におけるイネばか苗病菌のDMI剤に対する感受性 日植病報 90 (3):163 (講要)

〔麦類, 豆類, 雑穀, 特用作物の病害〕

1. 伊達寛敬・金谷元・佐々木静江・井上幸次 那須英夫・粕山新二 (2001) 岡山県に発生したダイズうどんこ病について 日植病報 68(1):78 (講要)
2. 中野正明・伊達寛敬・那須英夫・金田小百合 (2002) 岡山県で発生したダイズモザイクウイルス(SMV)-A2 系統 日植病報 68(1):98 (講要)
3. 川口章・谷名光治 (2010) 岡山県で発生したムギ類黒節病菌の rep-PCR DNA フィンガープリント解析 日植病報 77(1):61-62 (講要)
4. Akira Kawaguchi (2012) PCR-RFLP identifies differences in *hrpZ* sequences to distinguish two genetic groups of *Pseudomonas syringae* pv. *syringae* strains from barley and wheat with bacterial black nod. Journal of General Plant Pathology 79:51-55

〔果樹の病害〕

1. Kanadani, G., Date, H. and Nasu, H. (2000) Effect of fruazinam on white root rot of grapevine. The First Asian Conference on Plant Pathology, Peijing, China. (講要)
2. Inoue, K. and Nasu H. (2000) Occurrence of black spot of peach caused by *Alternaria alternata* (Fr) Keissler in Japan. The First Asian Conference on Plant Pathology, Peijing, China. (講要)
3. 那須英夫・大崎秀樹 (2000) 岡山県で発生したナシ粗皮病 日植病報 66(3) (講要)
4. 井上幸次・那須英夫 (2000) 数種殺菌剤のモモ黒斑病に対する残効 日植病報 66(3) (講要)
5. 井上幸次・那須英夫・粕山新二 (2001) 岡山県におけるモモ灰星病菌 (*Monilinia fructicola*) の伝染源 日植病報 67(3):248-253
6. 井上幸次・小野俊朗・那須英夫 (2001) *Dothiorella* sp によるブドウ房枯れ病の症状 日植病報 67(3):254-260
7. 井上幸次・那須英夫・粕山新二 (2001) ナシ愛宕の心腐れ症状に関与する糸状菌について 日植病報 67(2):164 (講要)
8. 那須英夫・井上幸次・粕山新二 (2001) ブドウリーフロール病の自然伝搬について 日植病報 67(2):159 (講要)
9. 金谷元・伊達寛敬・井上幸次・那須英夫・粕山新二 (2001) ブドウ白紋羽病に対するフルジオキシニル水和剤の発病抑制効果 日植病報 67(2):220 (講要)
10. 井上幸次・佐々木静江・那須英夫・粕山新二 (2002) 果実袋掛け後におけるモモ黒斑病菌の感染 日植病報 68(2) (講要)
11. H. Nasu and H. Osaki (2002) A Graft-Transmissible Disease “Sohi-byo” of Japanese Pear That Occurs in Okayama Prefecture, Japan. ACTAHORTICULTURAE587:665-668
12. K. Inoue, H. Nasu and S. Kasuyama (2002) Selection of Fruits Core Rot of Japanese pear by a Non-Destructive Inspection Machine. ACTAHORTICULTURAE587:691-693
13. 井上幸次・伊東菜美子・那須英夫 (2002) ナラタケモドキによるガラス室ブドウの衰弱枯死 日植病報 69(1) (講要)
14. H. Nasu, T. Ono and K. Inoue (2002) Symptoms of cluster rot of grape caused by *Dothiorella* sp. 8th International Congress of Plant Pathology in NZ
15. K. Inoue, H. Nasu, H. Hirota and S. Kasuyama (2002) Breeding of Peach for Black Spot Disease Resistance by Gamma Irradiation. 8th International Congress of Plant Pathology in NZ
16. 井上幸次・粕山新二 (2002) ナシ「愛宕」の心腐れに関与する糸状菌 近中四農業研究成果情報
17. 井上幸次・山本秀夫・谷名光治・佐々木静江・那須英夫 (2003) 岡山県でみられたブドウ、ノブドウうどんこ病菌の完全世代 日植病報 69(3) (講要)
18. 井上幸次・那須英夫 (2003) モモ黒斑病の発生推移と気象要因との関係 日植病報 70(1) (講要)
19. 川口章・井上幸次・那須英夫 (2003) ブドウ苗木から分離された *Agrobacterium radiobacter* biovar3 がブドウ根頭がん腫病のがん腫形成に及ぼす影響 日植病報 70(1) (講要)
20. Kawaguchi, A., H. Sawada, K. Inoue and H. Nasu (2004) Multiplex PCR for the identification of *Agrobacterium* biovar 3 strains. J. Gen. Plant Path. 71:54-59
21. 那須英夫・井上幸次 (2004) 落葉果樹病害の発生生態と防除対策 植物病の探求:153-160
22. 井上幸次 (2004) 同上 岡山県で最近問題となったモモ・ブドウ病害の発生生態とその対策 度近中四果樹研究会資料:56-59 (講要)
23. 井上幸次 (2004) 黒斑病抵抗性清水白桃の作出と省力的総合防除法への利用 第10回農作物病害虫防除フォーラム:28-32 (講要)
24. 井上幸次・那須英夫 (2004) 数種展着剤の加用が殺菌剤のモモ黒斑病に対する効果に及ぼす影響 日植病報 71(1) (講要)
25. 川口章・澤田宏之・井上幸次・那須英夫 (2004) マルチプレックスPCRによるブドウ根頭がんしゅ病菌の簡易同定 日植病報 71(3) (講要)
26. 那須英夫 (2005) 落葉果樹病害の生態解明と防除法の普及 日植病報 71(3):149-151

27. Nasu, H. (2005) Ecological studies of fruit diseases and extension of their control methods. *J. Gen. Plant Path.* 71:454-456
28. Kawaguchi A., K. Inoue and H. Nasu (2005) Inhibition of crown gall formation by *Agrobacterium radiobacter* biovar 3 strains isolated from grapevine. *J. Gen. Plant Path.* 71:422-430
29. 那須英夫 (2005) *Gloeodes pomigena*, *Zygothiala jamaicensis* 植物病原アトラス (ソフトサイエンス社) : 194, 221
30. 川口章・井上幸次・那須英夫 (2005) *Agrobacterium radiobacter* biovar 3 VAR03-1 株によるブドウ根頭がんしゅ病の抑制効果 日植病報 71(3) : 302-303 (講要)
31. 川口章・井上幸次・那須英夫 (2005) マルチプレックス PCR によるブドウ根頭がんしゅ病菌の罹病ブドウ樹からの迅速検出 日植病報 72(1) (講要)
32. 井上幸次・末永寛子・那須英夫 (2005) 黒斑病抵抗性「清水白桃RS」と薬剤散布の組合せによるモモ黒斑病の防除 日植病報 72(1) (講要)
33. 井上幸次・那須英夫 (2005) 静電噴口を用いたブドウの病害防除 日植病報 71(3) (講要)
34. 那須英夫・今田 準・井上幸次・中畝良二・島根孝典・中野正明 (2006) ブドウリーフロール病及び *Grapevine leafroll-associated virus 3* の自然伝搬 日植病報 72(3) : 143-145
35. 中畝良二・井上幸次・那須英夫・水主川桂宮・新田浩通・中野正明 (2006) 国内のブドウに発生するステムピットイングと *Rupestris stem pitting-associated virus* について 日植病報 73(1) : 68 (講要)
36. 川口章・井上幸次・那須英夫 (2006) ブドウ根頭がんしゅ病に対する非病原性 *Agrobacterium vitis* VAR03-1 株の根部浸漬接種による抑制効果 日植病報 72(4) : 308 (講要)
37. 井上幸次・末永寛子・那須英夫 (2006) ボスカリド水和剤の各種ブドウ病害に対する防除効果 日植病報 73(1) : 65 (講要)
38. 川口章・澤田宏之・一瀬勇規 (2006) rep-PCR 及び必須遺伝子の配列を用いた *Agrobacterium vitis* の分子系統解析 日植病報 73(1) : 71-72 (講要)
39. H. Nasu and K. Inoue (2006) Soil-born grapevine diseases caused by fungi in Japan. 5th international workshop on grapevine trunk diseases 2006, Davis, CA.
40. A. Kawaguchi, K. Inoue, H. Nasu (2007) Biological control of grapevine crown gall by nonpathogenic *Agrobacterium vitis* strain VAR03-1. *Journal of General Plant Pathology.* 73(2) : 133-138
41. 川口章・井上幸次 (2007) 非病原性 *Agrobacterium vitis* VAR03-1 株のブドウ根頭がんしゅ病に対する圃場での防除効果と処理条件の検討 日植病報 73(3) : 277-278 (講要)
42. 川口章・井上幸次 (2007) 拮抗微生物非病原性 *Agrobacterium vitis* VAR03-1 株のブドウ根部に対する定着性 土と微生物 61:161 (講要)
43. 川口章 (2007) ブドウ根頭がんしゅ病の遺伝子診断と生物的防除 第28回日植病関西地区若手の会要旨集
44. 川口章 (2007) ブドウ根頭がんしゅ病の遺伝子診断と生物的防除の試み 近中四病害分科会シンポジウム (講要)
45. 井上幸次・安井淑彦・那須英夫 (2007) ナシ汚果病の発生環境および薬剤散布から小袋掛けまでの日数の違いが発病に及ぼす影響 日植病報 73(3) : 196 (講要)
46. 神谷奈多紗・井上幸次・川口章 (2007) ブドウ褐斑病菌のストロビルリン系薬剤耐性菌の出現 日植病報 74(1) : 73-74 (講要)
47. 井上幸次・那須英夫 (2007) ブドウ萎縮症の解明と対策 *Lasiodiplodia theobromae* によるブドウラシオディプロディア房枯病 (新称) の発生 日植病報 74(1) : 68 (講要)
48. 井上幸次・安井淑彦・那須英夫 (2007) ナシ汚果病の発生環境と防除対策 植物防疫 61(9) : 508-510
49. Kawaguchi A., K. Inoue and Y. Ichinose (2008) Biological control of crown gall of grapevine, rose and tomato by nonpathogenic *Agrobacterium vitis* strain VAR03-1. *Phytopathology.* 98(11) : 1218-1225
50. Kawaguchi A., H. Sawada and Y. Ichinose (2008) Phylogenetic and serological analyses reveal genetic diversity of *Agrobacterium vitis* strains in Japan. *Plant Pathology.* 57(4) : 747-753
51. 川口章・井上幸次・一瀬勇規 (2008) 拮抗微生物非病原性 *Agrobacterium vitis* VAR03-1 株の拮抗作用機構に関する一考察 日植病報 75(1) : 81 (講要)
52. 川口章・澤田宏之・一瀬勇規 (2008) 我が国におけるブドウ根頭がんしゅ病菌の遺伝型とその分布 土と微生物 62:143 (講要)
53. 川口章・井上幸次 (2008) *Agrobacterium tumefaciens* biovar 1 によるブドウ根頭がんしゅ病の発生 (病原追加) 日植病報 74(3) : 253 (講要)
54. 川口章 (2008) 非病原性 *Agrobacterium vitis* によるブドウ根頭がんしゅ病の生物的防除 植物防疫 63(3) : 135-139
55. 井上幸次・神谷奈多紗・谷名光治 (2008) *Fusicoccum aesculi* Corda によるイチジク黒葉枯病 (新称) 日植病報 74(3) : 180 (講要)

56. 井上幸次・神谷奈多紗・末永寛子 (2008) イチジク株枯病に対する有効薬剤の選抜 日植病報 75(1):69 (講要)
57. 井上幸次 (2008) ひと目でわかる 果樹の病害虫—第三巻 (改訂版) モモ黒斑病、白紋羽病 日本植物防疫協会 111: 113-115
58. 井上幸次 (2008) モモ病害の防除体系におけるエビデンスメーク 日本植物病理学会 EBC研究会ワークショップ2008 (講要)
59. 井上幸次 (2008) QoI 剤耐性ブドウ褐斑病菌の発生 (岡山県の事例) 日本植物病理学会 第19回殺菌剤耐性菌研究会シンポジウム (講要)
60. Kawaguchi A. and K. Inoue. (2009) Grapevine crown gall caused by *Rhizobium radiobacter* (Ti) in Japan. Journal of General Plant Pathology. 75(3):204-212
61. Kawaguchi A. (2009) Studies on the diagnosis and biological control of grapevine crown gall and phylogenetic analysis of tumorigenic *Rhizobium vitis*. Journal of General Plant Pathology. 75(6):462-463
62. 川口章 (2009) ブドウ根頭がんしゅ病の診断と生物的防除および病原細菌の系統解析に関する研究 日植病報 75(3):155 (講要)
63. 川口章・井上幸次 (2009) ブドウから分離された *Rhizobium radiobacter* (Ti) と *R. vitis* (Ti) の病原性関連遺伝子を用いた系統解析 土と微生物 63:109 (講要)
64. 川口章 (2009) ブドウ根頭がんしゅ病の系統と生物防除に関する研究 日本植物病理学会植物細菌病談話会論文集 24:29-39
65. 川口章 (2009) 岡山県で発生した *Rhizobium radiobacter* (Ti) によるブドウ根頭がんしゅ病 植物防疫 63(11):714-718
66. 井上幸次・桐野菜美子・那須英夫 (2009) ブドウ房枯病の伝染経路に関する一考察 日植病報 75(3):205 (講要)
67. 井上幸次 (2009) ブドウ褐斑病菌 (ベンゾイミダゾール剤、QoI 剤) 植物病原菌の薬剤感受性検定マニュアルII. 日本植物防疫協会:111-113
68. 川口章 (2010) 我が国に分布する *Rhizobium* (= *Agrobacterium*) *vitis* の遺伝子型について 土と微生物 64:139 (講要)
69. 川口章 (2010) ブドウ根頭がんしゅ病の生物防除 日本植物病理学会土壌伝染病談話会レポート 25:110-117
70. 井上幸次 (2010) 最近問題となっているブドウ晩腐病および褐斑病の防除対策 落葉果樹研究会 (病害) 資料
71. 川口章・谷名光治・井上幸次 (2010) 株枯病が疑われるイチジク枯死樹の遺伝子診断法の改良 近中四農研 18:69-72
72. Akira Kawaguchi (2011) Genetic diversity of *Rhizobium vitis* strains in Japan based on multilocus sequence analysis using the sequences of *pyrG*, *recA* and *rpoD*. Journal of General Plant Pathology 77:299-303
73. Akira Kawaguchi・Koji Inoue (2011) Biological control of grapevine crown gall by nonpathogenic *Agrobacterium vitis* antagonistic strains isolated in Japan. International Union of Microbiological Societies 2011 Congress P-BA:13-16 (講要)
74. 川口章 (2011) 水温が根頭がんしゅ病菌の生存に及ぼす影響 関西病虫害研報 53:59-61
75. 川口章 (2011) 我が国で分離された *Rhizobium vitis* の必須遺伝子群を用いたマルチローカス・シークエンス解析 日植病報 78(1):57 (講要)
76. 川口章 (2011) EBC 研究会が目指す病害防除研究とは EBC 研究会誌 7:25-28
77. 菊原賢次・井上幸次 (2011) イチジク黒葉枯病菌 (*Neofusicoccum parvum*) による枝枯と果実腐敗 日植病報 77(3):165 (講要)
78. 井上幸次・森田剛成 (2011) テブコナゾール水和剤の株元灌注処理によるイチジク株枯病の防除 日植病報 77(3):161 (講要)
79. 井上幸次・中村仁 (2011) 温水点滴処理による施設ブドウ白紋羽病防除の試み 日植病報 78(1):54 (講要)
80. Akira Kawaguchi・Kenichi Kondo・Koji Inoue (2012) New antagonistic strains of non-pathogenic *Agrobacterium vitis* to control grapevine crown gall. Journal of Phytopathology 160:509-518
81. Akira Kawaguchi・Kenichi Kondo・Koji Inoue (2012) Biological control of apple crown gall by nonpathogenic *Rhizobium vitis* strain VAR03-1. Journal of General Plant Pathology 78:287-293
82. Akira Kawaguchi (2012) Biological control for grapevine crown gall. In Grapevines: Varieties, Cultivation and Management (eds) P. V. Szabo, J. Shojania Nova Science Publishers, Hauppauge, NY, USA :153-167
83. 川口章・井上幸次 (2012) 非病原性 *Rhizobium vitis* ARK-1 株によるブドウ根頭がんしゅ病の防除 土と微生物 66:51-54
84. 川口章 (2012) 岡山県におけるモモせん孔細菌病菌の優占種と遺伝的多様性について 関西病虫害研報 54:105-107
85. 川口章 (2012) 非病原性 *Rhizobium vitis* VAR03-1 株のブドウ根内部における定着性について 近中四農研 21:25-28
86. Akira Kawaguchi・Koji Inoue (2012) New antagonistic strains of nonpathogenic *Rhizobium vitis* to control grapevine crown gall. Phytopathology102(7) (Supplement) S4. 62 (講要)
87. 川口章・井上幸次 (2012) 岡山県で新たに発見されたブドウ根頭がんしゅ病に対する拮抗細菌について 日植病報 78(3):286 (講要)
88. 川口章・井上康宏 (2012) 非病原性 *Xanthomonas* 属細菌を用いたモモせん孔細菌病の生物防除 日植病報 79(1):61 (講要)
89. 川口章 (2012) ブドウ根頭がんしゅ病の拮抗細菌及び生物的防除に関する研究 平成24年度若手農林水産研究者表彰 受賞者の業績概要:5-6

90. 川口章 (2012) 土壤細菌ブドウ根頭がんしゅ病の生物的防除法の開発 第11回日本農学進歩賞受賞者講要:11-14
91. 井上幸次・金谷寛 (2012) QoI 剤耐性ブドウ褐斑病菌の発生圃場における各種薬剤及び体系防除の褐斑病に対する防除効果 日植病報 78(3):201 (講要)
92. 井上幸次 (2012) ブドウ白腐病に対する有効薬剤の選抜 日植病報 79(1):58 (講要)
93. 井上幸次 (2012) 岡山県における薬剤抵抗性マネージメント〜ブドウ褐斑病の事例を中心として〜 日本植物防疫協会シンポジウム:31-51 (講要)
94. 井上幸次 (2012) 岡山県における晩腐病研究の状況と防除対策について ブドウ晩腐病ワークショップ (講要)
95. 井上幸次 (2012) イチジク株枯病の総合防除 全農農薬関係委託試験成績書
96. 井上幸次 (2012) ブドウの主要病原菌における薬剤耐性菌対策 全農農薬関係委託試験成績書
97. Akira Kawaguchi (2013) Biological control of crown gall on grapevine and root colonization by nonpathogenic *Rhizobium vitis* strain ARK-1. *Microbes and Environments* 28:306-311
98. 川口章 (2013) 拮抗微生物を用いた生物防除 (*Agrobacterium* 属細菌) 日本土壤微生物学会編 (養賢堂):230-323
99. Akira Kawaguchi・Koji Inoue・Yasuhiro Inoue (2013) Biological control of bacterial spot on peach by nonpathogenic *Xanthomonas campestris* strains AZ98101 and AZ98106. *Journal of General Plant Pathology* 80:158-163
100. 川口章 (2013) 良質な科学的根拠創出のための現地研究 (On-farm research) について 日植病九州部会講演会及び第37回シンポジウム:12-20 (講要)
101. Akira Kawaguchi (2013) Biological control of crown gall on grape and root colonization by nonpathogenic *Agrobacterium* (*Rhizobium*) *vitis* strain ARK-1 *Phytopathology* 103 (Supplement) S2:71
102. 川口章 (2013) メタアナリシスを用いたブドウ根頭がんしゅ病の生物防除試験の評価 日本土壤微生物学会:23 (講要)
103. 川口章 (2013) モモせん孔細菌病の発病程度に関するコホート内症例対照研究 日植病報 79(3):248 (講要)
104. 川口章 (2013) モモせん孔細菌病の発病程度に影響を与える要因のロジスティック回帰 日植病報 80(1):38 (講要)
105. 川口章 (2013) ブドウ根頭がんしゅ病の新しい生物防除技術の開発 日本ブドウ・ワイン学会誌 24:73-74
106. 井上幸次・中村仁 (2013) 施設ブドウ白紋羽病に対する温水点滴処理の治療効果について 日植病報 79:201 (講要)
107. 井上幸次 (2013) 岡山県内のブドウ晩腐病菌のアゾキシストロビンに対する感受性 日植病報 80:39 (講要)
108. 井上幸次 (2013) ブドウ白紋羽病罹病樹の温水治療 果樹白紋羽病 温水治療ワークショップ 第2回:24-30、同第3回:26-34 (講要)
109. 川口章 (2013) モモせん孔細菌病の個体群構造の解析 農林水産業・食品産業科学技術研究推進事業「主要作物をキサントモナス属病害から守る新規微生物農薬の開発」事後評価報告書
110. 川口章 (2013) 非病原性 *Xanthomonas* 属細菌のモモせん孔細菌病に対する防除効果 農林水産業・食品産業科学技術研究推進事業「主要作物をキサントモナス属病害から守る新規微生物農薬の開発」事後評価報告書
111. 井上幸次 (2013) モモ果実赤点病に対する有効薬剤の選抜 全農農薬関係委託試験成績書
112. 井上幸次 (2013) ブドウの主要病原菌における薬剤耐性菌対策 全農農薬関係委託試験成績書
113. Akira Kawaguchi (2014) Genetic diversity of *Xanthomonas arboricola* pv. *pruni* strains in Japan revealed by DNA fingerprinting. *Journal of General Plant Pathology* 80:366-369
114. Akira Kawaguchi (2014) The risk factors of bacterial spot on peach in Okayama Prefecture, Japan. *Journal of General Plant Pathology* 80:435-442
115. Akira Kawaguchi (2014) Reduction of pathogen populations at grapevine wound sites is associated with the mechanism of biological control of crown gall by *Rhizobium vitis* strain ARK-1. *Microbes and Environments* 29:296-302
116. Akira Kawaguchi (2014) Reduction of pathogen populations at grapevine wound sites is associated with the mechanism of biological control of crown gall by *Agrobacterium vitis* strain ARK-1. *Phytopathology* 104 (Supplement) S3:59
117. 川口章 (2014) 非病原性 *Rhizobium vitis* ARK-1 株はブドウ根頭がんしゅ病菌の *vir* 領域の発現と菌数の増加を抑制する 日植病報 81:80 (講要)
118. 川口章・井上幸次・谷名光治 (2014) 非病原性 *Rhizobium vitis* ARK-1 株によるリンゴ、モモおよびナシ根頭がんしゅ病に対する生物防除 日植病報 80:329 (講要)
119. 川口章 (2014) 土壌病害ブドウ根頭がんしゅ病の生物的防除法の開発 環境系微生物学会合同会議・受賞記念講演:50 (講要)
120. 川口章 (2014) 圃場試験データの評価におけるメタアナリシスの活用 環境系微生物学会合同会議・土壌微生物学会 60 周年記念シンポジウム:65 (講要)
121. 井上幸次 (2014) モモ果実赤点病に対する各種殺菌剤の予防効果 日植病報 81:87 (講要)
122. 井上幸次 (2014) モモ果実赤点病に対する有効薬剤の選抜 全農農薬関係委託試験成績書
123. 井上幸次 (2014) ブドウの主要病原菌における薬剤耐性菌対策 全農農薬関係委託試験成績書

124. Akira Kawaguchi・Koji Inoue・Koji Tanina・Mizuho Nita (2017) Biological control for grapevine crown gall using nonpathogenic *Rhizobium vitis* strain ARK-1. Proc. Jpn. Acad. Ser. B 93(8):547-560
125. 妹尾真里 (2017) モモ樹の耐熱性と低温水の点滴処理による白紋羽病菌の死滅効果 日植病報 83(3):196 (講要)
126. Namiko Kirino・Akira Kawaguchi (2018) Factors affecting primary infection and spatiotemporal patterns of tomato plants naturally infected with black leaf mold in commercial greenhouses. Journal of General Plant Pathology 85(2):101-108
127. 苧坂大樹・金谷寛子・桐野菜美子・妹尾真里・井上幸次 (2019) 簡易被覆栽培におけるブドウ晩腐病の感染時期の推定 日植病報 85(3):234 (講要)
128. 金谷寛子・苧坂大樹・桐野菜美子 (2019) 果実袋外からのブドウ晩腐病の感染 日植病報 85(3):235 (講要)
129. 妹尾真里・桐野菜美子・矢尾幸世・井上幸次 (2019) モモ黒斑病に対する有効薬剤の選抜及び薬剤混用の効果 日植病報 85(3):248 (講要)
130. 苧坂大樹・金谷寛子・桐野菜美子・妹尾真里 (2019) 簡易被覆栽培ブドウの輸出向け栽培で安定した防除効果の得られる薬剤の検討 全農受託試験成績書
131. 妹尾真里・桐野菜美子・苧坂大樹・森本泰史・松岡寛之・井上幸次 (2020) モモ黒斑病に対する防除体系の検討 日植病報 86(3):186 (講要)
132. 高田真里 (2020) 岡山県におけるストレプトマイシン耐性モモせん孔細菌病菌の発生 日植病報 87(1):44 (講要)
133. 苧坂大樹・金谷寛子・桐野菜美子 (2020) 無核化・肥大処理液を介したブドウ晩腐病菌の感染の検討 日植病報 86(3):171 (講要)
134. 金谷寛子・苧坂大樹・桐野菜美子 (2020) 果実袋への殺菌剤散布が袋外からのブドウ晩腐病菌の感染に及ぼす影響 日植病報 86(3):171 (講要)
135. 苧坂大樹・金谷寛子 (2020) 無核化・肥大処理液を介したブドウ晩腐病菌の感染の検討 (2) 日植病報 87(1):32
136. 桐野菜美子・森本恭史・本荘陽一 (2020) 静電噴口を用いた走行式防除機によるブドウの病害防除 日植病報 86(3):207 (講要)
137. 苧坂大樹・金谷寛子・桐野菜美子・高田真里・畔柳泰典・井上幸次 (2021) ブドウ晩腐病に対するマンゼブ剤及びフルジオキソニル剤を用いた体系防除の有効性 日植病報 87(3):202 (講要)
138. (2021) 岡山県のモモ・ブドウで発生する主な病害について 果樹共済 (ぶどう) 損害評価研修会 (配布資料)
139. 苧坂大樹 (2021) 簡易被覆栽培で発生するブドウ晩腐病に対する袋掛け後の薬剤散布の防除効果の検討 全農受託試験成績書
140. Akira Kawaguchi, Namiko Kirino and Koji Inoue (2022) Biological Control for Grapevine Crown Gall Evaluated by a Network Meta-Analysis. Plants 12:572
141. 井上幸次 (モモ 6 病害)・桐野菜美子 (モモ 1 病害) (2022) ルーラル電子図書館 病害虫・雑草データベース 農文協 (電子出版)
142. 井上幸次 (2022) WEB 版防除ハンドブック モモの病害虫 (黒斑病ほか 7 病害) 全国農村教育協会 (電子出版)
143. 桐野菜美子・苧坂大樹・川上敦子 (2022) モモ圃場周辺に自生する雑草へのモモ胴枯細菌病菌 (急性枯死症) *Dickeya dadantii* の病原性及び検出状況 日植病報 88(3):201 (講要)
144. 川上敦子・桐野菜美子・苧坂大樹・佐々木郁哉・森次真一・水田有亮 (2022) モモ胴枯細菌病 (急性枯死症) に関する岡山県の取り組み 果樹病害研究会:40 (講要)
145. 川上敦子・桐野菜美子・苧坂大樹・佐々木郁哉・森次真一・水田有亮 (2022) モモ胴枯細菌病 (急性枯死症) に関する岡山県の取り組み 近中四病害虫推進部会病害分科会:21 (講要)
146. 苧坂大樹・金谷寛子 (2022) 簡易被覆栽培におけるブドウ晩腐病菌の飛散消長 日植病報 88(3):232 (講要)
147. 薬師寺賢・苧坂大樹 (2022) 岡山県のブドウで発生する主な病害虫について 果樹共済 (ぶどう) 損害評価現地研修会 (講要)
148. 苧坂大樹・川上敦子・桐野菜美子 (2022) ブドウ晩腐病に対するイプフルフェノキソニル剤を用いた体系防除の有効性 近中四病害虫推進部会病害分科会:19 (講要)
149. 苧坂大樹 (2022) 岡山県におけるブドウ主要病害の薬剤耐性菌の発生とその防除対策 第 32 回殺菌剤耐性菌研究会シンポジウム (講要)
150. 井上幸次 (2022) 岡山県における果樹の難防除病害との戦い (ブドウ白紋羽病を例として) 果樹病害研究会 (講要)
151. 井上幸次 (2022) 岡山県における果樹病害との戦い (モモ黒斑病を事例として) 第 53 回岡山病理セミナー (講要)
152. 苧坂大樹 (2022) 簡易被覆栽培ブドウにおける主要病害に効果的な防除体系の検討 全農受託試験成績書
153. 川上敦子・高田真里・桐野菜美子・金谷寛子・戸田武 (2023) *Rhizoctonia solani* AG-1 I B によるモモくもの巢病 (新称) 日植病報 89(2):77-80
154. 桐野菜美子・川上敦子 (2023) モモ胴枯細菌病菌の樹体内分布と残渣における越冬状況 日植病報 89(3):184 (講要)
155. 川上敦子・桐野菜美子・苧坂大樹 (2023) モモ圃場周辺に自生する雑草へのモモ胴枯細菌病菌 (急性枯死症) *Dickeya dadantii*

の病原性及び検出状況 (第2報) 日植病報 89(3):185 (講要)

156. 苧坂大樹・川上敦子・桐野菜美子 (2023) ブドウ晩腐病に対するイプフルフェノキンをを用いた体系防除の有効性 日植病報 89(3):201 (講要)
157. 桐野菜美子 (2023) モモ胴枯細菌病菌に対する熱水処理における死滅温度条件 日植病報 90(1):37 (講要)
158. 桐野菜美子 (2023) モモ胴枯細菌病菌に対する熱水処理における死滅温度条件 果樹病害研究会:21 (講要)
159. 桐野菜美子 (2023) モモ胴枯細菌病の対策技術開発に向けた取り組み状況と今後の課題 第9回生態と防除研究会:16-18 (講要)
160. 川上敦子 (2023) モモに発生したくもの巣症状の要因解明に向けた取り組み 第9回生態と防除研究会:19-20 (講要)
161. 苧坂大樹・金谷寛子・桐野菜美子・井上幸次・高田真里 (2023) 簡易被覆栽培ブドウにおける晩腐病菌の発生生態の解明 果樹病害研究会:21 (講要)
162. 苧坂大樹 (2023) 簡易被覆栽培ブドウにおける主要病害に効果的な発芽前防除薬剤の検討 全農受託試験成績書
163. Akira Kawaguchi, Namiko Kirino, Koji Inoue, Yoshiteru Noutoshi (2024) Biological control for grapevine crown gall through soil injection with *Allorhizobium vitis* strain ARK-1. Eur. J. Plant Pathol. 170:479-489
164. 桐野菜美子・森次 真一 (2024) 罹病残渣の分解によるモモ胴枯細菌病残存リスク低減の可能性 日植病報 90(3):188 (講要)
165. 川上敦子・桐野菜美子・井上幸次 (2024) モモ樹周辺環境におけるモモ胴枯細菌病菌の生存状況 日植病報 90(3):210 (講要)
166. 苧坂大樹・鷺尾建紀・石井恵 (2024) ブドウ貯蔵病害に対するカラシ抽出物分包装剤の有効性 日植病報 91(1):30 (講要)
167. 川上敦子・桐野菜美子・苧坂大樹・高田真里 (2024) モモ胴枯細菌病の発生要因の探索と土壌水分が発生に及ぼす影響 令和6年度日植病関西西部会 日植病報 91(1):35 (講要)
168. 桐野菜美子・苧坂大樹・川上敦子・高田真里・佐々木郁哉・吉村諒介・水田有亮・大家理哉・森次真一 (2024) モモ胴枯細菌病菌 (急性枯死症) の発生要因の解明と対策技術開発の試み 土壤伝染病談話会レポート 31:29-36 (講要)
169. Namiko Kirino, Daiki Osaka, Atsuko Kawakami, Mari Takata, Yusuke Mizuta, Masaya Ooya, Shinichi Moritsugu (2024) Efforts to elucidate the causes of peach bacterial canker caused by *Dickeya dadantii*. Korea-Japan Joint Symposium on Plant Pathology 5:32-33 (講要)
170. 桐野菜美子 (2024) モモにおける急性枯死症の発生とその対策 果樹病害研究会:1 (講要)
171. 苧坂大樹 (2024) 簡易被覆栽培ブドウにおける主要病害に効果的な発芽前防除薬剤の検討 全農受託試験成績書

〔野菜・花きの病害〕

1. 伊達寛敬・那須英夫 (2000) 休耕がナス青枯病の発病に及ぼす影響 日植病報 66(3) (講要)
2. 谷名光治・伊達寛敬・粕山新二 (2000) *Peronospora* 属菌によるラークスパーク (チドリソウ) ベト病 (新称) 日植病報 66(2) (講要)
3. 谷名光治・井上幸次・伊達寛敬・花田薫・奥田充・那須英夫・粕山新二 (2000) *Impatiens necrotic spot tospovirus* (INSV) によるシネリア・インパチエンスのえそ斑紋病 (新称) 日植病報 66(2) (講要)
4. 谷名光治 (2000) シネリアの新しいウイルス病「えそ斑紋病 (新称)」 近畿中国地域における新技術第34号:51-54
5. 谷名光治・飛川光治・久保紀子・那須英夫・粕山新二 (2001) 岡山県に発生したナス枝枯症状 日植病報 67(2):166 (講要)
6. 粕山新二ら (2001) *Macrophomina phaseolina* (Tasii) Goid. によるスイカ、メロン及びキュウリの炭腐病 (新称) 日植病報 67(2):170 (講要)
7. 粕山新二・伊達寛敬 (2001) 農林水産研究文献解題「野菜の病害」
8. 伊達寛敬・谷名光治・那須英夫・粕山新二 (2001) 促成栽培ナス青枯病に対する抵抗性台木「台太郎」の効果について 日植病報 68(1):95 (講要)
9. 伊達寛敬・片岡英子・谷名光治・井上幸次・那須英夫・粕山新二 (2001) トマト褐色輪紋病菌のチオブアネートメチルに対する感受性について 日植病報 68(1):82 (講要)
10. 谷名光治・粕山新二・伊達寛敬・東條元昭 (2001) 岡山県のチンゲンサイに発生した腐敗症状とその病原菌について 日植病報 68(1):77 (講要)
11. 粕山新二・谷名光治・伊達寛敬 (2001) チンゲンサイ腐敗症の発生における *Pythium* spp. と軟腐病菌の関係 日植病報 68(1):77 (講要)
12. K. Tanina, K. Inoue, H. Nasu and S. Kasuyama (2001) Plant Disease Forecast. Necrotic spot disease of cineraria caused by INSV. KSPP International Conference. South Korea, (Summary)
13. 谷名光治・井上幸次・伊達寛敬・奥田充・花田薫・那須英夫・粕山新二 (2001) インパチエンスネクロティックスポットウイルスによるシネリアえそ斑紋病 日植病報 67(1):42-45
14. 谷名光治・東條元昭・那須英夫・粕山新二 (2002) 岡山県のチンゲンサイ軟腐症症状株から分離された *Pythium* spp. 日植病報 68(2) (講要)

15. 伊達寛敬・片岡英子・佐々木静江・谷名光治・井上幸次 粕山新二 (2002) 岡山県におけるキュウリ褐斑病菌のアゾキシストロビンに対する感受性について 日植病報 68(2) (講要)
16. 片岡英子・伊達寛敬・谷名光治・佐々木静江・井上幸次・粕山新二 (2002) トマト褐色輪紋病菌、キュウリ褐斑病菌のチオファネートメチル、ジエトフェンカルブに対する感受性について 日植病報 68(2) (講要)
17. 伊達寛敬・片岡英子・粕山新二 (2002) 薬剤耐性コリネスポラ菌(トマト)褐色輪紋病菌、キュウリ褐斑病菌に対する予防薬剤 平成 14 年度近中四農業研究成果情報
18. 佐々木静江・川口章・伊東奈美子・井上幸次・谷名光治・伊達寛敬・石井英夫・那須英夫 (2003) ストロビルリン系薬剤使用中後のキュウリ褐斑病菌の薬剤感受性について 日植病報 69(3) (講要)
19. 伊達寛敬・片岡英子・谷名光治・佐々木静江・井上幸次・那須英夫・粕山新二 (2003) チオファネートメチル及びジエトフェンカルブに対するトマト褐色輪紋病菌(*Corynespora cassicola*)の感受性 日植病報 70(1) (講要)
20. 伊達寛敬・片岡英子・谷名光治・佐々木静江・井上幸次・那須英夫・粕山新二 (2003) 岡山県におけるチオファネートメチル、ジエトフェンカルブ及びアゾキシストロビンに対するキュウリ褐斑病菌の感受性 日植病報 70(1) (講要)
21. 川口章・井上幸次・久保田真弓・百町満朗・那須英夫 (2004) *Rhizoctonia solani* によるトウガン実褐斑病 (新称) 日植病報 71(1) (講要)
22. 佐々木静江・井上幸次・那須英夫 (2004) 岡山県に発生したエンダイブ菌核病について 日植病報 70(3) (講要)
23. 伊東菜美子・粕山新二・谷名浩治・那須英夫 (2004) *Phoma exigua* Desmazières 及び *Phoma* sp. によるゴボウ根黒斑病 (仮称) 日植病報 70(3) (講要)
24. 井上幸次・伊東菜美子・谷名光治・那須英夫 (2004) *Alternaria* sp. によるポインセチア褐斑病 (新称) 日植病報 70(3) (講要)
25. 伊東菜美子・井上幸次・那須英夫 (2005) イチゴ疫病に対する品種差異と薬剤の防除効果 日植病報 71(3) (講要)
26. 末永寛子・川口章・佐々木静江・井上幸次・那須英夫 (2005) *Pseudomonas cichorii* によるエンダイブ腐敗病 (新称) の発生 日植病報 72(1) (講要)
27. Chiwaki, K., S. Nagamori and Y. Inoue (2005) Predicting bacterial wilt disease of tomato plants using remotely sensed thermal imagery. *J. Agric. Meteorol.*, 61(3):153-163
28. 佐々木静江・井上幸次・多賀正節・那須英夫 (2006) *Sclelotinia sclerotiorum* によるエンダイブ菌核病 日植病報 72(3):150-153
29. 末永寛子・桐野菜美子・井上幸次 (2006) 炭酸水素塩剤への脂肪酸グリセリド乳剤の混用が野菜類うどんこ病に及ぼす影響 日植病報 73(1):65-66 (講要)
30. 川口章・井上幸次・久保田真弓・百町満朗・那須英夫 (2007) *Rhizoctonia solani* AG-4 HG-I によるトウガン褐色あざ病 (新称) 日植病報 73(2):114-116
31. 川口章・谷名光治・井上幸次 (2007) 岡山県におけるトマトかいよう病菌の rep-PCR DNAフィンガープリント解析 日植病報 74(1):76 (講要)
32. M. Tanaka, K. Tanina, S. Kasuyama T. Usugi (2007) Occurrence of rocket larkspur witches' broom caused by "Candidatus Phytoplasma asteris" in Japan. *Journal of General Plant Pathology.* 73(4):286-289
33. 谷名光治・川口章・井上幸次 (2007) ImmunoStripTMCmm を用いた残根からのトマトかいよう病菌の検出・分離方法 日植病報 73(3):268 (講要)
34. 谷名光治・川口章・井上幸次 (2007) ImmunoStripTMCmm を組み合わせた低濃度菌液からのかいよう病菌の検出・分離 日植病報 74(1):76-77 (講要)
35. 末永寛子・川口章・佐々木静江・井上幸次・那須英夫 (2007) *Pseudomonas cichorii* によるエンダイブ腐敗病 (新称) 日植病報 73(3):172-174
36. 末永寛子・井上幸次・谷名光治 (2007) *Colletotrichum acutatum* によるトマト炭疽病の発生 (病原菌追加) 日植病報 74(1):68-69 (講要)
37. 谷名光治・川口章・井上幸次 (2008) 岡山県の雨よけ夏秋トマトにおけるトマトかいよう病の伝染環解明への取り組み 土壌伝染病談話会レポート 24:107-116
38. Kirino N., K. Inoue, K. Tanina and Y. Yamazaki, S. T. Ohki (2008) *Turnip yellow mosaic virus* isolated from Chinese cabbage in Japan. *Journal of General Plant Pathology.* 74(4):331-334
39. 粕山新二・桐野菜美子・谷名光治・那須英夫 (2008) *Phoma exigua* Desm. var. *exigua* によるゴボウ根黒斑病 (新称) 日植病報 74(4):343-345
40. Kawaguchi A., K. Tanina and K. Inoue. (2009) Molecular typing and spread of *Clavibacter michiganensis* subsp. *michiganensis* in greenhouses in Japan. *Plant Pathology.* 59(1):76-83
41. 川口章 (2009) トマト褐色輪紋病菌 (ベンゾイミダゾール剤, ジエトフェンカルブ剤) 植物病原菌の薬剤感受性検定マニュアル

II. 日本植物防疫協会. 76-78

42. 川口章・谷名光治・井上幸次 (2009) 岡山県の雨除け栽培で発生するトマトかいよう病の発病株の空間分布解析 日植病報 75(1):68 (講要)
43. Liu Y., A. Kanda, K. Yano, A. Kiba, Y. Hikichi, M. Aino, A. Kawaguchi, S. Mizoguchi, K. Nakaho, H. Shiomi, Y. Takikawa and K. Ohnishi (2009) Molecular typing of Japanese strains of *Ralstonia solanacearum* in relation to the ability to induce a hypersensitive reaction in tobacco. Journal of General Plant Pathology. 75(5):369-380
44. 末永寛子・桐野菜美子・谷名光治 (2009) 汚染培土および罹病株クラウンにおけるイチゴ炭疽病菌の死滅温度条件 日植病報 75(3):188 (講要)
45. 川口章 (2010) 雨除け栽培で発生するトマトかいよう病の疫学的解析による伝染源の解明 北陸・生産環境部会技術研究会病害虫合同研究会資料:8 (講要)
46. 川口章 (2010) 雨除け栽培で発生するトマトかいよう病の疫学的解析による伝染源の解明—分子タイピングと空間分布解析の応用— EBC (Evidence-based Control) 研究会誌 8:1-10
47. 川口章 (2010) 雨除け栽培で発生するトマトかいよう病の疫学的解析による伝染源の解明 植物防疫 64(10):647-652
48. 川口章・神谷奈多紗・金谷寛子・井上幸次 (2010) 雨除け栽培で発生するトマトかいよう病に対する土壌消毒と地上部伝染防止対策の防除効果 近中四農研 18:13-17
49. 川口章・末永寛子 (2010) 雨除け栽培で発生するトマト葉かび病の発病株の空間分布解析 日植病報 76(1):162 (講要)
50. 飛川光治・谷名光治 (2011) プランター式養液土耕栽培における循環培養液の緩速ろ過処理がトマト青枯病の伝染に及ぼす影響 園芸学会中四国支部要旨 50:23
51. 川口章・谷名光治 (2011) 栽培環境で異なる病徴を呈するトマトかいよう病菌の病原性について 関西病虫害研報 53:57-58
52. 谷名光治・川口章 (2011) ImmunoStrip™Cmm を利用したトマトかいよう病菌の簡易な分離方法 日植病報 77:287-290
53. 金谷寛子・川口章・井上幸次 (2011) *Sclerotinia sclerotiorum* によるチコリー菌核病 (新称) の発生 日植病報 77:167 (講要)
54. 谷名光治・金谷寛子 (2011) 薬剤防除によって飛散するイチゴ炭疽病菌の2次伝染防止技術 日植病報 77(3):224 (講要)
55. 谷名光治・川口章 (2011) トマトかいよう病及び青枯病発病株の処分方法が隣接株への伝染に及ぼす影響 日植病報 78(1):54 (講要)
56. Akira Kawaguchi・Koji Tanina・Koji Inoue (2012) Spatiotemporal distribution of tomato plants diseased with bacterial canker in naturally infected greenhouses. Journal of General Plant Pathology 79:46-50
57. 安部順一郎・世古智一・飛川光治・網島健司 (2012) 景観植物を利用した植生管理による害虫管理の可能性 近中四生産環境推進部会病害虫分科会 (講要)
58. Akira Kawaguchi・Koji Tanina・Koji Inoue (2012) Epidemiological study of tomato bacterial canker in greenhouses in Japan. The 2nd Korea-Japan Joint Symposium:25 (講要)
59. 谷名光治・川口章 (2012) トマトかいよう病及び青枯病発病株の処分方法が隣接株への伝染に及ぼす影響 日植病報 78(3):288 (講要)
60. 畔柳泰典・井上幸次 (2012) 岡山県内で採取したナスすすかび病菌のDMI 及びストロビリン系薬剤に対する感受性 日植病報 79(1):58 (講要)
61. 谷名光治・川口章 (2012) トマトかいよう病及び青枯病発病株の採取跡への熱水による局所土壌消毒の効果について 日植病報 79(1):60 (講要)
62. 畔柳泰典・井上幸次 (2013) 岡山県で発生したトリフルミゾールおよびアズキシストロビンに対する多剤耐性ナスすすかび病菌と有効薬剤 近中四農研 23:9-13
63. 谷名光治・川口章 (2013) トマト青枯病汚染圃場への熱水による局所土壌消毒範囲と土壌伝染抑制効果について 日植病報 79(3):256 (講要)
64. 川口章 (2013) トマトかいよう病の疫学的解析による伝染源の解明とその根拠に基づいた防除 日本学術会議公開シンポジウム:6-9 (講要)
65. Akira Kawaguchi・Hiroko Suenaga-Kanetani (2014) Spatiotemporal distribution of tomato plants naturally infected with leaf mold in commercial greenhouses. Journal of General Plant Pathology 80:430-434
66. Akira Kawaguchi・Koji Tanina (2014) Genetic groups of *Clavibacter michiganensis* subsp. *michiganensis* identified by DNA fingerprinting and the effects of inoculation methods on disease development. Journal of Plant Pathology 140:399-406
67. 桐野菜美子・川口章 (2014) 夏秋雨除け栽培トマトのすすかび病が発病に至る環境要因と発病株の空間分布解析 日植病報 81(1):75 (講要)
68. 畔柳泰典・井上幸次 (2014) 岡山県におけるアスパラガス茎枯病菌のベンズイミダゾール系薬剤に対する感受性 日植病報

- 81(1):86-87 (講要)
69. 谷名光治 (2014) 診断の困難な病害に出会ったとき「岡山県の事例」 第36回岡山植物病理セミナー (講要)
70. 桐野菜美子・川口章 (2015) 夏秋雨除けトマト栽培における農業用資材へのすすかび病菌分生子の付着と越冬状況 日植病報 81(3):228-229 (講要)
71. 畔柳泰典・井上幸次・高津あさ美 (2015) キュウリ褐斑病耐病性品種SR22の耐病性の評価 日植病報 81(3):247 (講要)
72. 桐野菜美子・川口章 (2015) 夏秋雨除けトマト栽培ハウスにおける農業用資材の消毒によるすすかび病の抑制 日植病報 82(1):58 (講要)
73. 畔柳泰典・井上幸次 (2015) 岡山県内で採集したキュウリ褐斑病菌の各種薬剤に対する感受性 日植病報 82(1):57-58 (講要)
74. 金谷寛子 (2015) トマト葉腐病の防除対策の検討 全農農薬関係委託試験成績書
75. 金谷寛子 (2016) トマト葉腐病の有効薬剤の選抜 日植病報 82(3):240 (講要)
76. 金谷寛子・矢尾幸世・谷名光治 (2016) *Xanthomonas sp.*によるチコリー斑点細菌病(新称)の発生 日植病報 83(1):61 (講要)
77. 畔柳泰典 (2016) 岡山県における殺菌剤耐性菌の対策 第26回殺菌剤耐性菌研究会シンポジウム:1-11 (講要)
78. 畔柳泰典 (2016) キュウリ褐斑病耐病性品種の耐病性の評価と薬剤防除体系の検討 日植病報 82(3):243 (講要)
79. 畔柳泰典・矢尾幸世 (2017) チオファネートメチル・ジエトフェンカルブ耐性キュウリ褐斑病菌に対するジエトフェンカルブ・チオファネートメチル水和剤(D・T剤)の防除効果 日植病報 83(3):210 (講要)
80. Namiko Kirino・Akira Kawaguchi (2018) Factors affecting primary infection and spatiotemporal patterns of tomato plants naturally infected with black leaf mold in commercial greenhouses. *Journal of General Plant Pathology* 85(2):101-108
81. 矢尾幸世・桐野菜美子・苧坂大樹・畔柳泰典 (2018) 多剤耐性キュウリ褐斑病菌に対するマンゼブ水和剤と耐病性品種を用いた体系防除の有効性 日植病報 84(3):220 (講要)
82. 桐野菜美子・畔柳泰典・川口章 (2018) 夏秋雨除けトマト栽培におけるトマトすすかび病の防除適期 日植病報 84(3):242 (講要)
83. 矢尾幸世・桐野菜美子・苧坂大樹・畔柳泰典 (2018) キュウリ褐斑病防除におけるマンゼブ水和剤への展着剤加用が果実汚れ軽減効果と防除効果へ与える影響 日植病報 85(1):80 (講要)
84. 矢尾幸世・金谷寛子・桐野菜美子・澤田宏之・川口章 (2019) *Rhizobium radiobacter*(Ti)によるシュンギク根頭がんしゅ病(新称)の発生 日植病報 85(3):306 (講要)
85. 金谷寛子・矢尾幸世 (2019) 薬剤耐性トマト灰色かび病菌に対する有効薬剤の選抜 全農委託試験成績書
86. 矢尾幸世・金谷寛子・桐野菜美子 (2021) 岡山県におけるトマト灰色かび病菌の各種薬剤に対する感受性 日植病報 87(3):164 (講要)
87. 矢尾幸世・金谷寛子・桐野菜美子 (2021) 岡山県における多剤耐性トマト灰色かび病菌に対する有効薬剤の選抜 日植病報 88(1):59 (講要)
88. 畔柳泰典・井上幸次 (2022) 岡山県における2000年代以降のキュウリ褐斑病菌の薬剤感受性の変化 関西病虫研報 64:101-104
89. Akira Kawaguchi, Shoya Kitabayashi, Koji Inoue and Koji Tanina (2022) An HLD Model for Tomato Bacterial Canker Focusing on Epidemics of the Pathogen Due to Cutting by Infected Scissors. *Plants* 11:2253
90. 矢尾幸世・金谷寛子・桐野菜美子 (2022) 岡山県におけるイチゴ炭疽病菌のアゾキシストロビン剤及びピリベンカルブ剤に対する感受性 日植病報 88(3):228 (講要)
91. 矢尾幸世 (2022) 岡山県におけるアスパラガス褐斑病のQoI剤に対する感受性 中国四国ブロック病害虫防除所職員等研修会 (講要)
92. 畔柳泰典・桐野菜美子・矢尾幸世 (2023) 高倍率(50×)ルーペを用いたキュウリの斑点性病害の見分け方 植物防疫 77:40-44
93. 矢尾幸世 (2023) 岡山県におけるアゾキシストロビン耐性アスパラガス褐斑病菌の発生と有効薬剤の選抜 日植病報 89(3):166 (講要)
94. 矢尾幸世 (2023) 岡山県における園芸作物の耐性菌モニタリングの実施例～アスパラガス褐斑病菌～ 第9回生態と防除研究会:24-26 (講要)
95. 矢尾幸世 (2023) 温度及び湿度がアスパラガス褐斑病菌の生育及び発病に及ぼす影響 日植病報 90(1):39 (講要)
96. 畔柳泰典 (2023) リンドウ褐斑病菌の薬剤感受性検定 温度及び湿度がアスパラガス褐斑病菌の生育及び発病に及ぼす影響 近中四病害虫推進部会 (講要)
97. Namiko Kirino・Akira Kawaguchi (2024) Chemical decontamination of greenhouses to control tomato black leaf mold. *JGPP* 91:176-185
98. 畔柳泰典・桐野菜美子・井上幸次 (2024) キュウリ炭疽病に対する降雨期間中の薬剤散布による防除効果 近中四病害虫試験研究推進部会:14 (講要)
99. 矢尾幸世 (2024) 展着剤加用がアスパラガス褐斑病菌防除薬剤の効果に及ぼす影響 日植病報 90(3):164 (講要)

(2) 害 虫

〔イネの害虫〕

1. 永井一哉 (2000) 中国地方水田での「ただの虫」研究についての私見 第44回応動昆虫小集会 (講要)
2. 千脇健司 (2001) ラジコンヘリ空撮写真の画像解析による水稻病害虫の被害推定II. イネツトムシ株当たりツト数と空撮画像バンド間演算値との関係 関西病虫研報 43:63-64
3. 千脇健司・金谷元 (2001) ラジコンヘリ空撮写真の画像解析による水稻病害虫の被害推定III. コブノメイガおよび穂いもちの被害量と空撮画像バンド間演算値との関係 関西病虫研報 43:65-66
4. 長森茂之・千脇健司 (2001) 岡山県中北部地域での「あきたこまち」、「コシヒカリ」における割れ粒と斑点米との関係 第46回応動昆虫 (講要)
5. 長森茂之・千脇健司 (2002) 三化螟虫と岡山県における分布 岡山農試時報 388:6-12
6. 近藤章・田中律子 (2007) 岡山県におけるスクミリンゴガイの発生動向と冬季気温による発生量の予察 応動昆虫中国支部・日本昆虫学会中国支部合同例会 (講要)

〔麦類, 豆類, 特用作物の害虫〕

1. 永井一哉 (2003) タイズ害虫フタスジヒメハムシの生態と防除 近中四育種栽培研究会 (講要)
2. 永井一哉・坪井昭正 (2005) フタスジヒメハムシの産卵・孵化に及ぼす温、湿度、土壌水分の影響 応動昆虫中国支部会報 47:25-31
3. 永井一哉 (2010) フタスジヒメハムシによるダイズ根粒への加害が収量に及ぼす影響 応動昆虫中国支部会報 52:1-8
4. 永井一哉・坪井昭正 (2010) フタスジヒメハムシ幼虫および蛹の発育期間 応動昆虫中国支部会報 52:9-14

〔果樹の害虫〕

1. 近藤章 (2000) 温室ブドウのカンザワハダニに対する殺ダニ剤とDMT P水和剤との混用による防除効果の向上 近畿中国地域における新技術第34号:43-44
2. 佐野敏広・近藤章 (2001) 温室ブドウにおけるハダニ類の土着天敵の種類と発生状況 第46回応動昆虫 (講要)
3. 佐野敏広・近藤章 (2002) 温室ブドウにおけるハダニ類の土着天敵の種類と発生状況 第47回応動昆虫 (講要)
4. 佐野敏広 (2003) ミヤコカブリダニを利用した施設加温栽培ブドウのハダニ類防除 第48回応動昆虫 (講要)
5. 千脇健司・近藤章・岡鐵雄 (2003) 岡山県におけるスギ・ヒノキ花粉飛散数を利用した果樹カメムシ類の発生量予測 応動昆虫中国支部会 (講要)
6. Ashihara, W., A. Kondo, M. Shibao, H. Tanaka, K. Hiehata and K. Izumi (2004) REVIEW Ecology and control of eriophyid mites injurious to fruit trees in Japan. *JARQ* 38:31-41
7. Kondo, A. (2004) Colonizing characteristics of two phytoseiid mites, *phytoseiulus persimilis* Athias-Henriot and *Neoseiulus womersleyi* (Schicha) (Acari:Phytoseiidae) on greenhouse grapevine and effects of their release on the kanzawa spider mite, *Tetranychus kanzawai* Kishida (Acari:Tetranychidae). *Appl. Entomol. Zool.* 39:643-649
8. 近藤章 (2004) ブドウ コナカイガラムシ類、ハダニ類 農業総覧病害虫防除・資料編 追録第9号 (農文協)
9. 佐野敏広 (2004) ブドウ アカガネサルハムシ 農業総覧病害虫防除・資料編 追録第9号 (農文協)
10. 佐野敏広 (2004) ブドウ コナカイガラムシ類、アカガネサルハムシ、トビイロトラガ、モンキクロノメイガ、ブドウトリハ類、チャノコカクモンハマキ、ドウガネブイブイ、ブドウツヤコガ 原色病害虫百科:第2版
11. 近藤章 (2004) モモ モモサビダニ 岡山農試時報 農業総覧病害虫防除・資料編 追録第9号 (農文協)
12. 近藤章 (2004) モモ モモサビダニ 原色病害虫百科 第2版 (農文協)
13. 佐野敏広 (2004) モモ ナミハダニ、カンザワハダニ、クワオオハダニ、ナシヒメシンクイ 原色病害虫百科 第2版 (農文協)
14. 千脇健司・近藤章 (2004) 性フェロモントラップを利用したモモノゴマダラノメイガのモニタリング 第49回応動昆虫 (講要)
15. 佐野敏広・近藤章 (2004) 温室ブドウの鱗翅目害虫に対する黄色蛍光灯の防除効果 第49回応動昆虫 (講要)
16. 佐野敏広・近藤章 (2004) 岡山県のブドウ・ナシに発生するハダニ類の薬剤感受性 応動昆虫中国支部・日本昆虫学会中国支部合同例会 (講要)
17. 佐野敏広 (2004) 天敵を活用した施設ブドウのハダニ類防除 第9回農林害虫防除研究会 (講要)
18. 佐野敏広 (2005) 天敵および性フェロモンを利用したブドウの減農薬栽培について 近中四果樹研究会 (講要)
19. 佐野敏広 (2005) 岡山県におけるモモの防除体系の変化と問題点 落葉果樹研究会 (講要)
20. 近藤章 (2005) 温室ブドウにおける2種カブリダニの定着性とカンザワハダニに対する放飼い効果 植物防疫59(4):13-16

21. 近藤章 (2005) 総合防除の考え方と実際 農業総覧病害虫防除・資料編 追録第11号 (農文協)
22. 近藤章・荒川昭弘・望月文昭・永田健二 (2005) モモ園に発生するモモノゴマダラノメイガのフェロモントラップ捕獲効率の地理的傾斜と合成性フェロモン再検討の試み 第50回応動昆 (講要)
23. 千脇健司・佐野敏広 (2005) モモノゴマダラメイガ若齢幼虫に対する各種殺虫剤のモモ果実での残効性 第50回応動昆 (講要)
24. 佐野敏広 (2006) 黄色灯を利用したブドウの鱗翅目害虫の防除 第51回応動昆 (講要)
25. 近藤章・千脇健司 (2006) 性フェロモントラップを利用したモモノゴマダラノメイガの効率的防除 応動昆中国支部・日本昆虫学会中国支部合同例会 (講要)
26. 近藤章・望月文昭 (2006) モモノゴマダラノメイガに対する交信かく乱剤の防除効果: モモ園におけるディスプレイ高密度・小規模処理 第51回応動昆 (講要)
27. 佐野敏広・長森茂之 (2007) モモノゴマダラノメイガに対する黄色灯の防除効果 第52回応動昆 (講要)
28. 高馬浩寿 (2012) カルタップ水溶剤の散布回数及びブドウ樹の過去の被害状況がクビアカスカシバ幼虫の防除効果に及ぼす影響 第57回応動昆要旨集
29. 高馬浩寿 (2012) 岡山県におけるブドウのクビアカスカシバの発生生態の解明と防除対策の確立 近中四果樹研究会 (講要)
30. 薬師寺賢 (2014) ブドウ果粒におけるネギアザミウマによる加害と果頂部被害 (褐点病) との関係 中四病害虫防除所職員等研修会 (講要)
31. 薬師寺賢・佐野敏広・高馬浩寿 (2014) ブドウ果粒におけるネギアザミウマによる加害と果頂部被害 (褐点病) との関係 第58回応動昆: 41 (講要)
32. 薬師寺賢・佐野敏広 (2015) ネギアザミウマ放虫によるブドウ果粒果頂部の被害状況 第59回応動昆: 58 (講要)
33. 薬師寺賢 (2015) ブドウのネギアザミウマに効率的な防除対策 全農農薬関係委託試験成績書
34. 薬師寺賢 (2017) ブドウ果粒果頂部を加害するネギアザミウマの防除時期の検討 第61回応動昆: 13 (講要)
35. 高馬浩寿 (モモ害虫4種)・薬師寺賢 (モモ害虫2種) (2022) ルーラル電子図書館 病害虫・雑草データベース (農文協電子出版)
36. 難波加奈 (2019) 岡山県における施設ブドウのクワコナカイガラムシ越冬世代幼虫発生時期と有効薬剤の選抜 第63回応動昆: 18 (講要)
37. 薬師寺賢 (2022) 施設ブドウでのスワルスキーカブリダニバンカーシートのチャノキイロアザミウマに対する効果 全農委託試験成績書
38. 薬師寺賢 (2023) 施設ブドウにおけるスワルスキーカブリダニバンカーシートを用いたチャノキイロアザミウマ防除効果 全農委託試験成績書
39. 薬師寺賢・南康隆 (2024) 加温作型ブドウにおけるチャノキイロアザミウマ被害低減対策 第28回農林害虫防除研究会: 17 (講要)

〔野菜・花きの害虫〕

1. Nagai K. and E. Yano (2000) Predation by *Orius sauteri* (Poppius) (Heteroptera: Anthocoridae) on *Thrips palmi* Karny (Thysanoptera: Thripidae): Functional Response and Selective predation. Appl. Entomol. Zool. 35:565-574
2. 永井一哉 (2000) 捕食性天敵ヒメハナカメムシによるアザミウマの防除 農業および園芸 76:148-151
3. 永井一哉・伊達寛敬 (2000) 防風用ソルゴー及び土着天敵を利用した露地ナスのミナミキイロアザミウマ防除 近畿中国地域における新技術第34号:45-46
4. 長森茂之・粕山新二・近藤章・筒井政道・杉本和昭 (2001) ダイコンのキスジノミハムシに対する薬剤の防除効果 応動昆中国支部会 (講要)
5. 永井一哉 (2001) 露地ナスにおけるミナミキイロアザミウマの総合的害虫管理体系の確立に関する一連の研究 応動昆 45(3):164 (講要)
6. 永井一哉 (2001) ミナミキイロアザミウマの総合的管理 日本学術会議第6回植物保護・環境シンポジウム (講要)
7. Yano, E., K. Nagai, K. Watanabe and K. Yara (2002) Biological parameters of *Orius* spp. For control of thrips in Japan. IOBC/wprsBull. 25(1):305-308
8. 永井一哉 (2002) ナス・害虫 (露地囲い込み栽培) 農業総覧病害虫防除・資料編第2版 (農文協): 218 の32-43
9. 田中律子 (2002) 岡山県の夏秋トマトにおける総合的害虫管理技術の現地実証 応動昆中国支部会 (講要)
10. Urano, S., K. Shima, Y. Hirose, K. Nagai, K. Ohno, H. Takemoto and M. Takagi (2003) Biological control of *Thrips palmi* (Thysanoptera: Thripidae) with the predatory bug, *Wollastoniella rotunda* (Hemiptera: Anthocoridae) on greenhouse eggplant in winter. Fac. Kyushu Univ. 47:325-331.
11. 永井一哉 (2003) 土着天敵を活用した難防除害虫ミナミキイロアザミウマの総合的管理 BRAIN テクノニュース 102号

12. 永井一哉 (2003) フラワーベルトによる土着天敵の保護・増殖の試み. 第13回天敵利用研究会(講要)
13. 永井一哉 (2003) フラワーベルトによる土着天敵の保護・増殖の試み. 中四ブロック病害虫防除所職員等技術研修会(講要)
14. Nakashima, Y., Muefuno, E. Tagashira, S. Maeda, K. Shima, K. Nagai, Y. Hirose, M. Takagi (2003) Cage evaluation of augmentative biological control of *Thrips palmi* with *Wollastonia rotunda* in winter greenhouses. *Entomologia Experimentalis et Applicata* 110.
15. 長森茂之・日本典秀 (2003) 促成栽培ナスにおけるタイリクヒメハナカメムシ秋放飼の有効性について 第48回応動昆(講要)
16. 永井一哉 (2004) ナス ナメクジ類、フキノメイガ、ネキリムシ類、ジャガイモガ 農業総覧原色病害虫診断・防除編 追録第35号(農文協)
17. 永井一哉 (2004) ナス ナメクジ類、フキノメイガ、ネキリムシ類、ジャガイモガ 原色病害虫百科 第2版(農文協)
18. 永井一哉 (2004) ナス ヤサイゾウムシ、ジャガイモガ、フキノメイガ、ネキリムシ類 農業総覧病害虫防除・資材編 追録第10号(農文協)
19. 永井一哉 (2004) ナス・害虫(露地囲い込み栽培)土着天敵、障壁作物、おとり植物の利用 環境保全型防除大辞典
20. 永井一哉 (2004) 天敵資材 ナミヒメハナカメムシ、土着天敵 ナミヒメハナカメムシ 天敵大辞典
21. 長森茂之 (2004) ナス ヨトウガ、テントウムシヨトウガダマシ類、 農業総覧病害虫防除・資材編 追録第10号(農文協)
22. 長森茂之 (2004) ナス テントウムシダマシ類 原色病害虫診断・防除編 追録第35号(農文協)
23. 長森茂之・長島聖大・飛川光治・近藤章・永井一哉 (2004) ナスでの利用に適したヒメハナカメムシ類温存草種の選抜 第14回天敵利用研究会—宮崎大会—(講要)
24. 長森茂之・近藤章・飛川光治・永井一哉・長島聖大・中筋房夫 (2004) 土着天敵誘引植物として選抜された3草種におけるヒメハナカメムシ類の密度とナス害虫の発生 第49回応動昆(講要)
25. 田中律子・長森茂之・近藤章 (2004) 促成栽培ナスでの利用に適したタイリクヒメハナカメムシの温存植物の選定 第49回応動昆(講要)
26. 長森茂之・近藤章・飛川光治・永井一哉・中筋房夫 (2004) 土着天敵の保護・増殖に適した地被植物3草種におけるヒメハナカメムシ類の分布特性 応動昆中国支部・日本昆虫学会中国支部合同例会(講要)
27. 永井一哉・飛川光治・長森茂之・佐野敏広 (2005) 景観形成植物を活用した野菜害虫防除の可能性 応動昆中国支部・日本昆虫学会中国支部合同例会(講要)
28. 長森茂之・服部剛幸・永井一哉・近藤章・中筋房夫 (2005) 風圧を利用した天敵用捕虫機のヒメハナカメムシ類採集効率 第50回応動昆(講要)
29. 永井一哉・飛川光治 (2005) トマト白ぶくれ症に対する「おとり植物」としてのカリブラコアの効果 第50回応動昆(講要)
30. 永井一哉・飛川光治 (2006) 景観形成植物を活用した野菜害虫防除の可能性 第51回応動昆(講要)
31. 長森茂之・近藤章・永井一哉・中筋房夫 (2006) 天敵用捕虫機を用いたヒメハナカメムシ類連続採集後の地被植物上での密度回復 応動昆中国支部・日本昆虫学会中国支部合同例会(講要)
32. 長森茂之・永井一哉・近藤章・服部剛幸・中筋房夫 (2006) ネットと水盤を利用したヒメハナカメムシ類分別装置の開発 第51回応動昆(講要)
33. 永井一哉・飛川光治 (2007) 天敵の温存場所や害虫の誘引植物として利用可能な景観植物の選定 応動昆中国支部会報 49:31-37
34. 上船雅義・仲島義貴・田頭栄子・永井一哉・広瀬義躬・高木正見 (2007) ヒメジンガサハナカメムシの発育と繁殖におけるミナミキイロアザミウマとカンザワハダニの餌としての適合性 応動昆 52:7-12
35. 長森茂之・永井一哉・飛川光治 (2007) 景観植物に発生するヒメハナカメムシ類の密度に及ぼすヒメオオメカメムシの影響 第52回応動昆(講要)
36. 永井一哉・飛川光治 (2009) 景観植物の害虫誘引機能等を活用した害虫防除 生物機能を活用した病害虫・雑草管理と肥料削減: 最新技術集:58-61
37. 永井一哉・飛川光治 (2009) フラワーベルトの土着天敵保護増殖機能を活用した害虫防除技術の開発 生物機能を活用した環境負荷低減技術の開発・研究成果 479:202-207
38. 永井一哉・飛川光治 (2009) 景観植物の害虫誘引機能等を活用した害虫防除技術の開発 生物機能を活用した環境負荷低減技術の開発・研究成果 479:207-213
39. 安部順一郎・飛川光治・永井一哉 (2009) 景観植物ルドベキアの混作による露地栽培ナスの害虫防除 第14回農林害虫防除研究会(講要)
40. 永井一哉 (2009) 景観植物を利用した害虫防除技術の開発 第4回カバークローブ研究会(講要)
41. 永井一哉・飛川光治 (2010) ヒラズハナアザミウマ *Frankliniella intonsa* (Trybom) (アザミウマ目:アザミウマ科)によるトマト白ぶくれ症防除のための誘引植物としてのカリフォルニアポピーおよびペチュニアの評価 応動昆 54:65-70
42. 永井一哉・飛川光治 (2010) 誘引植物を利用した野菜の害虫管理 植物防疫 65(2):121-125

43. 永井一哉・飛川光治 (2010) フラワーベルトの土着天敵保護増殖機能を活用した害虫防除技術の開発. 生物機能を活用した環境負荷低減技術の開発 (農林水産技術会議事務局 編集・発行) 研究成果 479:202-207
44. 永井一哉・飛川光治 (2010) 景観植物の害虫誘引機能等を活用した害虫防除技術の開発. 生物機能を活用した環境負荷低減技術の開発 (農林水産技術会議事務局 編集・発行) 研究成果 479:207-211
45. 永井一哉 (2010) アザミウマ類 (ミナミキイロアザミウマ) 昆虫の低温耐性 (積木久明・田中一裕・後藤三千代 編) (岡山大学出版会) : 262-263
46. 長森茂之 (2010) 景観植物を活用した土着天敵による害虫防除 農研機構国際シンポジウム (講要)
47. 永井一哉 (2011) フタスジヒメハムシ *Medythia nigrobilineata* (Motschulsky) (コチョウ目: ハムシ科) 成虫の寄生蜂 *Centistes medythiae* Maetô et Nagai 及び *Stereocera okadai* Watanabe (ハチ目: コマユバチ科) の寄生率の季節的変動 応動昆 55:59-63
48. 永井一哉・飛川光治 (2011) 害虫誘引植物を用いたトマト白ぶくれ症の抑制効果 第17回農作物病害虫防除フォーラム (講要)
49. Kazuya Nagai・Yoshimi Hirose・Katsuya Shima・Masami Takagi (2012) Suitable food for the mass rearing of *Wollastoniella rotunda* (Heteroptera: Anthocoridae), a predator of *Thrips palmi* (Thysanoptera: Thripidae). Japan Agricultural Research Quarterly 47:185-190
50. 安部順一郎・世古智一・飛川光治・綱島健司 (2012) 景観植物を利用した植生管理の可能性 近中四生産環境推進部会病害虫分科会 (講要)
51. 長森茂之 (2013) 野菜害虫の生物防除のための捕食性天敵ヒメハナカメムシ類の保護に適した地被植物の選抜 植物防疫 67 (2) : 8-13
52. 西優輔・佐野敏広・高馬浩寿・田中律子・長森茂之 (2013) 岡山県の促成栽培ナスにおけるミナミキイロアザミウマ個体群に対する各種薬剤の殺虫効果 九病虫研会報 59:81-85
53. 西優輔・長森茂之 (2013) 土着天敵タバコカスミカメの現地におけるゴマを用いた増殖法の把握 中四病害虫防除所職員等研修会 (講要)
54. 西優輔・長森茂之・川村宜久・綱島健司 (2013) 促成栽培ナスで発生するミナミキイロアザミウマに対するスワルスキーカブリダニとタバコカスミカメを用いた防除効果の検討 第58回応動昆 (講要)
55. 安部順一郎・綱島健司・飛川光治・西優輔・日本典秀 (2014) タバコカスミカメの温存に有効な景観植物の選定と複数天敵温存の可能性 第24回天敵利用研究会 (講要)
56. 西優輔・畔柳泰典・綱島健司・安部順一郎 (2014) 促成栽培ナス圃場におけるスワルスキーカブリダニの温存に適した景観植物の検討 第59回応動昆 (講要)
57. 安部順一郎・世古智一・飛川光治・川村宜久・綱島健司 (2014) 景観植物スカエボラによる天敵温存効果の検証と生産現場へ導入 第59回応動昆 (講要)
58. 日本典秀・長坂幸吉・後藤千枝・安部順一郎・綱島健司・飛川光治・西優輔・小原慎司・手塚俊行 (2014) 施設キュウリにおけるタバコカスミカメによるネギアザミウマ防除効果 第59回応動昆 (講要)
59. 西優輔 (2014) 促成栽培ナスのミナミキイロアザミウマに対する効果的な薬剤防除体系 グリーンレポート第540号:14-15
60. 西優輔・畔柳泰典・綱島健司・安部順一郎 (2014) 促成栽培ナス圃場におけるスワルスキーカブリダニの温存に適した景観植物の検討 第59回応動昆 (講要)
61. 西優輔 (2015) ナス育苗施設における近紫外線カットフィルム展張によるミナミキイロアザミウマの防除効果とナスの生育に及ぼす影響 近中四農研 26:13-16
62. 日本典秀・安部順一郎・長坂幸吉・守屋成一・後藤千枝・矢野栄二・飛川光治・綱島健司・西優輔・川村宜久・土田祐大・中野亮平・土井誠・片井祐介・石川隆輔・影山智津子・坂口優子・天野喜也・下元満喜・中石一英・安達鉄矢・塩田英二・山崎真弓・井上洋子・手塚俊行・小原慎司 (2015) 施設キュウリとトマトにおける I PMのためのタバコカスミカメ利用技術マニュアル 第60回応動昆 (講要)
63. 西優輔・畔柳泰典 (2015) タバコカスミカメに対する薬剤の影響 応動昆中国支部会報 58 (講要)
64. 松岡寛之・西優輔 (2016) 土着天敵タバコカスミカメに対する数種殺虫剤の影響期間 第61回応動昆:77 (講要)
65. 西優輔 (2019) 岡山県の促成栽培ナスにおけるミナミキイロアザミウマの薬剤感受性の変遷 西日本応用動物研究会報 4号 (講要, Web公開)
66. 西優輔 (2020) 天敵タバコカスミカメに対する農薬の影響 令和2年度全農受託試験成績書
67. 西優輔・長森茂之・佐野敏広・難波加奈・松岡寛之 (2021) 岡山県における促成栽培イチゴで発生するナミハダニ黄緑型に対する殺ダニ剤の効果 関西病虫害研究会報 63:21-25
68. 西優輔・松岡寛之・畔柳泰典・難波加奈 (2021) 岡山県における土着天敵タバコカスミカメに対する農薬の影響 関西病虫害研究会報 63:53-58
69. 西優輔 (2021) ハダニ対策について考える ～イチゴの事例から～ I PM研究会 (講要)

70. 西優輔 (2021) 促成栽培ナスのミナミキイロアザミウマに対する新たな天敵を組み合わせた総合防除体系の確立 OPUフォーラム2021 (講要)
71. 西優輔 (2021) キュウリ産地で問題となっているアブラムシ類の種同定と有効薬剤の探索 全農受託試験成績書
72. 西優輔・綱島健司・畔柳泰典・安部順一朗 (2022) 促成栽培ナスにおけるスワルスキーカブリダニに適した天敵温存植物の探索 関西病虫害研究会報 64:81-88
73. 西優輔 (2022) 岡山県における土着天敵タバコカスミカメに対する農薬の影響評価 植物防疫 76(7):363-366
74. 西優輔 (2022) 促成栽培ナスのミナミキイロアザミウマに対する新たな天敵を組み合わせた総合防除体系の確立 OPUフォーラム 2022 (講要)
75. 西優輔・川村宜久・綱島健司 (2023) 促成栽培ナスにおける天敵温存植物の効率的利用方法の検討 2023年度西日本応用動物昆虫研究会・中国地方昆虫学会合同例会 (講要)
76. 西優輔 (2023) 促成栽培ナスにおける天敵温存植物の効率的利用方法の検討 中国四国ブロック病害虫防除所等職員等研修会:17-18 (講要)
77. 西優輔 (2023) 促成栽培イチゴにおける微小害虫と天敵の動態 日本昆虫学会第84回大会・第68回応動昆虫合同大会:89 (講要)
78. 西優輔 (2024) 促成栽培イチゴにおけるブラインシュリンブ卵によるアカメガシワクダアザミウマの定着促進とアザミウマ被害抑制効果 第69回応動昆虫:83 (講要)
79. 北山僚太郎・西優輔 (2024) イチゴのヒラズハナアザミウマに対する薬剤防除効果の検討 中四病害虫防除所職員等研修会:18-19 (講要)

(3) 共通

1. 岡山県適用農作物病害虫雑草図鑑 (2004) (山陽放送)
2. 桐野菜美子・矢尾幸世 (2021) 音声入力を利用した圃場における農作物生育障害発生様式の把握 日植病報 87(3):210 (講要)
3. 桐野菜美子 (2021) 岡山県における農作物生育障害診断による対策の指導が障害の発生経過に及ぼす効果 日植病報 88(1):54 (講要)

14. 流通利用

1. 高野和夫 (2000) 晩生ナシの無送風高湿度冷蔵車による長期冷蔵 近畿中国地域における新技術第34号:91-94
2. 高野和夫 (2000) 完熟モモの流通 第16回中国四国先進技術シンポジウム (講要)
3. 高野和夫・森次真一・山本章吾 (2004) モモの樹の窒素栄養状態と果実の日持ち性との関係 園芸学会雑誌 73 (別2):539 (講要)
4. 高野和夫・繁田充保・久保田尚浩・多田幹郎 (2006) 完熟モモ流通のための収穫適期, 鮮度保持及び輸送方法の検討 園芸学研究 5(2):179-184
5. 田村尚之・森次真一・山本章吾 (2015) 収穫後処理の違いが黒大豆エダマメの遊離糖とアミノ態窒素含有量変化に及ぼす影響とその減少予測 園芸学会中四国支部講要 54:24
6. 田村尚之・石井恵・妹尾知憲 (2016) 黒大豆'岡山系統1号'を用いた交配選抜系統の枝豆としての食味成分量と食味評価の関係 園芸学会中四国支部講要 55:29
7. 田村尚之・石井恵・赤井直彦 (2018) 収穫直後から選果までの黒大豆エダマメのショ糖及びアミノ態窒素量低下の抑制技術 園芸学会中四国支部要旨57:31
8. 藤井雄一郎・荒木有朋・樋野友之・鶴木悠治郎・河村美菜子・中野龍平ほか (2018) 果物の東アジア、東南アジア輸出を促進するための輸出国ニーズに適合した生産技術開発及び輸出ネットワークの共有による鮮度保持・低コスト流通・輸出技術の実証研究 アグリビジネス創出フェア 2018
9. 石井恵・鷲尾建紀 (2022) 鮮度保持資材を用いた長期冷蔵がブドウ「シャインマスカット」の味、食感、香りに及ぼす影響 日本食品科学工学会第69回要旨集:113

15. 農業機械

平成12年以降は該当なし

16. 農業経営

1. 坂本定禎 (2001) 家畜糞尿リサイクルによる畜産・耕種連携の課題～牛糞堆肥を中心として～ 農業経営通信 210

2. 山本晃郎 (2001) 岡山県における主要果樹の樹園地評価基準の作成 近畿中国地域における新技術第 35 号
3. 山本晃郎 (2002) 岡山県における有機無農薬農業の取り組み 平成 14 年度日本農業経営学会大会 (講要)
4. 山本晃郎 (2002) 「JA の広域化における農業指導の方向」座長総括コメント 岡山県地域農業研究会報 101
5. 坂本定禧 (2002) 牛ふん堆肥化利用の課題と対策-畜産・耕種連携の視点から- 平成 14 年度日本農業経営学会大会 (講要)
6. 古川満 (2002) 「使いやすい法人経営診断支援システム」の作成と活用 近中四農研農業経営研究 3
7. 古川満 (2002) 使いやすい法人経営診断支援システム 近中四地域における新技術 1
8. 山本晃郎 (2003) 岡山県における桃経営の生産構造と組織について 農業経営通信 216
9. 山本晃郎 (2003) 岡山県における有機無農薬農業への取り組み~その 15 年間の総括~ 農業経営研究 40(4)
10. 坂本定禧 (2003) 「家畜ふん尿リサイクルによる畜産・耕種連携の課題」 農業技術 58(11)
11. 坂本定禧 (2004) 「農地資源管理の課題と対策」座長総括コメント 岡山県地域農業研究会報 104
12. 山本晃郎 (2004) 超大区画水田での高生産性稲作の実証 機械化農業 3038
13. 山本晃郎 (2004) 果樹産地継続に向けた担い手再編からの一考察 近中四農研農業経営研究 8
14. 山本晃郎 (2005) 「都市及び都市近郊における今後の農業のあり方」座長総括コメント 岡山県地域農業研究会報 107
15. 河田員宏 (2006) GIS による農産物直売所の広報・宣伝活動 近中四地域における新技術第 5 号:49-51
16. 河田員宏・古川満 (2006) 商圏分析による直売所の類型区分と今後の対応-岡山県を対象として- 農業経営研究 44(2)
17. 橋新耕三 (2007) 岡山県のブドウ観光農園の実態と改善方向 近中四農研農業経営研究 17
18. 原田節也・人見哲子・友国宏一・河田員宏 (2007) 農産物直売所等を核とした地産地消活動の活性化にむけて 美作大学地域生活科学研究所特別研究報告
19. 河田員宏 (2009) 農産物直売所の来店者の特徴を活かした効果的な宣伝方策 農林問題研究 45(1):81-85
20. 橋新耕三 (2010) 地域・営農条件による集落営農の類型化と育成方策の解明 近中四農研農業経営研究 21:57-65
21. 河田員宏・藤原利行 (2010) 農産物直売所における野菜の品揃え改善の一方策 近中四農研近畿 16:109-116
22. 河田員宏 (2011) 商圏分析による農産物直売所の類型化とマーケティング戦略 近中四農研農業経営研究 22:25-33
23. 河田員宏 (2016) 稲作経営体の経営展開の方向性-岡山県の事例から- 第 66 回地域農林経済学会大会個別報告要旨集:3-9
24. 河田員宏・大久保和男・前田周平 (2018) 岡山県における黒大豆「丹波黒」の黒マルチ栽培の経営評価 日作中国支部研究集録 58:40-41 (講要)
25. 河田員宏 (2018) 大規模水田作経営に対応した効率的な麦作体系の確立-大規模水田作での麦作経営管理手法の解明- 西日本農研農業経営研究 30

17. 準高冷地農業

〔果樹〕

1. 金澤淳・野上英考・藤井雄一郎 (2016) 準高冷地のブドウ「ピオーネ」若木に対する防寒資材の巻き付けは発芽を遅延させ霜害発生を抑制する 園芸学会中四国支部要旨 55:17
2. 金澤淳・中島譲・安井淑彦 (2016) 準高冷地におけるブドウ「ピオーネ」成熟期の酸含量推定法 園芸学研究 15 (別 2) :129 (講要)
3. 金澤淳 (2016) 準高冷地におけるブドウ「ピオーネ」酸含量の経時的変化の推定 平成 28 年度落葉果樹研究会資料:19-20 (講要)
4. 平井一史・金澤淳・安井淑彦・中島譲 (2019) 準高冷地におけるブドウ「オーロラブラック」の生育特性の把握と無核肥大処理方法の検討 園芸学研究 19 (別 1) :58 (講要)
5. 平井一史 (2021) ブドウ「シャインマスカット」の果房吊上げ処理及び果実袋による果房受光量の違いが果実品質に及ぼす影響 園芸学研究 20 (別 2) :267 (講要)
6. 櫻井直樹・河村美菜子 (2022) 「シャインマスカット」の樹上果粒硬度の日中変動 園芸学研究 22 (別 1) :74 (講要)
7. 河村美菜子・福田文夫・平野健・櫻井直樹・藤井雄一郎 (2022) 音響振動法によるブドウ「シャインマスカット」の果粒軟化期の把握 園芸学研究 22 (別 1) :75 (講要)
8. 佐野大樹・村元 (河村) 美菜子・阿部遼・櫻井直樹 (2024) 準高冷地で栽培したブドウ「シャインマスカット」の果粒軟化と音響振動法による第 3 共鳴周波数との関係 園芸学研究 24 (別 1) :206 (講要)

〔野菜〕

1. 佐野大樹・若山幹夫・信岡佑太・石橋英二・各務裕史 (2012) 大型トンネルと電熱温床線による加温処理がダイコンの肥大と内部褐変症程度におよぼす影響 園芸学研究 12 (別 1) :149 (講要)
2. 佐野大樹・森本泰史 (2014) 岡山県北部の長期積雪地域でのニンニクの品種適応性、および「福地ホワイト」の植付時期が生育

と1球重に及ぼす影響 園芸学会中四国支部要旨 53:28

3. 川村宜久 (2017) ハウスフィルムへの遮熱資材塗布処理が夏秋雨除けトマト栽培の放射状裂果発生に及ぼす影響 園芸学研究 17 (別1) :188 (講要)
4. 佐野大樹 (2018) 岡山県真庭市蒜山地域における秋季の気温とダイコンの糖度並びに根重の関係 園芸学会中四国支部要旨 57:34
5. 田村尚之 (2021) 業務・加工用キャベツの夏作栽培における株間が結球重、結球揃い及び収量に及ぼす影響 園芸学会中四国支部要旨 59:13
6. 山下尋揮・川村宜久・楨野祐子 (2022) 岡山県中北部における夏秋雨除けトマト栽培で秋期の増収に有利な穂木・台木の組合せ、並びに摘花房処理の適期 園芸学研究 22 (別1) :120 (講要)
7. 佐野大樹 (2023) 岡山県の準高冷地での夏秋どりキャベツの育苗における液肥回数と日数が定植後の葉の枯れに及ぼす影響 園芸学研究 23 (別1) :308 (講要)
8. 佐野大樹・田村尚之 (2024) 岡山県の準高冷地における夏秋どりキャベツの収穫時期予測技術の開発 園芸学会中四国支部要旨 62:23

〔花き〕

1. 藤本拓郎・中島拓・森義雄・森本泰史 (2012) エゾリンドウ根によるリンドウ幼植物の生育抑制と活性炭添加による軽減効果 園芸学会中四国支部要旨 51:43
2. 藤本拓郎・森本泰史・森義雄 (2016) リンドウ種子へのジベレリン処理後の洗浄が根軸伸長に及ぼす影響 園芸学会中四国支部要旨 55:44
3. 森義雄・竹岡みのり・浅野佑衣・金田紗葵 (2022) リンドウの挿し穂冷蔵が挿し芽苗の発根および生育に及ぼす影響 園芸学会中四国支部要旨 60:26

18. 共通部門

1. 中津有紀子 (2022) 大学生生活と現在の仕事について 岡山大学農学部キャリアサポート説明会 (講要)
2. 樋野友之 (2022) 大学院進学のおすすめ～卒業から15年経って想うこと～ 岡山大学農学部OB・OG講演会 (講要)

19. 特許等

1. モモ‘白陽’ (平成12年12月22日、品種登録 第8564号)
2. ユリ‘マース’ (平成13年2月9日、品種登録 第8687号)
3. ユリ‘アフロ’ (平成13年2月9日、品種登録 第8688号)
4. ブドウ‘オーロラブラック’ (平成15年2月20日、品種登録 第10989号)
5. ビニールハウスにおける換気窓開閉装置及びその開閉制御方法 (平成15年3月20日、特許登録 第3411687号)
6. モモ‘清水白桃RS’ (平成16年11月8日、品種登録 第12302号)
7. モモ‘おかやま夢白桃’ (平成17年3月14日、品種登録 第12851号)
8. ユリ‘アルテミス’ (平成17年3月14日、品種登録 第12898号)
9. ユリ‘カリステ’ (平成17年3月23日、品種登録 第13141号)
10. 水稻‘あっぱれむさし’ (平成17年9月13日、品種登録 第13296号)
11. 水稻‘ふっくらもこ’ (平成17年9月13日、品種登録 第13297号)
12. 水稻‘あかおにもち’ (平成18年7月13日、品種登録 第14298号)
13. アズキ‘夢大納言’ (平成18年7月13日、品種登録 第14305号)
14. ユリ‘あかねの舞’ (平成19年1月22日、品種登録 第14732号)
15. モモ‘新白麗’ (平成19年3月15日、品種登録 第15138号)
16. 果樹の育苗方法 (平成19年11月30日、特許出願)
17. 葡萄栽培方法 (平成21年12月11日、特許登録 第4418863号)
18. スイートピー‘岡山農試ピー3号’ (平成22年3月17日、品種登録 第19406号)
19. 果実袋 (平成25年2月8日、国際特許及び台湾特許出願)
20. モモ‘さきがけはくとう’ (平成25年6月18日、品種登録 第22584号)
21. 無核ブドウの房作り方法、及びその方法によって生産される生食用ブドウ (平成27年5月29日、特許登録 第5751507号)
22. 樹木の凍・寒害防止材 (平成27年9月2日、実用新案登録 第3200112号)

23. 新菌株、該新菌株を用いた根頭がんしゅ病防除剤及び／又は植物種子発芽率向上剤（平成27年12月18日、特許登録 第5854517号）
24. 果実袋（果実の育成促進袋）（平成28年2月5日、特許登録 第5877441号）
25. モモ「岡山PEH7号」（平成28年3月22日、品種登録 第24980号）
26. モモ「岡山PEH8号」（平成28年3月22日、品種登録 第24981号）
27. 非病原性キサントモナス属細菌菌株及び該菌株を用いた微生物農薬（平成28年11月11日、特許登録 第6035605号）
28. イチゴ「岡山STB1号」（平成29年2月8日、品種登録 第25608号）
29. 果実袋（平成29年3月17日、韓国特許登録 第10-1719289号）
30. アズキ「岡山ADZ1号」（平成29年4月12日、品種登録 第25965号）
31. 果実袋（平成29年5月21日、台湾特許登録 第I583300号）
32. モモ「白皇」（平成29年9月15日、商標登録 第5981036号）（岡山PEH7号）
33. モモ「白露」（平成29年9月15日、商標登録 第5981037号）（岡山PEH8号）
34. ナシ「晴香」（平成29年9月15日、商標登録 第5981038号）（岡山PER1号）
35. アズキ「備中夢白小豆」（2017）（平成29年9月29日、商標登録 第5984531号）（岡山ADZ1号）
36. モモ「岡山PEH9号」（平成30年2月8日、品種登録 第26556号）
37. リゾビウム属菌の培養方法（平成30年10月23日、EP特許出願）
38. 微生物凍結乾燥組成物（平成30年10月23日、EP特許出願）
39. ブルーレースフラワー「岡山BLF1号」（令和元年8月16日、品種登録 第27582号）
40. ナシ「岡山PER1号」（令和2年1月28日、品種登録 第27770号）
41. スイートピー「岡山SWP4号」（令和2年9月17日、品種登録 第28127号）
42. ダイズ「岡山SYB1号」（令和3年8月5日、品種登録 第28546号）
43. リンドウ「岡山RND4号」（令和4年7月11日、品種登録 第29278号）
44. 微生物凍結乾燥組成物（令和5年5月2日、米国特許登録 第11639491号）
45. ラークスパー「岡山LAR4号」（令和5年9月11日、品種登録出願）
46. ラークスパー「岡山LAR3号」（令和5年9月15日、品種登録 第29846号）
47. 微生物凍結乾燥組成物（令和5年11月13日、特許登録 第7384347号）
48. ゴビウム属菌の培養方法（令和5年12月8日、特許登録 第7399409号）
49. ゴビウム属菌の培養方法（令和6年2月13日、米国特許登録 第11898139号）
50. モモ「岡山PEH10号」（令和7年11月19日、品種登録 第31463号）
51. モモ「岡山PEH11号」（令和8年2月16日、品種登録 第31562号）

20. 表彰

1. 依田征四・各務裕史・笹邊幸男・藤井雄一郎・森敦茂・木村剛・有吉俊明・片岡正治・平松竜一・浜中治郎・紅谷文夫（2000）平成12年度職員農林水産部長表彰「モモ新品種「白麗」の育成・普及グループ」「白麗」の育成・普及グループ
2. 飛川光治・岡修一・久保紀子・前田和久・河野隆道（2002）平成14年度職員農林水産部長表彰「イチゴの簡易高設栽培システムの開発・普及」イチゴはおいづれプラント（岡山農試式簡易高設栽培システム）開発・普及グループ
3. 石橋英二・高野和夫・赤井直彦・田村尚之・森次真一・大家理哉・鷲尾建紀・高津あさみ・衣笠雄一・永井知佳子・山本章吾・久山弘巳・土倉義夫・芝宏子（2008）平成20年度職員農林水産部長表彰「土壌管理技術の改善」土壌施肥管理システム開発グループ
4. 土居典秀・森義男・岸本直樹・中島拓・岸田勝彦・森本泰史・藤本拓郎・若山幹夫・神谷忠利・黒田忠雄（2010）平成22年度職員農林水産部長表彰「花きに関する試験研究とそれにより確立した技術の普及指導」花きの優良品種の育成と普及推進グループ
5. 谷名光治・井上幸次・佐野敏広・川口章・永宗正規・森敦茂・長森茂之・千脇健司（2011）平成23年度職員知事表彰「農作物の病害虫防除に関する試験研究及び病害虫発生予察業務と確立した技術の普及指導」環境に優しい病害虫防除技術の開発・普及グループ
6. 佐野大樹・伊藤豊彰・安藤正・南條正巳・斎藤元也、三枝正彦（2011）日本ペドロロジー学会 2009-2010年度論文賞 北東北地方に代表的な水田土壌の粘土鉱物組成
7. 石橋英二（2011）平成23年度全国農業関係試験研究場所長会研究功労者表彰「窒素肥効予測技術の開発と土壌施肥管理システムの構築」
8. 川口章（2012）平成24年度（第8回）若手農林水産研究者表彰「ブドウ根頭がんしゅ病の拮抗細菌及び生物的防除に関する研究」

9. 川口章 (2012) 平成24年度(第11回)日本農学進歩賞「土壌細菌ブドウ根頭がんしゅ病の生物的防除法の開発」
10. 大家理哉・森次真一・鷺尾建紀・高津あさ美・高原知佳子・藤本寛・亀井雅浩・石橋英二・高野和夫 (2012) 日本土壌肥料学会鳥取大会ポスター賞「飼料イネ栽培における施肥設計支援システムの開発 家畜ふん堆肥の肥料的効果の評価(第10報)」
11. 日原誠介・石井俊雄・森義雄・妹尾知憲・大久保和男・平井幸・森敦茂・濱子郁生 (2012) 平成24年度職員農林水産部長表彰「作物の品種育成や栽培法の確立と普及」 特産物の品種育成・普及推進グループ
12. 岸弘明・安井淑彦・金澤享・高橋知佐 (2013) 平成25年度職員農林水産部長表彰 次世代フルーツ「シャインマスカット」「紫苑」の技術開発・普及グループ
13. 妹尾知憲、渡邊丈洋 (2014) 植物調節剤功労者表彰
14. 佐野大樹 (2014) 平成26年園芸学会中四国支部会優秀発表賞「岡山県北部の長期積雪地域でのニンニクの品種適応性、および‘福地ホワイト’の植付時期が生育と1球重に及ぼす影響」
15. 千脇健司、大家理哉、森本泰史、長森茂之、佐野敏広、森次真一、鷺尾建紀、岸本直樹 (2015) 平成27年度職員農林水産部長表彰 1)「農産物診断の迅速・効率化」 農産物生育障害の迅速な診断体制と診断手法の開発グループ
16. 田村尚之 (2015) 平成27年度職員農林水産部長表彰 2)「ビール大麦の新規肥料の開発」
17. 川口章 (2015) 第12回(平成27年度)日本学術振興会賞及び第12回(平成27年度)日本学士院学術奨励賞 1)「植物病害ブドウ根頭がんしゅ病の生物的防除法の開発」
18. 大家理哉 (2015) 第11回近畿中国四国農業研究協議会賞「論文賞」 1)「「たちすずか」等飼料イネ栽培における窒素等施肥管理上の留意点」
19. 日原誠介 (2016) 平成28年度職員知事表彰 (1) 水稲及び果樹の新品種育成
20. 杉本真一、妹尾知憲、大久保和男、渡邊丈洋、井上智博、前田周平 (2016) 平成28年度職員農林水産部長表彰 地球温暖化による水稲の品質低下に対応した栽培技術の開発グループ
21. 飛川光治 (2016) 全国農業関係試験研究場所長会 平成28年度研究功労者表彰 (1) なす科野菜における花粉媒介昆虫利用技術の開発
22. 飛川光治、岸本直樹、川村宜久、信岡佑太 (2017) 平成29年度職員農林水産部長表彰 (1) 促成栽培ナスの炭酸ガス施用による高品質増収技術開発グループ
23. 山本章吾 (2017) 平成29年度職員農林水産部長表彰 (2) 緑肥を用いた有機栽培米の安定生産技術の確立
24. Naoki Yokotani・Misugi Uraji・Seisuke Hihara・Tadasi Hatanaka・Kenji Oda (2017) 2017年 BBB (Bioscience, Biotechnology, and Biochemistry) 論文賞 (1) Low accumulation of chlorogenic acid represser reddening during flesh browning in Japanese peach ‘Okayama PEH7’
25. 森次真一・石橋英二・山本章吾・沖和生 (2017) 日本土壌肥料学雑誌論文賞 (1) 水稲栽培におけるアメダスメッシュ気象データを活用した被覆尿素的窒素溶出推定精度
26. 藤井雄一郎 (2018) 平成30年度職員知事表彰 (1) 新たな果実袋の開発
27. Ryohei Nakano, Hidemi Akimoto, Fumio Fukuda, Takashi Kawai, Koichiro Ushijima, Yosuke Fukamatsu, Yasutaka Kubo, Yuichiro Fujii, Ken Hirano, Kunihisa Morinaga, Naoki Sakurai (2018) Nondestructive Detection of Split Pit in Peaches Using an Acoustic Vibration Method.
28. 田村尚之、長森茂之、金谷寛子、河本敏広、筒井政道、井上賀貴、垣内勝哉 (2019) 令和元年度職員農林部長表彰 (1) 新たな地域特産農作物の育成支援グループ
29. 森義雄 (2020) 全国農業関係試験研究場所長会 令和2年度研究功労者表彰 (1) 夏秋小ギクの高需要期連続出荷技術の開発
30. 西優輔 (2020) 令和2年度職員知事表彰 (1) 岡山ナンバーワン野菜「千両なす」の危機を救った天敵利用害虫防除技術の開発
31. 大家理哉 (2021) 日本土壌肥料学会第10回技術奨励賞 水田における家畜ふん堆肥施用時期を考慮した施肥設計技術の確立
32. 鷺尾建紀・綱島健司・石井恵 (2021) 令和3年度職員農林部長表彰 県産果実・野菜のおいしさの見える化技術開発グループ
33. 渡辺真帆 (2021) 園芸学会令和4年度春季大会優秀発表賞 緑枝接ぎ法によるブドウ苗木の育成技術の開発
34. 鷺尾建紀 (2022) 土壌医の会全国協議会 全国協議会会長賞 (1) 水田転換畑における野菜安定生産のための排水対策フローチャートの作成
35. 桐野菜美子・高馬浩寿・西優輔・森次真一・鷺尾建紀・松岡寛之 (2022) 令和4年度職員農林部長表彰 (1) 農作物生育障害診断アシストシステム開発グループ
36. 農作物生育障害診断アシストシステム開発グループ (2023) 令和5年度全国知事会 デジタル・ソリューション・アワード 優秀政策
37. 妹尾知憲・大久保和男・平井幸・森敦茂・渡邊丈洋・石井俊雄・中本武徳・杉本泰志 (2023) 令和5年度職員農林部長表彰 (1) 水稲、麦、大豆奨励品種の優良種子生産グループ

38. 荒木有朋（2023）令和5年度職員農林部長表彰 （2）海外における岡山ブランドの知的財産による確立（知的財産海外推進グループ）
39. 藤本拓郎・林祐貴・森本泰史・森義雄・竹岡みのり・金田紗葵・阿部遼（2024）令和6年度職員農林部長表彰 りんどうのオリジナル新品種育成グループ
40. 中島謙（2024）植物調節剤功労者表彰
41. 樋野友之・鶴木悠次郎・佐々木郁哉・吉村諒介・小野和彦・千田美幸・丁田恵子・小林一奈（2025）令和7年度職員知事表彰 農林水産総合センター普及連携部・農業研究所 桃スマート栽培管理支援システム開発チーム
42. 森次真一・大家理哉・鷺尾建紀・白石誠・水木剛（2025）令和7年度職員農林部長表彰 家畜ふんを原料とした一発肥料の開発グループ
43. 樋野友之・鶴木悠次郎・佐々木郁哉・吉村諒介・小野和彦・千田美幸・丁田恵子・小林一奈（2025）全国知事会先進政策バンク 令和7年度デジタル・ソリューション・アワード大賞（デジタル部門最優秀政策）
44. 岡修一（2025）全国農業関係試験場所会令和7年度研究功労者表彰 ニラ軟白栽培における品質向上に関する研究

第4章 出版物目録

1. 種類

出版物名	規格	内 容	発行状況
研究年報	B5 横 A4 横 (平8年から)	当該年度の事業、成績全般の概要をとりまとめたもの(年次報告)	昭和39年度から(明治40～昭和38年度:業務行程)
研究報告(岡山県農業総合センター農業試験場)	B5 横 A4 横 (平10年から)	試験成績のうち重要なもので完結したものを、作物の種類又は事業別にとりまとめたもの	第1号(昭和51年3月)～ 第27号(平成21年12月)
研究報告(岡山県農林水産総合センター農業研究所)	A4 横	試験成績のうち重要なもので完結したものを、作物の種類又は事業別にとりまとめたもの	第1号(平成22年12月)～ 第15号(令和6年12月)
臨時報告	B5 横 A4 横 (平13年から)	試験及び調査成績のうち、重要なもので学術的価値のあるものをとりまとめたもの(学術報告)	第1報(明治42年10月)～ 第85号(平成13年3月)
農事試験成績	B5 横	助成事業などの調査研究成績を、技術資料としてとりまとめたもの	第1報(明治35年3月)～ 第71号(昭和60年3月)
農業試験資料	B5 横	品種試験、農業機械性能比較試験などの調査研究成績を、技術資料としてとりまとめたもの	第1号(明治32年)～ 第5号(昭和35年8月)
農産資料	B5 横	試験及び調査の結果を農家の応用技術としてすぐ役立つよう平易に解説したもの	第1号(昭和8年3月)～ 第37号(昭和49年7月)
時 報	A5 縦、横	試験及び調査の結果、ならびに技術解説などを速報として農家向けに毎月発行したもの	第1報(大正6年1月)～ 第663報(昭和50年3月)休刊
米作躍進資料	B5 横	岡山県の米三割増産運動(第1次:昭和34年～36年)の展開に対応した稲作の手引き書	第1号(昭和34年1月)～ 第11号(昭和35年10月)
試験研究主要成果	B5 横 A4 横 (平8年から)	試験研究成果のうち、農家指導の可能な新技術を解説したもの(昭和49年～)	昭和49年度から(昭和40～48年度:新たに普及に利用しうる試験研究の成果)
最近における試験研究の成果	B5 横	試験研究の成果発表会資料	第1回(昭和43年2月)～ 第5回(昭和49年5月)
県内農業紹介図書		学会、研究会などの開催にあたり出席者に対し県内農業を紹介したもの	8編(昭和30～44年)
岡山県農業要覧	A5 横	岡山県の実状に合わせて最新技術を記述した、農業指導者、農家必修の解説書	(昭和43年9月)

2. 主要出版物の内容

平成13年3月1日(創立100周年)以降に当场から発行された出版物の掲載題目を記した。

(1) 研究報告(岡山県農業総合センター農業試験場)

第19号 平成13年12月

1. ブドウ‘ピオーネ’二期作栽培の経営的評価	山本 晃郎・小野 俊朗	1-5
2. 水稲不耕起乾田直播栽培において肥料の種類が収量・土壌溶液中窒素濃度に及ぼす影響	赤井 直彦・石橋 英二 大家 理哉	7-12
3. 不耕起乾田直播栽培を継続した水田における土壌肥沃度および水稲の窒素吸収量	山本 章吾・久山 弘巳 柳井 雅美	13-18
4. <i>Hyalodendron</i> sp.、 <i>Cladosporium</i> sp. によるブドウ汚果病(新称)	那須 英夫・井上 幸次	19-24
5. モモの新品種‘白麗’の育成	笹邊 幸男・藤井雄一郎 各務 裕史・片岡 正治 木村 剛・紅谷 文夫 平松 竜一・依田 征四	25-27
6. バリダマイシン剤の茎葉散布によるトマト及びナス青枯病の防除効果	伊達 寛敬・那須 英夫	29-35
7. 水稲の不耕起乾田直播栽培におけるすじ葉枯病、葉鞘腐敗病の発生とその対策	金谷 元・青山 郷	37-44

		伊達 寛敬・那須 英夫	
8. カボチャモザイクウイルスによるトルコギキョウの輪紋病（新称）および岡山県のトルコギキョウに発生する病原ウイルスの種類	井上 幸次・粕山 新二		45-51
9. 家畜糞尿リサイクルの課題と対策—牛糞堆肥を中心として—	坂本 定禱		53-101

第20号 平成14年7月

1. 水稻品種‘アケボノ’における腹白未熟粒の発生要因	大久保和男・杉本 真一		1-5
2. 不耕起栽培継続田における土壌のケイ酸供給量及び水稻のケイ酸含有率	山本 章吾・久山 弘巳 柳井 雅美		7-12
3. 岡山県に発生したダイズうどんこ病	伊達 寛敬・佐々木静江 金谷 元・井上 幸次 粕山 新二・那須 英夫		13-17
4. モモの新品種‘白陽’の育成	笹邊 幸男・藤井雄一郎 各務 裕史・片岡 正治 木村 剛・紅谷 文夫 平松 竜一・依田 征四		19-21
5. モモ‘清水白桃’の最終摘果時期遅延が果実肥大に及ぼす影響	安井 淑彦・各務 裕史 片岡 繁也		23-26
6. ブドウ‘ピオーネ’の樹体各部における2-Chloroethylphosphonic Acid散布後の窒素含量の変化	小野 俊朗・高野 和夫		27-30
7. 加温栽培におけるブドウ‘ピオーネ’の新梢生長、花穂発育及び果実品質に及ぼす尿素枝幹処理の影響	小野 俊朗		31-34
8. 秋冬作ハクサイ栽培への被覆尿素利用の可能性	赤井 直彦・久山 弘巳		35-40
9. ハクサイ黄化病の伝染源としての野生ダイコン（ハマダイコン）パーティシリウム黒点病	粕山 新二・山本 秀夫		41-46
10. 胚培養によるユリ新品種‘アフロ’の育成	森本 泰史・土岐 昌弘 村西 久美・永宗 正規 鴻野 信輔 山本 晃郎		47-49 51-56
11. 岡山県における遊休樹園地の実態と貸借停滞の要因			
12. 果樹産地に求められる樹園地流動化調整システムの策定と樹園地評価基準の作成	山本 晃郎・喜井 啓 坂本 定禱		57-65

第21号 平成15年7月

1. ブドウの新品種‘オーロラブラック’の育成	尾頃 敦郎・小野 俊朗 村谷 恵子		1-3
2. モモ炭疽病菌 (<i>Colletotrichum acutatum</i> Simmonds ex Simmonds) によるモモ果実表面の褐点症状	井上 幸次・那須 英夫 粕山 新二		5-10
3. 岡山県におけるスギ・ヒノキ花粉飛散数を利用した果樹カメムシ類の発生量予測	千脇 健司・近藤 章 岡 鐵雄		11-14
4. 堆肥施用法が長期どり雨よけアスパラガスの生育、収量に及ぼす影響	北田 修三・藤沢 敏寛 内藤 恭典		15-19
5. 岡山県に発生した据置栽培ナスの茎枯病	谷名 光治・飛川 光治 久保 紀子・那須 英夫 粕山 新二		21-25
6. 土壌水分がハクサイ心腐れ症の発生に及ぼす影響	久山 弘巳・赤井 直彦		27-31
7. 雨よけ栽培トマトにおける近紫外線カットフィルムと寒冷紗障壁の併用によるヒラズハナアザミウマの飛び込み防止効果	田中 律子		33-37
8. 岡山県における有機無農薬農業への15年間の取り組み評価と今後の推進課題	山本 晃郎		39-48
9. 超大区画圃場における高生産性稲作の経営的評価	山本 晃郎・赤澤 昌弘 石井 俊雄・坂本 定禱 河本 恭一		49-56

第22号 平成16年7月

1. 水稻の新品種‘ふっくらももこ’の育成	日原 誠介・妹尾 知憲 大久保和男		1-11
2. 水稻の新品種‘あっぱれむさし’の育成	日原 誠介・妹尾 知憲 大久保和男		13-22

3. 実験農場運営事業における水稲作の実証成果 一圃場開設から37年間の変遷	赤澤 昌弘・伊丹 一博 坂本 定禧	23-28
4. 岡山県のブドウ及びノブドウうどんこ病菌の完全世代について	井上 幸次・山本 秀夫 那須 英夫・粕山 新二	29-33
5. 岡山県における促成栽培ナスにおける青枯病菌の菌群分布の変遷と 抵抗性台木トルバム・ビガー及びトレロの罹病化	伊達 寛敬・那須 英夫	35-41
6. 岡山県の促成栽培ナスの青枯病に対する台木‘台太郎’の防除効果	伊達 寛敬・飛川 光治 那須 英夫・粕山 新二	43-48
7. トマト褐色輪紋病の発病における温度と保湿時間	伊達 寛敬・片岡 英子 谷名 光治・佐々木静江 粕山 新二	49-52
8. ベンズイミダゾール系薬剤耐性トマト褐色輪紋病菌の発生圃場における 薬剤防除	佐々木静江・片岡 英子 井上 幸次・谷名 光治 伊達 寛敬・那須 英夫	53-58
9. 促成栽培ナスのミナミキイロアザミウマに対するタイリクヒメハナカメム シ秋期放飼の有効性	長森 茂之・日本 典秀	59-63

第23号 平成17年7月

1. 赤米の水稲新品種‘あかおにもち’の育成	日原 誠介・高野 和夫 妹尾 知憲・大久保和男	1-8
2. 岡山県におけるチオファネートメチル耐性ダイズ紫斑病菌 (<i>Cercospora kikuchii</i>)の発生	伊達 寛敬・佐々木静江 片岡 英子・粕山 新二	9-12
3. モモの新品種‘おかやま夢白桃’の育成	笹邊 幸男・藤井雄一郎 各務 裕史・片岡 正治 木村 剛・紅谷 文夫 平松 竜一	13-16
4. 岡山県におけるモモの花芽障害の原因とその対策	山本 章吾・高野 和夫 千田 美幸	17-21
5. 休作がナス青枯病の発病と土壤中の青枯病菌密度に及ぼす影響	伊達 寛敬	23-27
6. 胚培養によるユリ新品種‘アルテミス’の育成	森本 泰史・土岐 昌弘 村西 久美・永宗 正規 鴻野 信輔	29-31
7. 土壌施肥管理システムの開発	石橋 英二	33-41

第24号 平成18年9月

1. 岡山県下における水稲栽培期間中の水田地温の変化	森次 真一・石橋 英二 沖 和生	1-6
2. 素寒天培地を用いた <i>Fusarium graminearum</i> による オオムギ赤かび病汚染粒の検定	桐野菜美子・井上 幸次 那須 英夫	7-10
3. モモの黒斑病抵抗性品種‘清水白桃RS’の育成	井上 幸次・藤井雄一郎 笹邊 幸男・大塚 雅子 各務 裕史・那須 英夫 木村 剛・依田 征四 粕山 新二	11-15
4. カルシウム資材の葉面散布によるナシ‘新高’の尻あざ症、裂皮の抑制	藤井雄一郎・大家 理哉 安井 淑彦	17-21
5. ナシ汚果病の発生環境と防除対策	井上 幸次・安井 淑彦 那須 英夫・片岡 繁也 原田 努	23-27
6. トマト台木品種の青枯病抵抗性検定法	伊達 寛敬	29-41
7. ジネンジョ塊茎の生理障害‘黄すじ’の発生要因	鷲尾 建紀・赤井 直彦	43-47
8. 岡山県南部の電照盆出し作型に適する小ギク品種	森 義雄・住友 克彦 木山 聡美	49-54
9. トルコギキョウの種子冷蔵と固化若苗定植による良品生産技術	土居 典秀・金田小百合	55-60
10. 胚培養によるユリ新品種‘カリステ’の育成	森本 泰史・土岐 昌弘 永宗 正規	61-64
11. 直売所の類型化とその改善方策	河田 員宏・古川 満	65-71

12. モモ黒斑病の病原体, 発生生態及び防除に関する研究	井上 幸次	73-155
-------------------------------	-------	--------

第25号 平成19年11月

1. 主枝下げによる新梢誘引角度の違いがブドウ‘ピオーネ’の 生長と作業性に及ぼす影響	藤井雄一郎・小野 俊朗 安井 淑彦	1-4
2. ブドウ‘翠峰’に発生した果皮褐変症状	尾頃 敦郎・小野 俊朗 各務 裕史・檀上 尚美	5-10
3. ブドウ房枯病の病徴について	那須 英夫・井上 幸次	11-16
4. 景観植物に発生する節足動物の種類と発生時期	長森 茂之・飛川 光治 佐野 敏広・永井 一哉	17-28
5. ゴボウ, パセリー及びトマトうどんこ病に対する炭酸水素塩剤と脂肪酸グ リセリド乳剤の混用散布の効果	末永 寛子・桐野菜美子 井上 幸次	29-32
6. トウガン褐色あざ病の化学的, 物理的防除法	川口 章・井上 幸次 那須 英夫	33-37
7. 岡山県におけるカボチャ立枯病の発生	粕山 新二・井上 幸次	39-47
8. カボチャ立枯病の種子伝染と種子消毒	粕山 新二・井上 幸次	49-51
9. カボチャ立枯病の防除対策	粕山 新二・井上 幸次	53-60
10. 夏秋小ギクの開花時期及び切り花品質に対するエセフォンとジベレリンの 併用効果	森 義雄・小川浩太郎 鴻野 信輔	61-64
11. <i>Fusarium solani</i> f. sp. <i>cucurbitae</i> race1 によるトウガン, メロン立枯病(新称)及びスイカフザリウム立枯病(新称)	粕山 新二・井上 幸次	67-70
12. <i>Asteromella brassicae</i> によるハクサイ, ブロッコリー及びチンゲンサイ の輪紋病(新称)	粕山 新二・谷名 光治	71-76
13. <i>Fusarium oxysporum</i> によるパセリー萎凋病(新称)	粕山 新二・井上 幸次	77-79
14. <i>Trichothecium roseum</i> によるキュウリばら色かび病(新称)	粕山 新二・谷名 光治	81-84
15. <i>Corynespora cassiicola</i> によるトマト褐色輪紋病(新称)	粕山 新二・谷名 光治	85-88

第26号 平成20年11月

1. 水稲品種‘あきたこまち’における登熟期の気温及び施肥法が 白未熟粒発生に及ぼす影響	松本 一信・妹尾 知憲 宮武 直子・中島 映信 大久保和男・杉本 真一	1-6
2. 小豆新品種‘夢大納言’の育成	平井 幸・森 義雄 杭生 直義・佐野 敏広 金田小百合	7-10
3. モモの新品種‘新白麗’の育成	笹邊 幸男・藤井雄一郎	11-13
4. 岡山県のブドウ産地における観光農園の位置づけと 産地活性化にむけた方策	橋新 耕三・山本 晃郎	15-20
5. マルチプレックス PCR によるブドウ根頭がんしゅ病菌の罹病ブドウ樹組 織からの迅速検出	川口 章・井上 幸次	21-25
6. 夏秋トマト雨除け栽培における花粉稔性からみた セイヨウオオマルハナバチの利用可能温度	飛川 光治・石倉 聡	27-29
7. 空気膜ハウスがナスの促成栽培におけるセイヨウミツバチの 受粉効果に及ぼす影響	飛川 光治	31-35
8. <i>Aristotoma</i> sp. によるアズキ褐色斑点病(新称)	粕山 新二・井上 幸次	39-41
9. <i>Phytophthora</i> sp. によるミツマタ疫病(新称)	粕山 新二・井上 幸次	43-45
10. <i>Guignardia bidwellii</i> によるブドウ黒腐病	粕山 新二・井上 幸次	47-50
11. <i>Fusicoccum aesculi</i> によるイチゴ褐斑病(新称)	粕山 新二・谷名 光治	51-54
12. <i>Pseudocercospora capsellae</i> によるキャベツ, カリフラワー白斑病(新称)	粕山 新二・谷名 光治	55-60
13. 岡山県に発生した <i>Thielaviopsis basicola</i> による スイートピー, ミツバ黒根病(新称)及びパンジー根腐病	粕山 新二・谷名 光治	61-64
14. <i>Corynespora cassiicola</i> によるアジサイ褐斑病(新称)及び レタス褐色輪紋病(新称)	粕山 新二・谷名 光治	65-68
15. <i>Macrophomina phaseolina</i> によるキク炭腐病(新称)	粕山 新二・井上 幸次	69-71
16. ラークスパー(チドリソウ)に寄生していた べと病菌(<i>Peronospora</i> sp.)	谷名 光治・伊達 寛敬 粕山 新二	73-75

17. <i>Alternaria euphorbiicola</i> によるポインセチア褐斑病(新称)	井上 幸次・桐野菜美子 谷名 光治・那須 英夫	77-80
--	----------------------------	-------

第27号 平成21年12月

1. 冬季の平均気温によるスクミリンゴガイの発生量の予測	近藤 章・田中 律子	1-3
2. 養液栽培したブドウ‘マスカット・オブ・アレキサンドリア’の 葉色と結実, 果実品質および収量との関係	田村 史人・藤井雄一郎	5-12
3. ナス青枯病に対する台木の抵抗性検定法としての茎切断接種法の評価	岸本 直樹・谷名 光治 伊達 寛敬	13-18
4. 存在頻度法による施設栽培バラのナミハダニの簡易密度推定	近藤 章・田中 律子	19-22
5. <i>Stemphylium lycopersici</i> によるトルコギキョウ褐斑病(新称)	粕山 新二・井上 幸次	23-26
6. <i>Verticillium dahliae</i> によるスイートピー半身萎凋病(新称)	粕山 新二・井上 幸次	27-29
7. <i>Phoma</i> sp. によるカンパニュラの褐色斑点症状について	粕山 新二・井上 幸次	31-33
8. <i>Mycocentrospora</i> sp. によるトリカブト黒色葉枯病(新称)	粕山 新二・井上 幸次	35-38
9. <i>Phoma exigua</i> によるゼラニウム, ベゴニア, ラベンダー株枯病(新称)	粕山 新二・井上 幸次	39-42
10. <i>Phytophthora</i> sp. によるラベンダー疫病(新称)	粕山 新二・出射 立 谷名 光治	43-45
11. <i>Fusarium</i> sp. によるシュッコンカスミソウ及びガーベラの立枯病(新称)	粕山 新二・井上 幸次	47-50
12. <i>Phomopsis</i> sp. によるスターチス褐紋病(新称)	粕山 新二・井上 幸次	51-53
13. <i>Penicillium gladioli</i> によるオモト褐色円斑病(新称)	粕山 新二・井上 幸次	55-58
14. 岡山県におけるアマドコロ褐色斑点病の発生と 本病菌の完全世代について	粕山 新二・井上 幸次	59-62
15. ブドウ根頭がんしゅ病の診断と生物的防除および 病原細菌の系統解析に関する研究	川口 章	63-124

(2) 研究報告(岡山県農林水産総合センター農業研究所)

第1号 平成22年12月

1. 水稻品種‘朝日’と‘せとこがね’間の雑種後代における 脱粒性の遺伝様式	大久保和男・赤澤 昌弘 宮武 直子	1-4
2. 野菜の生物的防除のための捕食性天敵ヒメハナカメムシ類の 保護に適した地被植物の選抜	長森 茂之・飛川 光治 長島 聖大・近藤 章 佐野 敏広・永井 一哉 中筋 房夫	5-12
3. 胚培養によるユリ新品種‘あかねの舞’の育成	森本 泰史・土岐 昌弘	13-16
4. 春咲きスイートピー新品種‘岡山農試ピー3号’の育成	土居 典秀・森 義雄	17-21
5. おいしいモモの生産と出荷技術に関する研究	高野 和夫	23-90
6. 施設栽培のナス科果菜類における花粉媒介昆虫利用に関する研究	飛川 光治	91-144

第2号 平成23年12月

1. 鶏ふんを利用した水稻の有機育苗方法	田淵 恵・芝 宏子 石橋 英二	1-7
2. モモ‘白麗’の徒長枝誘引処理がその後の新梢成長および 翌年の果実品質に及ぼす影響	樋野 友之・安井 淑彦 藤井雄一郎	9-13
3. フロログルシン塩酸反応によるモモ‘清水白桃’の硬核期の判定	大浦 明子・倉藤 真弓 藤井雄一郎	15-19
4. モモ‘ゴールデンピーチ’のラジカル消去活性	高野 和夫・笹邊 幸男	21-27
5. 毎日あるいは隔日に夜夜温管理された ブドウ‘マスカット・オブ・アレキサンドリア’の生育期, 新梢および果実成長の様相	倉藤 祐輝・北川 正史 小林 一奈	29-37
6. ブドウ‘シャインマスカット’の成熟果実に発生した 果皮表面の褐変症状	金澤 淳・高橋 知佐	39-45
7. カリフォルニアポピーとペチュニアをヒラズハナアザミウマの 誘引植物として用いた雨除け栽培トマトでの白ぶくれ症防除	永井 一哉・飛川 光治	47-52
8. 白ネギ苗への含リン酸液肥施用が黒ボク土での 秋どり栽培における生育および養分吸収に及ぼす影響	佐野 大樹・荒木 有朋 鷲尾 建紀	53-59

第3号 平成24年12月

1. 岡山県における小麦の新しい奨励品種‘ふくほのか’の諸特性	大久保和男・妹尾 知憲 中島 映信	1-9
2. モモの新品種‘さきがけはくとう’	日原 誠介・藤井雄一郎 笹邊 幸男	11-15
3. 黒大豆‘岡山系統1号’エダマメの成熟に伴う 食味成分の変化と収穫適期	高野 和夫・赤澤 昌弘 田村 尚之・新見 直子 新見 敦	17-22
4. 岡山県の夏秋トマトにおける土壌病害の発生実態	伊達 寛敬	23-31
5. 岡山県の露地栽培ギクにおける白さび病の発生	伊達 寛敬・谷名 光治	33-39
6. 水稻の不耕起直播栽培における温室効果ガスの発生実態の解明と 削減技術の開発	石橋 英二	41-111

第4号 平成25年12月

1. 水稻高温耐性品種‘にこまる’の登熟過程における品種特性	前田 周平・渡邊 丈洋	1-8
2. 発酵粗飼料用としての水稻品種‘ヒノヒカリ’、‘アケボノ’の特性	渡邊 丈洋・大家 理哉 長尾伸一郎	9-18
3. 四季成り性イチゴ系統‘Y’の育成	岸本 直樹・佐野 大樹 中原 範子・松岡 静江	19-21
4. ブルーレースフラワーの新品種‘岡山B L F 1号’	藤本 拓郎・土居 典秀 森 義雄・綱島 健司 中島 拓	23-25
5. 水稻品種‘ヒノヒカリ’、‘アケボノ’の発酵粗飼料生産における 実肥窒素の施用効果	渡邊 丈洋・大家 理哉 長尾伸一郎	27-31
6. 黒ダイズ‘丹波黒’における種子の簡便な長期保存方法	大久保和男・松本 一信	33-37
7. 岡山県産米に対する外食等業者及び米穀卸売業者の ニーズの分析とその対応方向	河田 員宏	39-47
8. 岡山県における主要なモモ品種の花粉稔性及び果肉色の 遺伝子型の推定	田村 隆行・日原 誠介	49-53
9. 岡山県の現地生産園におけるブドウ‘紫苑’の生育及び 果実生産の様相	高橋 知佐・荒木 有朋 小林 一奈・尾頃 敦郎	55-62
10. 籾穀牛ふん堆肥と窒素単肥の施用が発酵粗飼料用水稻の生育、 収量及び土壌化学性に及ぼす影響	大家 理哉・渡邊 丈洋	63-69

第5号 平成26年12月

1. 岡山県の新しい二条大麦奨励品種（地域適応優良品種）‘スカイゴールデ ン’	大久保和男・井上 智博	1-6
2. モモの新品種‘岡山PEH7号’	日原 誠介・田村 隆行	7-11
3. モモの新品種‘岡山PEH8号’	日原 誠介・田村 隆行	13-16
4. 岡山県北部の長期積雪地域におけるニンニク‘福地ホホワイト’の栽培適性	佐野 大樹・岸本 直樹 森本 泰史	17-21
5. 岡山県北部の長期積雪地域におけるニンニク‘福地ホホワイト’の植付適期	佐野 大樹・岸本 直樹 森本 泰史	23-29
6. 岡山県北部の長期積雪地域における被覆尿素を用いたニンニクの 全量基肥栽培	佐野 大樹・岸本 直樹 森本 泰史	31-37
7. 岡山県産樹皮を利用したリンドウの隔離床栽培	藤本 拓郎・森本 泰史	39-41

第6号 平成27年12月

1. 岡山県の新しい水稻奨励品種‘きぬむすめ’	妹尾 知憲・大久保和男 中島 映信・赤澤 昌弘 松本 一信	1-10
2. モモの新品種‘岡山PEH9号’	日原 誠介・田村 隆行	11-15
3. 農産物直売所における来店者の米の購入動向	河田 員宏	17-24
4. ニラの軟白栽培における露光処理が葉色に及ぼす影響	岡 修一	25-29

5. 岡山県北部においてニンニクを出荷規格に適合させるために 重視すべき越冬後の生育指標	佐野 大樹・岸本 直樹 森本 泰史	31-35
6. 岡山県津山盆地の白ネギ初夏どり作型における‘羽緑一本太’の 播種適期	信岡 佑太・川村 宜久	37-40
7. 近赤外分光法による土壌化学性診断の可能性	森次 真一・鷲尾 建紀 高原知佳子・大家 理哉 高野 和夫	41-48
8. 塩類集積圃場における日射制御型拍動自動かん水装置を用いた 土壌水分管理によるコマツナの発芽障害の軽減	藤原 宏子・荒木 有朋 赤井 直彦・衣笠 雄一	49-54
9. 水稻品種‘朝日’における脱粒性の改良に関する研究	大久保和男	55-97

第7号 平成28年12月

1. ナシの新品種‘岡山PER1号’	藤井雄一郎・安井 淑彦 樋野 友之・笹邊 幸男 各務 裕史・片岡 繁也	1-5
2. 水田転換畑における黒大豆の土壌施肥管理技術に関する研究（第1報） 黒大豆栽培圃場の土壌化学性の実態と収量低下要因の解析	森次 真一・鷲尾 建紀	7-17
3. 暗期中断法を活用した夏秋小ギクの7～9月の高需要期 連続出荷体系の確立	森 義雄	19-71

第8号 平成29年12月

1. 高梁地域ブドウ園における土壌窒素無機化特性と‘ピオーネ’樹の生育と の関係	山本 章吾・田村 尚之	1-12
2. 稲作経営の規模拡大過程とその対応ー岡山県の事例からー	河田 員宏	13-17
3. 水田転換畑における黒大豆の土壌施肥管理技術に関する研究（第2報） 黒大豆に対する堆肥連用の影響	森次 真一・鷲尾 建紀	19-28

第9号 平成30年12月

1. スイートピー新品種‘岡山SWP4号’の育成	森 義雄・土居 典秀 森本 泰史・井上 智博	1-7
2. モモ‘さきがけはくとう’の収穫適期の検討	荒木 有朋・樋野 友之 木香（大浦） 明子 藤井雄一郎	9-16
3. ‘清水白桃’の着果部位における葉芽の有無及び複芽内における花芽の 着生位置の違いが果実品質及び生理障害の発生に及ぼす影響	鶴木悠治郎・荒木 有朋 樋野 友之・藤井雄一郎	17-22
4. 真庭市蒜山地域における秋季の気象条件とダイコン‘冬職人’の糖度との 関係	佐野 大樹・岸本 直樹	23-32
5. 牛ふんを主原料とする堆肥中リン酸並びにカリウム含量の変動特性	大家 理哉・鷲尾 建紀 石橋 英二	33-39

第10号 令和元年12月

1. リンドウ新品種‘岡山RND4号’の育成	林 祐貴・藤本 拓郎	1-5
2. 黒ダイズ‘丹波黒’のセルトレイ育苗におけるヘソ横向き播種の 効果の年次間比較	大久保和男	7-12
3. 真庭市蒜山地域における秋季の気温とダイコン‘冬職人’の肥大との関係、 並びに高糖度ダイコン収穫のための播種適期の推定	佐野 大樹・岸本 直樹	13-20
4. 播種時期がラクスパークの採種量及び種子発芽に及ぼす影響	森 義雄	21-27
5. 鶏ふんの施用時期を考慮した水稻の施肥設計方法の開発	大家 理哉・鷲尾 建紀	29-37

第11号 令和2年12月

1. ラクスパーク新品種‘岡山LAR3号’の育成	森 義雄・土居 典秀 笠原 有加・山本 晃郎	1-5
2. 岡山県の水稲との二毛作において二条大麦の安定多収生産を実現する 効率的な耕起・播種体系	河田 員宏・大久保和男	7-19
3. 岡山県育成のモモ新品種‘岡山PEH8号（白露®）’の食べ頃の 判定基準の検討	鶴木悠治郎・藤井雄一郎	21-27

	藤原 宏子・樋野 友之 荒木 有朋	
4. 岡山県におけるアスパラガス茎枯病菌の数種薬剤に対する感受性と有効薬剤の選抜	畔柳 泰典・井上 幸次	29-36

第12号 令和3年12月

1. 岡山県の新しい二条大麦奨励品種（地域適応優良品種）‘サチホゴールドン’	中島 舞・中島 映信 妹尾 知憲・高橋 幹子 前田 周平・大久保和男	1-10
2. 岡山県育成のモモ‘岡山PEH8号（白露®）’の収穫適期把握のためのカラーチャートの開発	佐々木郁哉・荒木 有朋 樋野 友之・鶴木悠治郎 河村美菜子	11-18
3. スカエボラの最適な挿し芽増殖条件の解明	綱島 健司・飛川 光治	19-27
4. 気温とトビイロウンカが生息するイネ群落内環境との関係	長森 茂之	29-41
5. 岡山県のモモ栽培における気象変動が生理障害発生に及ぼす影響の把握と対策技術の開発	藤井雄一郎	47-118

第13号 令和4年12月

1. 土壌のカリウム肥沃度の違いがハウレンソウの食味と内容成分に及ぼす影響	鷺尾 建紀	1-8
2. 高倍率（50×）ルーペを用いたキュウリの斑点性病害の診断	畔柳 泰典・桐野菜美子 矢尾 幸世	9-14
3. 岡山県の施設ブドウ‘マスカット・オブ・アレキサンドリア’におけるネギアザミウマによる果粒果頂部への加害	薬師寺 賢・高馬 浩寿	15-23

第14号 令和5年12月

1. 冷凍したブドウ‘オーロラブラック’の機器分析を用いた食感評価	鷺尾 建紀・石井 恵	1-5
2. 岡山県のコムギ奨励品種‘ふくほのか’の発育調査基準からみた茎立期の簡便な調査手順	大久保和男・安藤 裕二	7-14
3. キャベツ及びハクサイの年内どり作型における全量基肥施用に適する混合堆肥複合肥料の開発と施用効果	森次 真一・鷺尾 建紀 水木 剛・鳥家あさ美 上田 直國・大家 理哉 白石 誠	15-34
4. 可給態窒素含量の圃場間差に基づく水稻の施肥設計手法の検討	森次 真一・山本 章吾 大家 理哉	35-44

第15号 令和6年12月

1. 瀬戸内市牛窓露地野菜産地の土壌化学性の実態とこれらに影響を及ぼす要因	鷺尾 建紀・赤井 直彦	1-11
2. 水田農業の経営継承における経営者及び継承者の両者の視点からみた経営継承に必要な経営者の行動－岡山県の事例から－	河田 員宏	13-28
3. 匂いかぎ付きGC/MSを用いたブドウ‘シャインマスカット’及び‘マスカット・オブ・アレキサンドリア’の香りの数値化	石井 恵・鷺尾 建紀	29-35
4. 下層土の簡易透水性診断手法の評価と診断基準の作成	森次 真一・水田 有亮 鷺尾 建紀・綱島 健司	39-42
5. 灌がい水及び雨水により水田へ供給される硫黄量の評価	大家 理哉・水田 有亮 寺地 紘哉	43-46
6. 機器分析を用いたブドウ‘シャインマスカット’の食感の数値化	石井 恵・鷺尾 建紀	47-51

(3) 臨時報告

第85号 平成13年3月

農業試験場100年誌		1-368
------------	--	-------

第5章 現職員および旧職員名簿

1. 現職員名簿 (令和7年4月1日現在)

職名	氏名	職名	氏名	職名	氏名
所長	藤井 雄一郎	研究員	鵜木 悠治郎	技師	竹岡 みのり
副所長	妹尾 知憲	技師	上田 一輝		寺地 紘哉
作物・経営研究室		技師	佐々木 郁哉		乗本 来実
			白石 陸人	病虫研究室	
			吉村 諒介	職名	氏名
室長	河田 員宏	野菜・花研究室		室長	長森 茂之
専門研究員	大久保 和男	職名	氏名	専門研究員	佐野 敏広
	平井 幸	室長	岡 修一		畔柳 泰典
副参事	森 敦茂	専門研究員	佐野 大樹		桐野 菜美子
専門研究員	渡邊 丈洋		綱島 健司		薬師 寺賢
	前田 周平		川村 宜久	研究員	井上 幸次
	金谷 寛子	研究員	林 祐貴	技師	朝倉 雅也
主任	安藤 裕二		森 義雄		川上 敦子
技師	中島 舞	技師	甲斐 鈴弥		南 康隆
	杉本 泰志		岡本 空		北山 僚太郎
	吉見 奈那子	環境研究室			板谷 俊弥
育休代替	石井 俊雄	職名	氏名	高冷地研究室	
果樹研究室		室長	大家 理哉	職名	氏名
職名	氏名	専門研究員	山本 章吾	副所長	森次 真一
室長	安井 淑彦		鷲尾 建紀	専門研究員	西 優輔
専門研究員	中島 讓	研究員	瀧口 智之	研究員	上田 直國
	樋野 友之		水田 有亮	技師	金田 紗葵
研究員	久保田 朗晴		赤井 直彦		阿部 遼
	平井 一史				

2. 旧職員名簿

(農業試験場・農業研究所)

(1) 歴代場長・所長

氏名	在職期間	備考
富久 保男	平成 11. 4. 1 ~ 平成15. 3. 31	
鴻野 信輔	平成 15. 4. 1 ~ 平成18. 3. 31	
沖 和生	平成 18. 4. 1 ~ 平成20. 3. 31	
伊達 寛敬	平成 20. 4. 1 ~ 平成25. 3. 31	
小野 俊朗	平成 25. 4. 1 ~ 平成27. 3. 31	
土居 典秀	平成 27. 4. 1 ~ 平成30. 3. 31	
谷名 光治	平成 30. 4. 1 ~ 令和 3. 3. 31	
井上 幸次	令和 3. 4. 1 ~ 令和 5. 3. 31	
赤井 直彦	令和 5. 4. 1 ~ 令和 6. 3. 31	
山本 章吾	令和 6. 4. 1 ~ 令和 7. 3. 31	
藤井雄一郎	令和 7. 4. 1 ~ 現在	

(2) 職員

所属は略称で、平成13年度から令和6年度の期間にそれぞれ以下の括弧内の組織に所属していた。所属記載は以下の並び順に整理した。

作経（作物部、経営調査部、作物研究室、経営調査研究室、経営研究室、作物・経営研究室）、果樹（果樹部、果樹研究室）、野花（野菜・花部、野菜・花研究室）、環境（化学部、化学研究室、環境研究室）、病虫（病虫部、病虫研究室）、中山間（北部支場野菜作物部、永年畑作部、野菜・作物研究室、永年畑作研究室、中山間農業研究室）、高冷地（高冷地研究室）

氏名	所属	氏名	所属	氏名	所属
逢澤 英司	野花、中山間	小島 康弘	果樹	久保田 朗晴	果樹
赤井 直彦	環境、高冷地	甲斐 鈴弥	野花	熊代 幹夫	環境
赤澤 昌弘	作経	各務 裕史	果樹、中山間、高冷地	久山 弘巳	環境
阿部 遼	高冷地	景山 博行	環境、病虫	倉藤 真弓 (旧姓:永井)	果樹
荒木 有朋	果樹、環境	川村 有加 (旧姓:笠原)	野花	倉藤 祐輝	果樹
安藤 裕二	作経	粕山 新二	病虫、中山間	黒田 忠男	作経、中山間、高冷地
石井 俊雄	作経	片岡 英子	病虫	畔柳 泰典	病虫
石井 恵 (旧姓:田淵)	環境	片沼 慶介	果樹	高馬 浩寿	病虫
石橋 英二	環境、高冷地	金澤 淳	果樹、高冷地	河本 恭一	作経
磯田 道雄	中山間	金田 紗葵	高冷地	古川 満	作経
伊丹 一博	作経	金谷 寛子 (旧姓:末永)	作経、病虫	小西 昇一	作経、中山間
伊藤 恭寛	果樹	神谷 奈多紗	病虫	小林 一奈 (旧姓:落合)	果樹、中山間
井上 智博	作経	狩谷 寿志	作経、中山間	近藤 康之	作経
井上 幸次	果樹、病虫	河合 隆一	作経、中山間	近藤 章	病虫
上田 一輝	果樹	川上 敦子	病虫	坂本 定禧	作経
上田 直國	環境、高冷地	川口 章	病虫	佐々木 郁哉	果樹
浮田 真人	果樹	河田 員宏	作経	笹邊 幸男	果樹、中山間
鶴木 悠治郎	果樹	河村 美菜子	果樹、高冷地	佐野 敏広	病虫
大久保 和男	作経、中山間	川村 宜久	野花、高冷地	佐野 大樹	野花、高冷地
大塚 雅子	果樹	岸 弘明	果樹	杉本 真一	作経、高冷地
大塚 真史	果樹、野花	岸田 勝彦	果樹、野花	杉本 泰志	作経
大家 理哉	環境	岸本 直樹	野花、高冷地	妹尾 知憲	作経
岡 修一	野花、高冷地	北川 正史	果樹	高嶋 律夫	作経
岡本 空	野花	北田 修三	中山間	高田 真理 (旧姓:妹尾)	病虫
沖 和生	環境、中山間	北山 僚太郎	病虫	高野 和夫	環境、高冷地
尾頃 敦郎	果樹	衣笠 雄一	環境	高橋 知佐	果樹
荳坂 大樹	病虫	桐野 菜美子 (旧姓:伊東)	病虫	高橋 幹子	作経
小野 俊朗	果樹、中山間	久保 紀子 (旧姓:寒川)	野花	瀧口 智之	環境

氏名	所属	氏名	所属	氏名	所属
竹岡 みのり (旧姓:藤田)	環境、高冷地	永宗 正規	病虫	榎野 祐子	野花、高冷地
伊達 寛敬	作経、病虫、 中山間	中本 武徳	作経、野花	松岡 静江 (旧姓:佐々木)	病虫、中山 間、高冷地
田中 律子	病虫	長森 茂之	病虫	松岡 寛之	病虫
谷名 光治	病虫	那須 英夫	果樹、病虫、 中山間	松本 一信	作経、中山間
谷本 英治	作経	難波 加奈	病虫	水田 有亮	作経、環境
田村 隆行	果樹	新見 敦	作経、高冷地	神谷 忠利	果樹、中山 間、高冷地
田村 史人	果樹、野花、 中山間	新見 直子 (旧姓:宮武)	作経	南 康隆	病虫
田村 尚之	環境、高冷地	西 優輔	病虫	村上 倫啓	作経
千脇 健司	病虫	信岡 佑太	野花、高冷地	木香 明子 (旧姓:大浦)	果樹
綱島 健司	野花、環境	橋新 耕三	作経	森 敦茂	作経、野花、 病虫
寺地 紘哉	環境	馬場 裕介	環境	森 義雄	野花、中山 間、高冷地
土居 典秀	野花、病虫、 中山間	濱子 郁生	作経、中山間	森次 真一	環境
土岐 昌弘	野花	林 祐貴 (旧姓:八木)	野花、高冷地	森本 泰史	野花、病虫、 高冷地
土倉 義夫 (旧姓:谷)	環境	飛川 光治	野花	矢尾 幸世	病虫
富坂 茂	病虫、中山間	樋野 友之	果樹	薬師 寺賢	作経、病虫
富松 知美	野花	日原 誠介	作経、果樹	安井 淑彦	果樹、中山間
鳥家 あさ美 (旧姓:高津)	環境	日原 春幸	作経	山下 尋揮	高冷地
永井 一哉	野花、病虫	平井 一史	果樹、高冷地	山中 基恵	環境
永井 知佳子	環境	平井 幸	作経	山本 晃郎	作経
中川 恒	野花	藤井 雄一郎	果樹、中山間	山本 章吾	環境、高冷地
中島 映信	作経	藤沢 敏寛	中山間	湯浅 武志	作経
中島 拓	野花、中山間	藤本 拓郎	野花、高冷地	吉村 諒介	果樹
中島 智津子 (旧姓:土井)	環境	藤原 恭一	作経、病虫	若山 幹夫	高冷地
中島 舞 (旧姓:深田)	作経	藤原 聡	果樹	鷲尾 建紀	環境
中島 康夫	果樹、中山間	藤原 利行	作経	渡邊 丈洋	作経
中島 譲	果樹	藤原 宏子 (旧姓:芝)	環境	渡辺 真帆	果樹
中津 有紀子	果樹	前田 和久	果樹、野花		
中原 範子	中山間	前田 周平	作経		

岡山県農林水産総合センター農業研究所臨時報告第 86 号

令和 8 年 3 月 15 日 印刷

令和 8 年 3 月 20 日 発行

編集兼 岡山県農林水産総合センター農業研究所

発行者 〒709-0801 岡山県赤磐郡山陽町神田沖 1174-1

TEL 086-955-0271 FAX 086-955-0663

印刷所 株式会社 アネスト